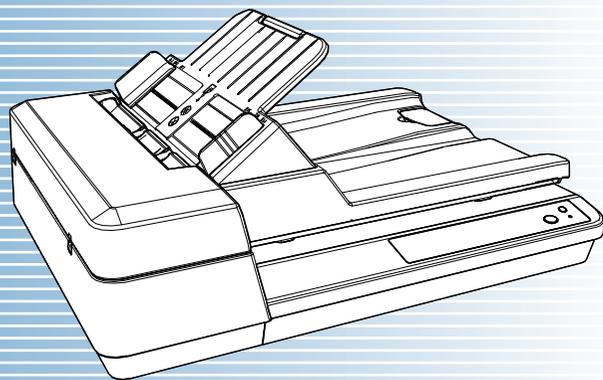


Image Scanner SP-1425

オペレーターガイド

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書では、本製品の基本的な操作および取り扱い方法について説明しています。
スキャナの設置および接続については、Quick Installation Sheet を参照してください。



TOP

目次

索引

はじめに

各部の名称と働きおよび基本的な操作について説明しています。

スキャナをお使いになる前に

原稿をスキャナにセットする方法について説明しています。

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法について説明しています。

操作パネルの操作方法

いろいろな原稿を読み取る方法について説明しています。

いろいろな読み取り方

清掃方法について説明しています。

日常のお手入れ

消耗品の交換について説明しています。

消耗品の交換

トラブルの対処方法など、困ったときの対処方法について説明しています。

困ったときには

Software Operation Panel を使ったスキャナの設定方法について説明しています。

スキャナの動作設定

付録

用語集



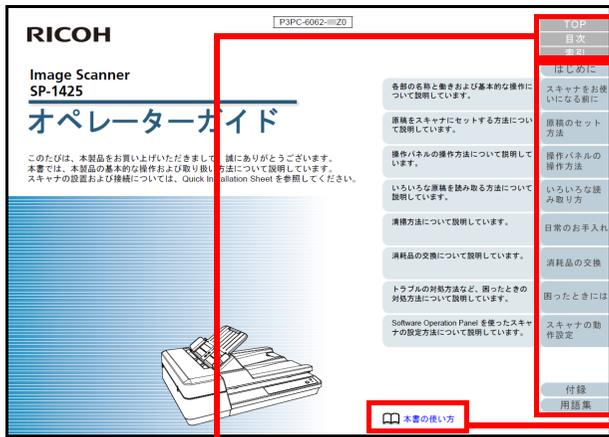
本書の使い方

本書の使い方

本書の使い方について説明します。

- 本書を表示 / 印刷するには、アドビ システムズ社の Adobe® Acrobat® 7.0 以降または Adobe® Reader® 7.0 以降が必要です。
 - 本文中の検索は、Adobe® Acrobat® または Adobe® Reader® の検索機能が使えます。
詳細は、Adobe® Acrobat® または Adobe® Reader® のヘルプを参照してください。
 - キーボードを使う場合は、「PageUp」キーで前ページ、「PageDown」キーで次ページに移動します。
 - 本文中の青字 / ツメ / 目次 / 索引など、マウスがリンク選択時の形状 () になる箇所をクリックすると、参照先に移動します。
- 共通ページ

各章の先頭ページに移動します。
このツメは全ページにあります。



TOP : 表紙ページに移動します。
目次 : 目次ページに移動します。
索引 : 索引ページに移動します。
このツメは全ページにあります。

本書の使い方ページに移動します。
本文中の青字をクリックすると、参照先に移動します。

- 目次ページ

目次	TOP
はじめに	はじめに
本書をお使いになる前に	本書をお使いになる前に
第1章 スキャナをお使いになる前に	原稿のセット方法
1.1 準備	操作パネルの操作方法
1.2 各種の名物と働き	いろいろな読み取り方
名前	日常のお手入れ
消去	消耗品の交換
取り出し可能な部品	困ったときには
内部 (ADF)	スキャナの動作設定
内部 (フラットベッド)	付録
1.3 電源の投入 / 切断	用語集
電源の投入	
電源の切断	
1.4 ADF の説明	
ADF の開け方	
ADF の閉じ方	
1.5 ドキュメントカバの操作	
ドキュメントカバの開け方	
ドキュメントカバの閉じ方	
1.6 ADF 継続シート (フィーダー) の設定	
1.7 スタックの設定	
1.8 省電力モードの移行 / 復帰	
1.9 読み取り操作の戻れ	

クリックしたタイトルのページに移動します。

- 索引ページ

索引	TOP
A	スキャナをお使いになる前に
ADF 継続シート (フィーダー) の設定	原稿のセット方法
ADF の開け方	操作パネルの操作方法
ADF の閉じ方	いろいろな読み取り方
ADF の説明 (基本となる場合)	日常のお手入れ
ADF の閉じ方	消耗品の交換
E	困ったときには
スキャナに適合した電子文書の作成	スキャナの動作設定
S	付録
[Scan/Stop] ボタン	用語集
Scan/ADF	
Software Operation Panel の起動	
Software Operation Panel のパスワード設定	
あ	
アイコンメニュー	
お	
オプション	
か	
作業方法	
各種の名物と働き	

クリックした索引のページに移動します。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ごぞいます。

本製品の概要

本製品は、両面読み取りが可能な ADF (Automatic Document Feeder) と、薄い原稿、本などの厚みを持った原稿の読み取りが可能なフラットベッドを搭載しているスキャナです。

スキャナタイプ	読み取り速度 (*1)
ADF	毎分 25 枚 /50 面
フラットベッド	4 秒 / 枚

*1: 解像度 300dpi、JPEG 圧縮を設定して、A4 サイズの原稿を読み取った場合です。

マニュアルの種類

本製品には、次のマニュアルが用意されています。必要に応じてお読みください。

マニュアル	内容
安全上のご注意 (紙、PDF)	本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に必ずお読みください。 PDF 版は Setup DVD-ROM で提供されています。

マニュアル	内容
Quick Installation Sheet (紙)	スキャナの設置や設定などを説明しています。
オペレーターガイド (本書) (PDF)	基本的な操作方法、日常のお手入れ、消耗品の交換、およびトラブルの対処方法を説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
Scanner Central Admin ユーザズガイド (PDF)	Scanner Central Admin の概要、導入方法、運用方法、保守方法を説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
スキャナドライバヘルプ	各スキャナドライバの使い方や設定方法を説明しています。 各スキャナドライバから参照できます。
アプリケーションヘルプ	各アプリケーションの使い方や設定方法を説明しています。必要に応じて使用してください。各アプリケーションから参照できます。

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

商標および登録商標

ISIS は、Open Text の商標です。

Adobe、Acrobat、および Reader は、米国ならびに他の国における Adobe 社の登録商標または商標です。

Intel および Intel Core は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。

ABBYY™ FineReader™ PDF Sprint

© 2014 ABBYY

ABBYY および FineReader は、いくつかの法域で登録されている場合がある ABBYY Software Ltd. の商標です。

Presto!™ PageManager™

© 2002-2024, NewSoft Technology Corp. All Rights Reserved.

NewSoft、Presto!、および PageManager は、NewSoft Technology Corporation の登録商標または商標です。

Microsoft、Excel、Windows、および Windows Server は、マイクロソフトグループの企業の商標です。

PaperStream は、株式会社 PFU の日本における登録商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

開発・販売元

株式会社 PFU

〒220-8567

神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-5

(横浜アイマークプレイス)

© PFU Limited 2016-2025

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

添付の安全上のご注意には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に安全上のご注意を必ずお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

本書で使用している記号

本書では、使用者および周囲の方の身体や財産に損害を与えないために、警告表示を使用しています。警告表示は、警告レベルの記号と警告文で構成しています。次に、警告レベルの記号とその意味について説明します。



警告

この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示は、取り扱いを誤った場合、軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

本書での略記

本書では、次の名称について省略して記載しています。

名称	本文中の表記
Windows® 10 Home (32/64 ビット)	Windows 10 (*1)
Windows® 10 Pro (32/64 ビット)	
Windows® 10 Enterprise (32/64 ビット)	
Windows® 10 Education (32/64 ビット)	
Windows Server® 2016 Standard (64 ビット)	Windows Server 2016 (*1)
Windows Server® 2019 Standard (64 ビット)	Windows Server 2019 (*1)
Windows Server® 2022 Standard (64 ビット)	Windows Server 2022 (*1)
Windows® 11 Home (64 ビット)	Windows 11 (*1)
Windows® 11 Pro (64 ビット)	
Windows® 11 Enterprise (64 ビット)	
Windows® 11 Education (64 ビット)	
Microsoft® Word	Word
Microsoft® Excel®	Excel

名称	本文中の表記
Presto!™ PageManager™	Presto! PageManager
ABBYY™ FineReader™ PDF Sprint	ABBYY FineReader Sprint
PaperStream IP (TWAIN) for SP Series	PaperStream IP ドライバ
PaperStream IP (TWAIN x64) for SP Series	
PaperStream IP (ISIS) for SP Series	

*1: すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

連続する操作の表記

本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。

例: 「スタート」メニュー → 「コントロールパネル」をクリックします。

本書に掲載している画面

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。

表示された画面が、本書に掲載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアのマニュアルを参考にして、実際の画面に従って操作してください。

オペレーティングシステムによって表示される画面および操作が異なります。また、スキャナによっては、ソフトウェアをアップデートすると、本書で掲載している画面および操作が異なることがあります。その場合は、アップデート時に提供されるマニュアルを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

目次

本書の使い方	2
はじめに	3
本書をお読みになる前に	5
第 1 章 スキャナをお使いになる前に	12
1.1 特長	13
1.2 各部の名称と働き	14
前面	14
背面	15
取り外し可能部品	16
内部 (ADF)	17
内部 (フラットベッド)	18
1.3 電源の投入 / 切断	19
電源の投入	19
電源の切断	19
1.4 ADF の開閉	20
ADF の開け方	20
ADF の閉じ方	20
1.5 ドキュメントカバーの開閉	21
ドキュメントカバーの開け方	21
ドキュメントカバーの閉じ方	21
1.6 ADF 給紙シュート (フィーダー) の設定	22
1.7 スタッカーの設定	23
1.8 省電力モードの移行 / 復帰	24
1.9 読み取り操作の流れ	25

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

1.10	添付ソフトウェア	27
	添付ソフトウェアの概要	27
	動作環境	28
	添付ソフトウェアのインストール	29
第 2 章	原稿のセット方法	31
2.1	ADF での原稿のセット	32
	原稿の準備	32
	原稿のセット方法	33
2.2	フラットベッドでの原稿のセット	34
2.3	読み取りできる原稿	35
	原稿のサイズ	35
	読み取りできる原稿の条件	35
	セットできる原稿の枚数	37
	穴を開けてはいけない領域	38
	マルチフィードを正しく検出するための条件	38
	自動用紙サイズ検出を行うための条件	39
第 3 章	操作パネルの操作方法	40
3.1	操作パネルをお使いになる前に	41
	操作パネルの名称と働き	41
	Check ランプ (LED) および [Power] ボタンの表示内容	42
第 4 章	いろいろな読み取り方	43
4.1	読み取り方一覧	44
4.2	種類やサイズが異なる原稿の読み取り	45
	長尺帳票を読み取りたいとき	45
	本を読み取りたいとき	46
	フラットベッドで大きな原稿を読み取りたいとき	47

4.3	読み取り方の変更	48
	スキャナのボタンで読み取りを開始したいとき	48
第 5 章	日常のお手入れ	50
5.1	清掃用品および清掃が必要な場所	51
	清掃用品	51
	清掃箇所と清掃頻度	52
5.2	スキャナ外部の清掃	53
5.3	スキャナ内部の清掃	54
	ADF の清掃（クリーニングペーパーによる場合）	54
	ADF の清掃（布による場合）	55
	フラットベッドの清掃	58
第 6 章	消耗品の交換	60
6.1	消耗品と交換周期	61
6.2	パッドユニットの交換	62
6.3	ピックアップユニットの交換	64
第 7 章	困ったときには	66
7.1	原稿づまりが発生したときは	67
7.2	操作パネルのエラー表示	68
	一時的エラー	69
	装置異常	70
7.3	トラブルと対処方法	71
	電源が投入されない	72
	読み取りが開始されない	73
	絵や写真が汚くなる	74
	文字や線の読み取り結果が良くない	75
	画像がゆがむまたは鮮明ではない	76
	読み取った画像に縦線が出る	77

	スキャナに電源が投入されたあとで、操作パネルの Check ランプ (LED) が点灯または点滅している	78
	マルチフィードが頻繁に起こる	79
	原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる	81
	原稿づまり / ピックミスが頻繁に起こる	82
	読み取った画像が間延びする	83
	読み取った画像の先端または後端に影がある	84
	原稿に黒い跡が残る	85
7.4	サービスセンターに連絡する前に	86
	概要	86
	エラーの状況	86
7.5	装置ラベルの確認	88
	ラベルの位置	88
第 8 章	スキャナの動作設定	89
8.1	Software Operation Panel の起動	90
8.2	Software Operation Panel のパスワード設定	92
	パスワードの設定	92
	「閲覧モード」の設定	93
	「閲覧モード」の設定解除	94
	パスワードの変更	95
	パスワードの設定解除	96
	パスワード紛失時の対応	97
8.3	設定できる項目	98
	装置設定	98
	装置設定 2	100
8.4	枚数カウンタに関する設定	102
	枚数カウンタの確認およびリセット	102
8.5	読み取りに関する設定	105
	読み取り時の画質の設定 (画質モード)	105

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

目次	
8.6 待機時間に関する設定	106
省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）	106
付録	107
付.1 スキャナ基本仕様	108
付.2 設置諸元	110
付.3 外形寸法	112
付.4 スキャナのオプション	113
付.5 ソフトウェアのアンインストール手順	115
付.6 e-文書法に適合した電子文書の作成	116
e-文書法に対応する要件	116
原稿を読み取ったあとの検証	117
修理・お問い合わせ	118
用語集	121
索引	130

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

第1章 スキャナをお使いになる前に

この章では、各部の名称と働きおよび基本的な操作方法について説明します。

1.1 特長	13
1.2 各部の名称と働き	14
1.3 電源の投入 / 切断	19
1.4 ADF の開閉	20
1.5 ドキュメントカバーの開閉	21
1.6 ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定	22
1.7 スタッカーの設定	23
1.8 省電力モードの移行 / 復帰	24
1.9 読み取り操作の流れ	25
1.10 添付ソフトウェア	27

1.1 特長

本製品の特長について説明します。
本製品には、次のような特長があります。

高速読み取り速度を実現

ADFでは毎分25枚/50面(*1)、フラットベッドでは4秒/枚(*1)の読み取り速度を実現しました。さらに、ADFでは一度に50枚(*2)までの連続読み取りが可能ですので、大量の原稿をスピーディーに電子化できます。

マルチフィードによる業務ロスを低減

一度に2枚以上の原稿が重なって給紙(マルチフィード)されたことを確実に検出する超音波方式マルチフィードセンサーが搭載されているため、マルチフィードを確実に検出でき、業務ロスを未然に防止できます。

e-文書法(*3)の画質要件を満たす画像を生成

2005年4月に施行されたe-文書法により、紙での保存が義務付けられていた税務関連書類(申込書、請求書、検収書など)を、電子化して保存できるようになりました。e-文書法では、府省令により解像度や階調など画質要件が規定されている場合があります。本製品は、府省令に合わせた読み取り設定を行うことにより、e-文書法の画質要件を満たす画像を生成できます。

スキャナを集中管理

添付のアプリケーション「Scanner Central Admin Agent」を使用することで、複数台のスキャナを集中管理できます。例えば、スキャナの設定情報やドライバをアップデートしたり、スキャナの稼働状況を監視したりできます。

詳細は、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

- *1: 解像度 300dpi、JPEG 圧縮を設定して、A4 サイズの原稿を読み取った場合です。
- *2: 厚さ 80g/m² (69kg/ 連) の原稿の場合です。
- *3: e-文書法(通称)とは、民間事業者などに対して、法令により紙での原本保存が義務付けられていた文書を、スキャナで電子化し、原本の保存に代えて画像での保存を容認する法律です。
e-文書法の正式名称は、「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律」および「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」です。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

1.2 各部の名称と働き

スキャナの各部名称について説明します。

前面

ADF 給紙シュート (フィーダー)

読み取る原稿をセットするための台です。

サイドガイド

ADF 給紙シュート (フィーダー) にセットした原稿の幅に合わせて、ズレを防止します。

ADF カバー

消耗品の交換や、内部を清掃する場合に開けます。

ADF (自動給紙機構)

ADF 給紙シュート (フィーダー) にセットした原稿を、1枚ずつ引き込んで搬送します。消耗品の交換や、内部を清掃する場合に開けます。

フラットベッド

薄い原稿、本のような厚みを持った原稿など ADF で読み取れない原稿を読み取る場合に、ガラス面に原稿を置きます。

シュートエクステンション

読み取る原稿の長さに合わせて、引き上げて使用します。

ストッパー

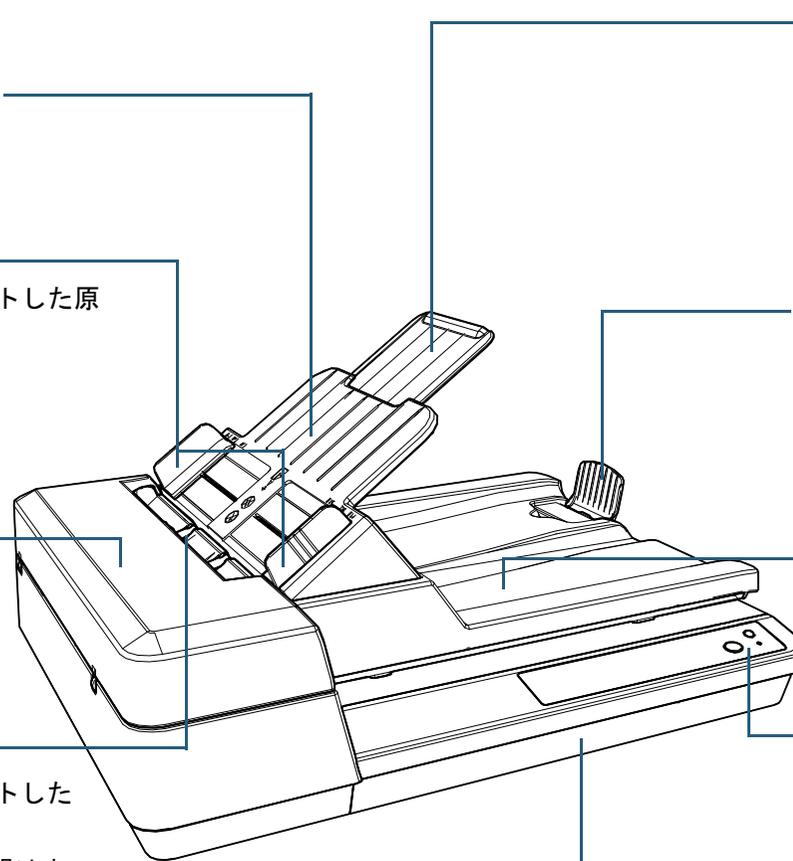
読み取る原稿の長さに合わせて、起こして使用します。

スタッカー

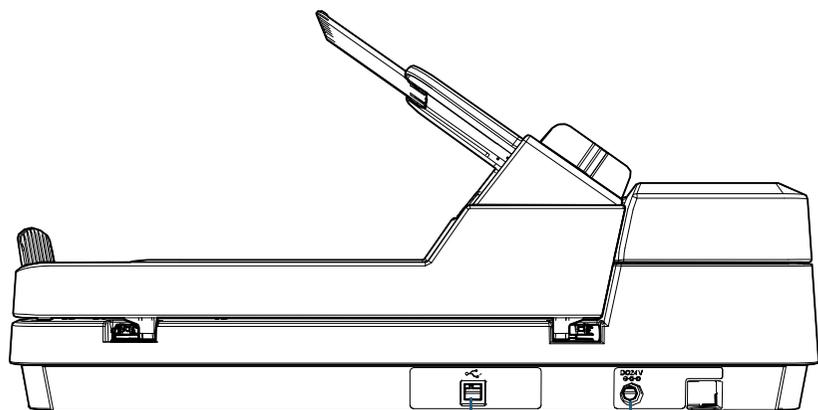
排出された原稿が積み重ねられます。

操作パネル

ボタン、Check ランプ (LED) から構成されています。スキャナを操作したり、スキャナの状態を確認したりできます。詳細は、「第3章 操作パネルの操作方法」(P.40) を参照してください。



背面



電源コネクタ

電源ケーブルを接続します。
電源ケーブルは、ACケーブルとACアダプターを接続したケーブルのことです。

USBコネクタ

USBケーブルを接続します。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

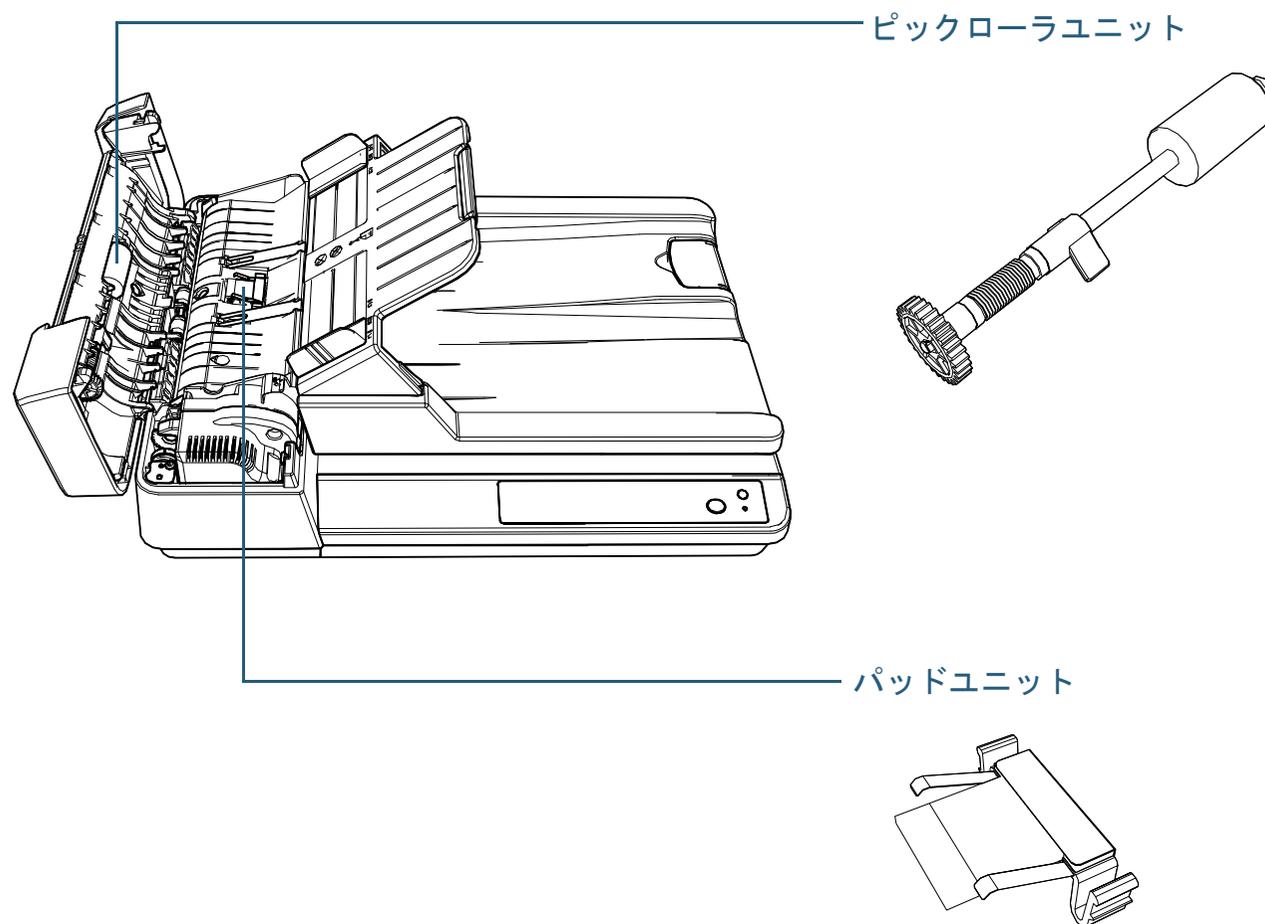
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

取り外し可能部品



ピックアップユニット

パッドユニット

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

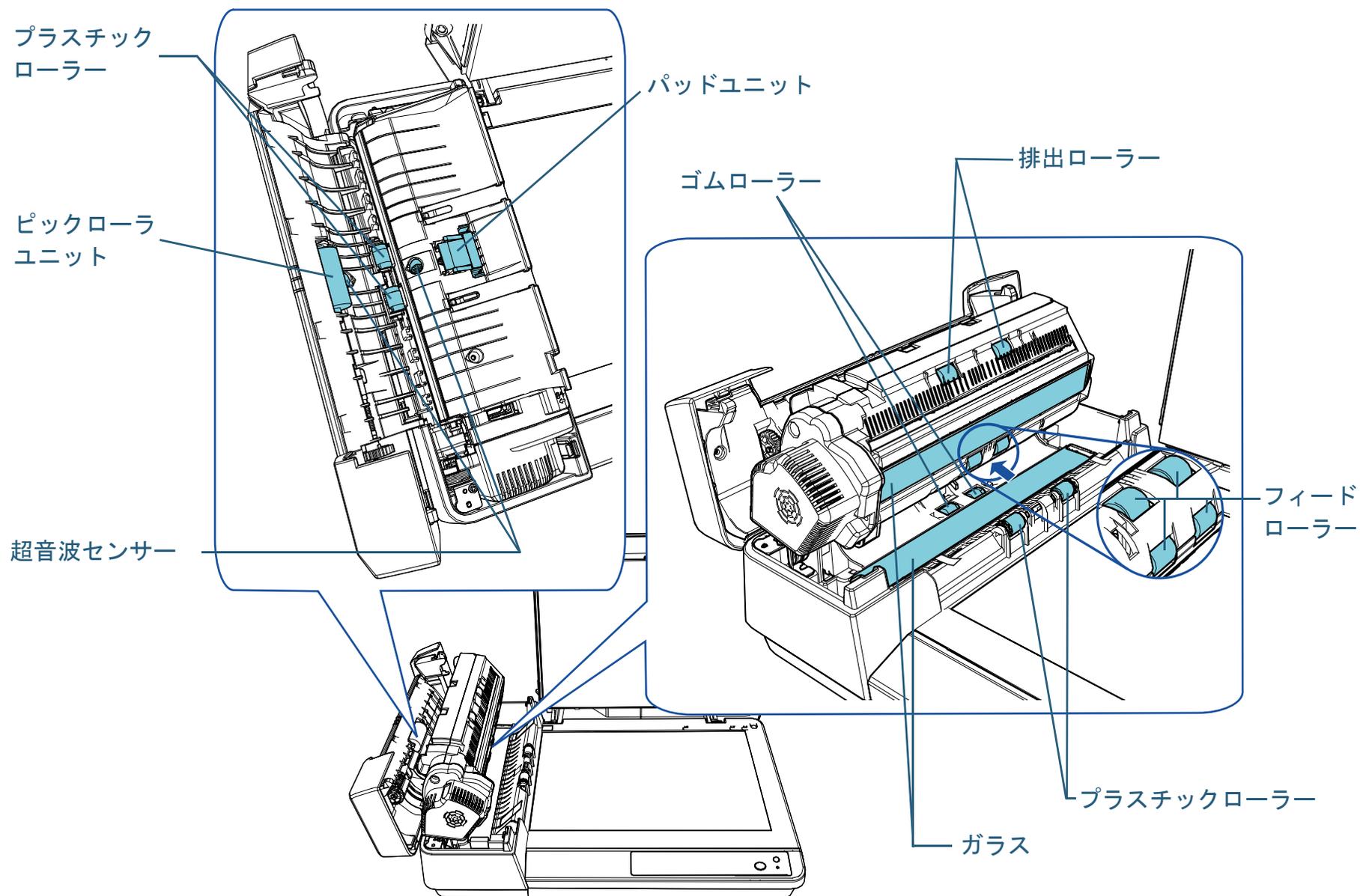
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

内部 (ADF)



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

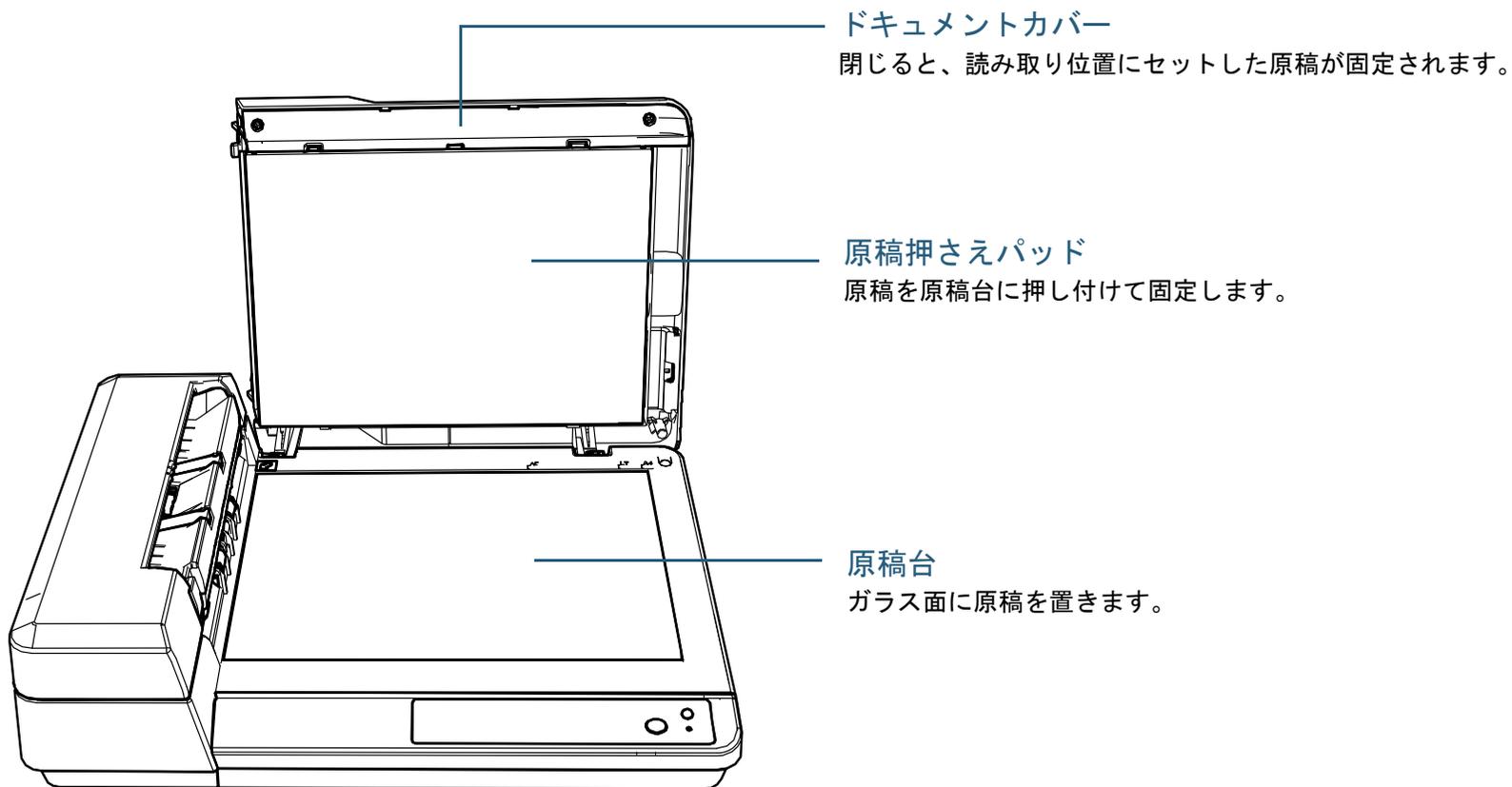
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

内部（フラットベッド）



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

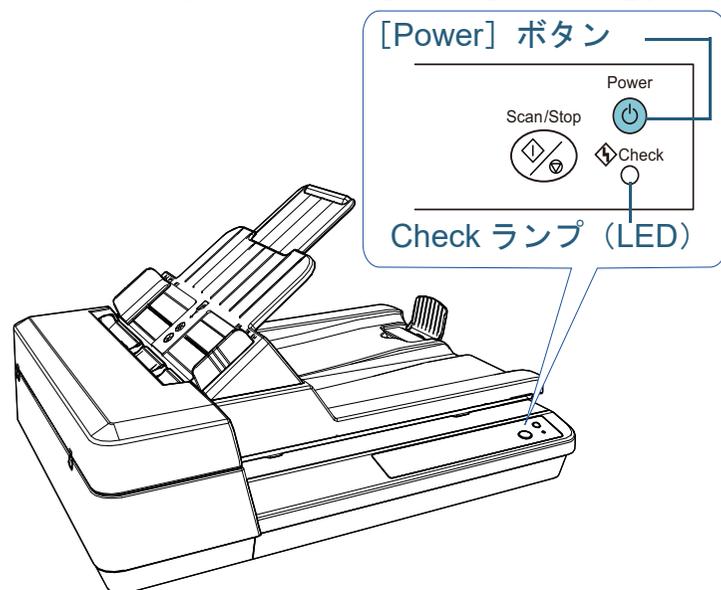
用語集

1.3 電源の投入 / 切断

電源の投入 / 切断について説明します。

電源の投入

- 1 スキャナの操作パネルの [Power] ボタンを押します。



- ⇒ 電源が投入され、初期化処理実行中は、[Power] ボタンが点滅します。
[Power] ボタンが緑色に点灯すると、原稿を読み取れる状態になります。この状態を「レディ状態」と呼びます。

ヒント

レディ状態では、Check ランプ (LED) が消灯し、[Power] ボタンが点灯します。

電源の切断

- 1 スキャナの操作パネルの [Power] ボタンを長押しします。
⇒ 電源が切断され、[Power] ボタンが消灯します。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

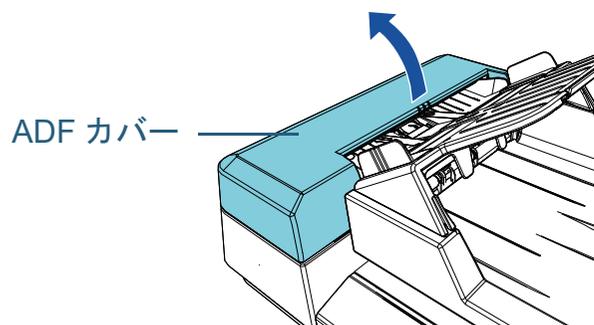
用語集

1.4 ADF の開閉

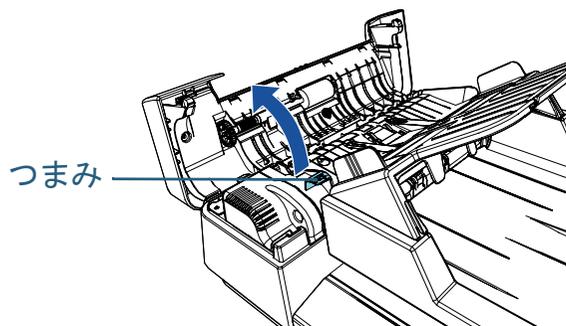
ADF の開閉について説明します。

ADF の開け方

- 1 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。
- 2 ADF カバーを開けます。



- 3 ADF のつまみをつまんで ADF を開けます。

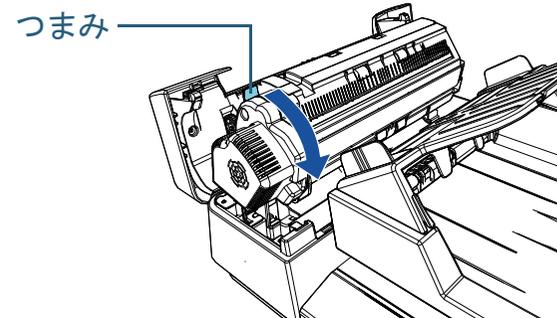


注意

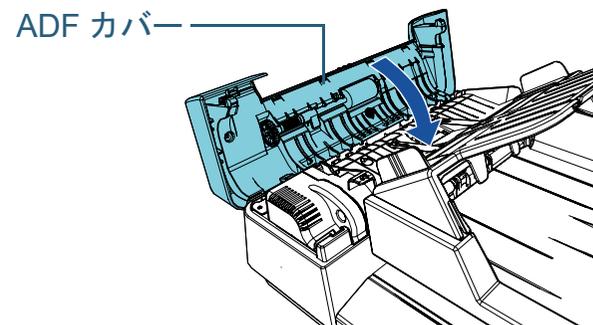
ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

ADF の閉じ方

- 1 ADF のつまみをつまんで ADF を閉じます。



- 2 ADF カバーを閉じます。
「カチン」という音がするまで、ADF カバーの中央を押し込んでください。



注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

重要

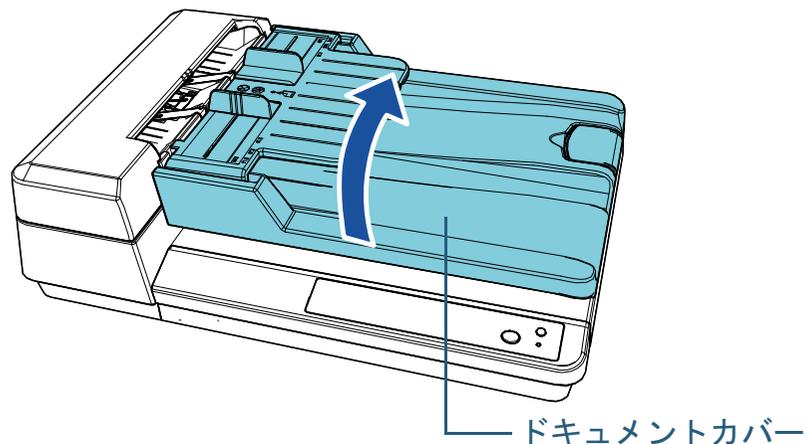
ADF を閉じるときは、異物が ADF 内にはさまれていないことを確認してください。

1.5 ドキュメントカバーの開閉

ドキュメントカバーの開閉について説明します。

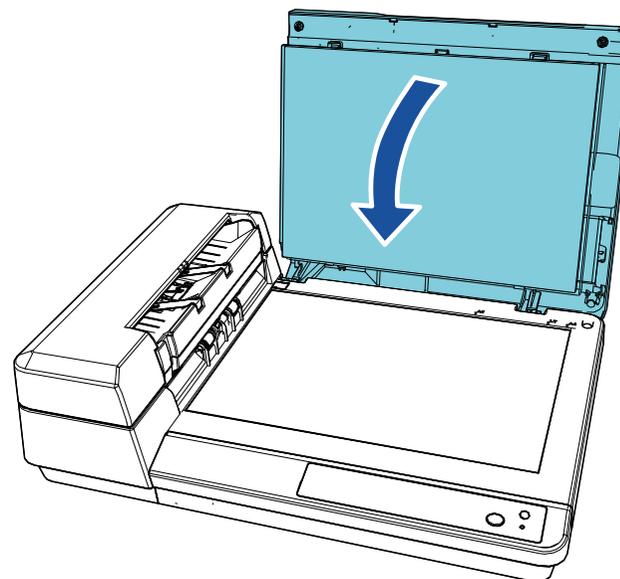
ドキュメントカバーの開け方

- 1 ドキュメントカバーを開けます。



ドキュメントカバーの閉じ方

- 1 ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

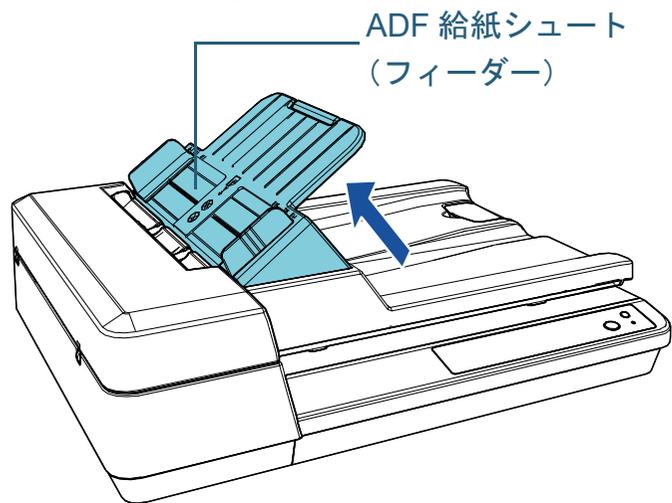
用語集

1.6 ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定

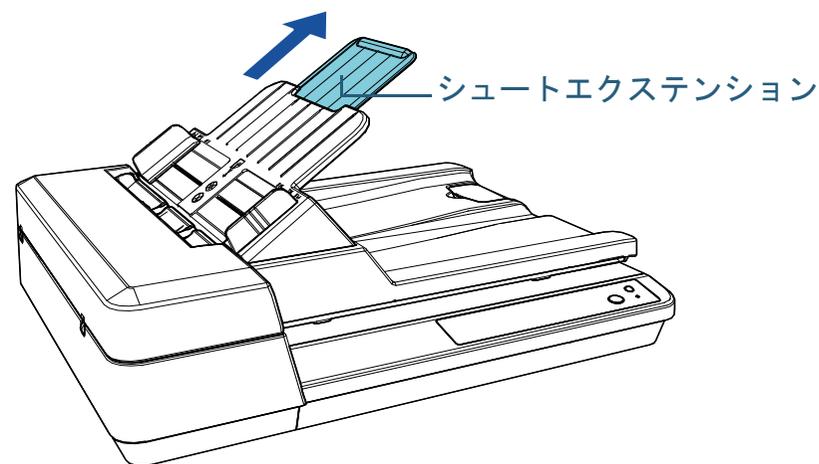
ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿は、読み取りを開始すると、順次読み込まれていきます。

A4 サイズなどの長さのある原稿を読み取る場合は、次の手順のように、シュートエクステンションを使用して原稿を支えることによって、原稿がきれいに読み込まれます。

- 1 「カチン」という音がするまで、ADF 給紙シュート（フィーダー）を持ち上げます。

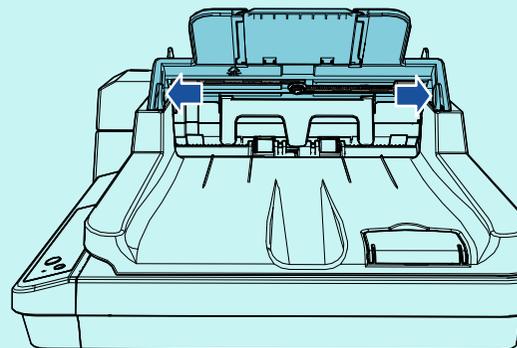


- 2 シュートエクステンションを引き上げます。



ヒント

ADF を使用しないときは、矢印部分を押し、ADF 給紙シュート（フィーダー）を下げておきます。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

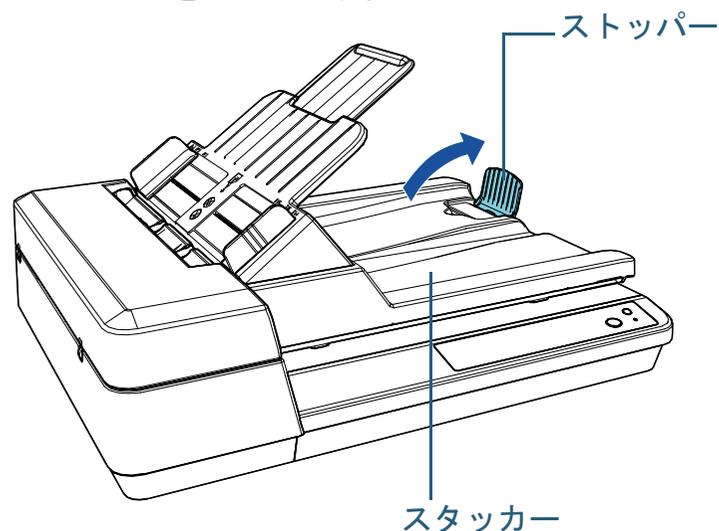
用語集

1.7 スタッカーの設定

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿は、読み取りを開始すると、順次スタッカーに排出されて積み重ねられていきます。

A4 サイズなどの長さのある原稿を読み取る場合は、次の手順のようにストッパーを使用すると、原稿がきれいに積み重ねられます。

1 ストッパーを起こします。



重要

ストッパーを無理に90度以上起こすと、破損するおそれがあります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

1.8 省電力モードの移行 / 復帰

省電力モードとは、電源が投入されたスキャナが一定時間操作されない場合に、消費電力を低い状態に保つことです。スキャナの電源を投入したままで15分（工場出荷時の設定値）以上何も操作しないと、自動的に省電力モードに切り替わります。

省電力モードに切り替わっても、[Power] ボタンは緑色に点灯したままです。

省電力モードから復帰するためには、次のどれかの操作を行います。

- ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする。
- 操作パネルの [Scan/Stop] ボタンを押す。
- スキャナを使用できるアプリケーションから読み取る。

省電力モードから復帰した場合、操作パネルの [Power] ボタンがレディ状態になるまで点滅します。

また、スキャナの電源を投入したままで一定時間何も操作しないと、自動的にスキャナの電源が切断され、待機中の消費電力を低減できます。

自動的にスキャナの電源が切断されないようにするには、Software Operation Panel の「装置設定」で、「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスのチェックを外してください。「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスのチェックを外すと、スキャナの消費電力が増加します。詳細は、「[省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）](#)」（P.106）を参照してください。

自動的にスキャナの電源が切断された場合に、再度スキャナの電源を投入するには、操作パネルの [Power] ボタンを押

します。詳細は、「[1.3 電源の投入 / 切断](#)」（P.19）を参照してください。

重要

- 搬送路上に原稿が残されたままになっていた場合、省電力モードに切り替わる時間が経過しても省電力モードに切り替わらないことがありますので、搬送路上にある原稿を取り除いてください。詳細は、「[7.1 原稿づまりが発生したときは](#)」（P.67）を参照してください。
- 使用するアプリケーションによっては、「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスをチェックしても、スキャナの電源が切断されない場合があります。
- 画像読み取り用アプリケーションを使用中にスキャナの電源が自動的に切断された場合は、再度スキャナの電源を投入する前に、一度アプリケーションを終了してください。

ヒント

- 省電力モードに切り替わるまでの時間は、Software Operation Panel で変更できます。詳細は、「[省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）](#)」（P.106）を参照してください。
- 操作パネルの詳細は、「[第3章 操作パネルの操作方法](#)」（P.40）を参照してください。

1.9 読み取り操作の流れ

スキャナを使用して原稿を読み取る操作の流れについて説明します。

スキャナで原稿を読み取るためには、スキャナドライバと、そのスキャナドライバに対応した画像読み取り用アプリケーションが必要です。

本製品には、次のスキャナドライバと、画像読み取り用アプリケーションが添付されています。

- スキャナドライバ
 - PaperStream IP (TWAIN) for SP Series
 - PaperStream IP (TWAIN x64) for SP Series
 - PaperStream IP (ISIS) for SP Series
- 画像読み取り用アプリケーション
 - PaperStream ClickScan
 - PaperStream Capture Lite
 - Presto! PageManager
 - ABBYY FineReader Sprint

ヒント

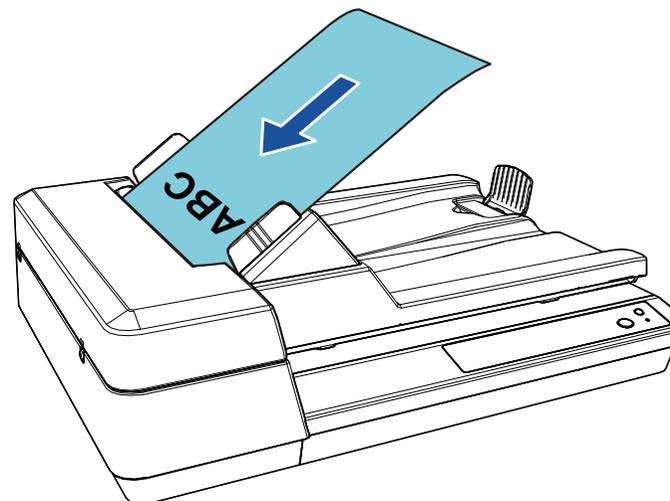
スキャナドライバおよび画像読み取り用アプリケーションの詳細は、「1.10 添付ソフトウェア」(P.27)を参照してください。

画像読み取り用アプリケーションによっては、読み取り手順や操作が若干異なります。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアルを参照してください。

ここでは、読み取り操作の流れを示します。

- 1 スキャナの電源を投入します。
詳細は、「1.3 電源の投入 / 切断」(P.19)を参照してください。
- 2 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。
原稿の表面（読み取り面）が上向きになるように、原稿をセットします。



詳細は、「第2章 原稿のセット方法」(P.31)を参照してください。

- 3 画像読み取り用アプリケーションを起動します。
- 4 読み取りに使用するスキャナドライバを指定します。
画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナドライバを指定しなくてもよい場合もあります。

- 5 読み取りに使用するスキャナを指定します。
コンピュータに接続したスキャナを選択します。
画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナを指定しなくてもよい場合もあります。
- 6 スキャナドライバの設定画面で、スキャナの読み取り条件を設定します。
画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナドライバの設定画面を表示しない場合もあります。
- 7 画像読み取り用アプリケーションから原稿を読み取ります。

重要

読み取り中などスキャナとコンピュータが通信しているときに、USB ケーブルを抜いたり、ユーザーログオフしたりなどスキャナとコンピュータの通信が切断される操作をしないでください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

1.10 添付ソフトウェア

添付ソフトウェアの概要

本製品には、次のソフトウェアが添付されています。

- PaperStream IP ドライバ
PaperStream IP ドライバは、TWAIN/ISIS 規格に準拠したスキャナドライバです。
PaperStream IP ドライバには、次の 3 種類があります。
 - PaperStream IP (TWAIN) for SP Series
TWAIN 規格に準拠したスキャナドライバです。TWAIN 規格に準拠した 32 ビットのアプリケーションからスキャナを操作する場合に使用します。
 - PaperStream IP (TWAIN x64) for SP Series
TWAIN 規格に準拠したスキャナドライバです。TWAIN 規格に準拠した 64 ビットのアプリケーションからスキャナを操作する場合に使用します。
64 ビットオペレーティングシステムの場合にインストールできます。
 - PaperStream IP (ISIS) for SP Series
ISIS 規格に準拠したスキャナドライバです。ISIS 規格に準拠したアプリケーションからスキャナを操作する場合に使用しません。

詳細は、PaperStream IP ドライバのヘルプを参照してください。

- Software Operation Panel
読み取り時の動作や消耗品の管理などの設定ができます。
PaperStream IP ドライバと同時にインストールされます。
詳細は、「第 8 章 スキャナの動作設定」(P.89) を参照してください。
- Error Recovery Guide
エラーが発生した場合に、スキャナの状態と対処方法を表示します。
PaperStream IP ドライバと同時にインストールされます。

- PaperStream ClickScan
PaperStream IP (TWAIN) for SP Series に対応した 32 ビットの画像読み取り用アプリケーションです。
シンプルな設定と操作だけで読み取り処理を実行できます。
コンピュータにログインすると同時に自動で起動し、画面右下の通知領域に常駐します。
詳細は、PaperStream ClickScan のヘルプを参照してください。
- PaperStream ClickScan Searchable PDF Option
画像を検索可能な PDF、Word (*1)、Excel (*1) などの形式で出力するためのアプリケーションです。
PaperStream ClickScan で使用できます。
詳細は、PaperStream ClickScan のヘルプを参照してください。
- PaperStream Capture Lite
PaperStream IP (TWAIN) for SP Series に対応した 32 ビットの画像読み取り用アプリケーションです。スキャナの読み取り処理の設定をドキュメントプロファイルに定義し、業務内容に応じた読み取り処理を実行できます。
- Presto! PageManager
PaperStream IP (TWAIN) for SP Series に対応した画像読み取り用アプリケーションです。ドキュメントを簡単に読み取り、共有、整理できます。
詳細は、Presto! PageManager のヘルプおよびマニュアルを参照してください。
- ABBYY FineReader Sprint
PaperStream IP (TWAIN) for SP Series に対応したアプリケーションです。WIA ドライバは未サポートです。読み取った画像を Word (*1) や Excel (*1) などに変換できます。
詳細は、ABBYY FineReader Sprint のヘルプを参照してください。
- マニュアル
安全上のご注意およびオペレーターガイドがインストールされます。
- Scanner Central Admin Agent
スキャナのファームウェアの一括アップデートや、複数台のスキャナの集中管理・監視ができます。スキャナ稼働状況の監視や、スキャナ情報の確認が可能となります。
運用形態ごとに必要となるアプリケーションが異なります。

詳細は、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

- SP Series Online Update
SP シリーズに関連するソフトウェアおよびファームウェアの最新のアップデートプログラムを確認し、アップデートするアプリケーションです。
詳細は、SP Series Online Update のヘルプを参照してください。

*1 : Microsoft® Office 製品がインストールされている必要があります。

そのほか、スキャナの動作や読み取り条件を設定して、画像読み取り用アプリケーションからスキャナでいろいろな原稿を読み取る方法については、「[第 4 章 いろいろな読み取り方 \(P.43\)](#)」で説明しています。

動作環境

動作環境は、次のとおりです。

オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> ● Windows® 10 Home (32/64 ビット) (*3) ● Windows® 10 Pro (32/64 ビット) (*3) ● Windows® 10 Enterprise (32/64 ビット) (*3) ● Windows® 10 Education (32/64 ビット) (*3) ● Windows Server® 2016 Standard (64 ビット) (*1) (*2) (*3) ● Windows Server® 2019 Standard (64 ビット) (*1) (*2) (*3) ● Windows Server® 2022 Standard (64 ビット) (*1) (*2) (*3) ● Windows® 11 Home (64 ビット) (*3) ● Windows® 11 Pro (64 ビット) (*3) ● Windows® 11 Enterprise (64 ビット) (*3) ● Windows® 11 Education (64 ビット) (*3)
CPU	Intel または Intel 互換プロセッサ
ディスプレイ解像度	1024 × 768 ピクセル以上、65536 色以上が表示可能なディスプレイ
ディスク容量	11GB 以上の空き容量が必要 (*4)
DVD ドライブ	インストール時に必要
インターフェース	USB2.0/1.1

*1 : PaperStream Capture Lite は未サポートです。

*2 : Presto! PageManager および ABBYY FineReader Sprint は未サポートです。

*3 : 添付ソフトウェアは、デスクトップアプリケーションとして動作します。

*4：原稿の読み取り時には、保存されるファイルサイズに応じたディスク容量が必要となります。

添付ソフトウェアのインストール

添付の Setup DVD-ROM からソフトウェアをインストールする手順について説明します。

次のソフトウェアをインストールできます。

- PaperStream IP (TWAIN) for SP Series
- PaperStream IP (TWAIN x64) for SP Series
- PaperStream IP (ISIS) for SP Series
- Software Operation Panel
- Error Recovery Guide
- PaperStream ClickScan
- PaperStream Capture Lite
- Presto! PageManager
- ABBYY FineReader Sprint
- マニュアル
- Scanner Central Admin Agent
- SP Series Online Update

重要

旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。ソフトウェアのアンインストール手順については、「付.5 ソフトウェアのアンインストール手順」(P.115)を参照してください。

- 1 コンピュータの電源を投入して、コンピュータの管理者権限を持つユーザーで、Windows にログオンします。
- 2 Setup DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。
⇒ 「SP シリーズ セットアップ」画面が表示されます。

ヒント

「SP シリーズ セットアップ」画面が表示されない場合は、「エクスプローラー」または「コンピューター」から、Setup DVD-ROM 内の「Setup.exe」をダブルクリックしてください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

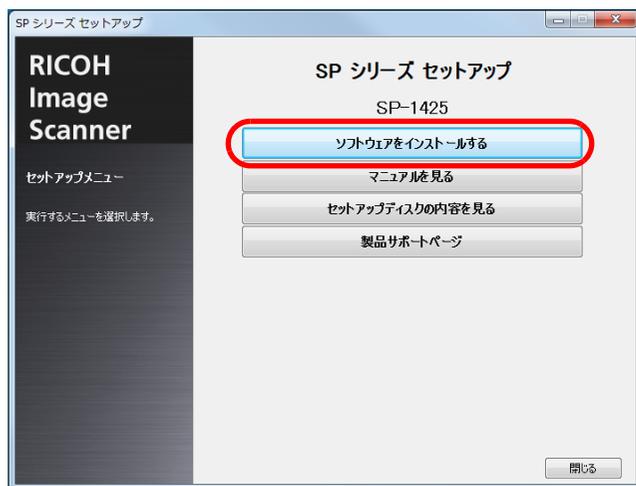
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

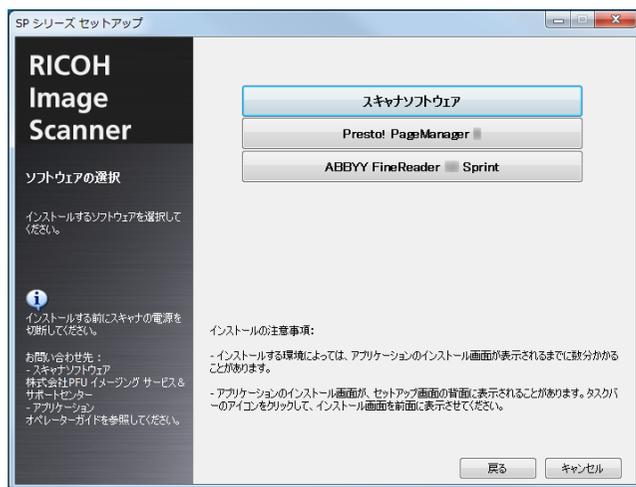
3 [ソフトウェアをインストールする] ボタンをクリックします。



⇒ ソフトウェアの情報の画面が表示されます。

4 内容を確認して [次へ] ボタンをクリックします。

5 インストールするソフトウェアのボタンをクリックします。



6 表示される画面の指示に従ってインストールします。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

第2章 原稿のセット方法

この章では、原稿をスキャナにセットする方法について説明します。

2.1 ADF での原稿のセット	32
2.2 フラットベッドでの原稿のセット	34
2.3 読み取りできる原稿	35

2.1 ADF での原稿のセット

ADF に原稿をセットする方法について説明します。

原稿の準備

ヒント

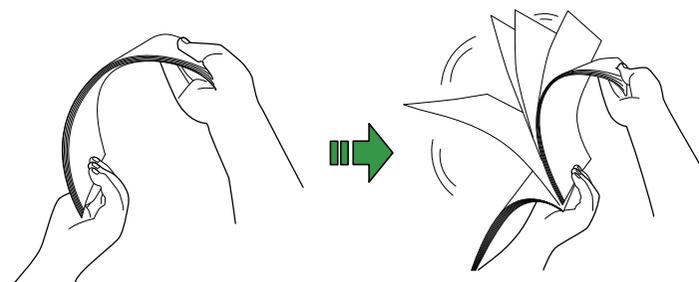
スキャナが正しく動作するために必要な原稿のサイズと原稿の紙質の詳細は、「2.3 読み取りできる原稿」(P.35)を参照してください。

1 原稿を確認します。

- 1 セットする原稿の幅がすべて同じであることを確認します。
幅が異なる原稿を同時にセットすることはできません。
- 2 原稿の枚数を確認します。
セットできる原稿枚数は50枚までです(厚さ80g/m²(69kg/連)の原稿、原稿の総厚みが5mm以下)。
詳細は、「セットできる原稿の枚数」(P.37)を参照してください。

2 原稿をさばきます。

- 1 原稿を5mm以下の厚みで取り出します。
- 2 両手で原稿の両端を軽くつかみ、2～3回さばきます。



- 3 原稿の向きを90度回転し、同じようにさばきます。
- 4 すべての原稿に対して、手順1～3を行います。
- 5 原稿の端をそろえます。

ヒント

原稿のさばき方の詳細は、Error Recovery Guideを参照してください。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

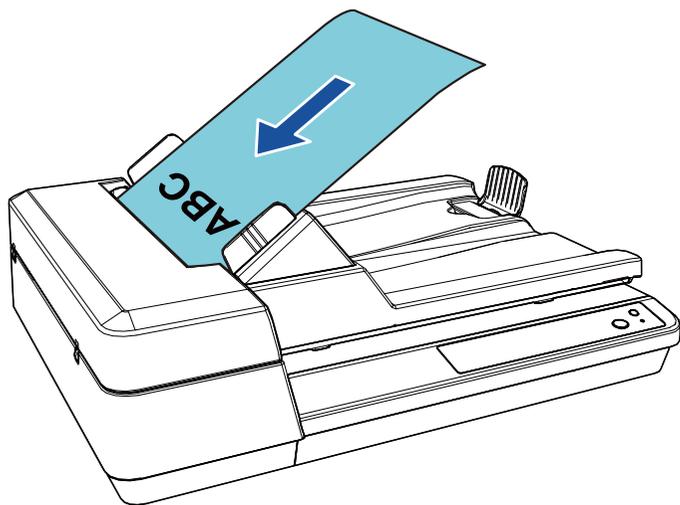
スキャナの動作設定

付録

用語集

原稿のセット方法

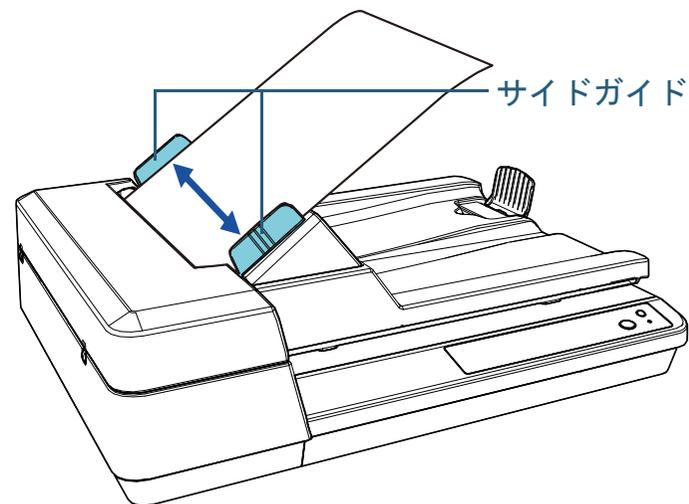
- 1 ADF 給紙シュート（フィーダー）を設定します。
詳細は、「1.6 ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定」（P.22）を参照してください。
- 2 原稿の長さに合わせて、ストッパーを起こします。
詳細は、「1.7 スタッパーの設定」（P.23）を参照してください。
- 3 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。
原稿の表面（読み取り面）が上向きになるように、原稿をセットします。



重要

- クリップ、ステープルは取り除いてください。
- マルチフィードやピックミスが発生する場合は、原稿の分量を減らしてください。

- 4 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。
サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。
サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が斜めに読み込まれることがあります。



- 5 画像読み取り用アプリケーションから原稿を読み取ります。
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアルを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

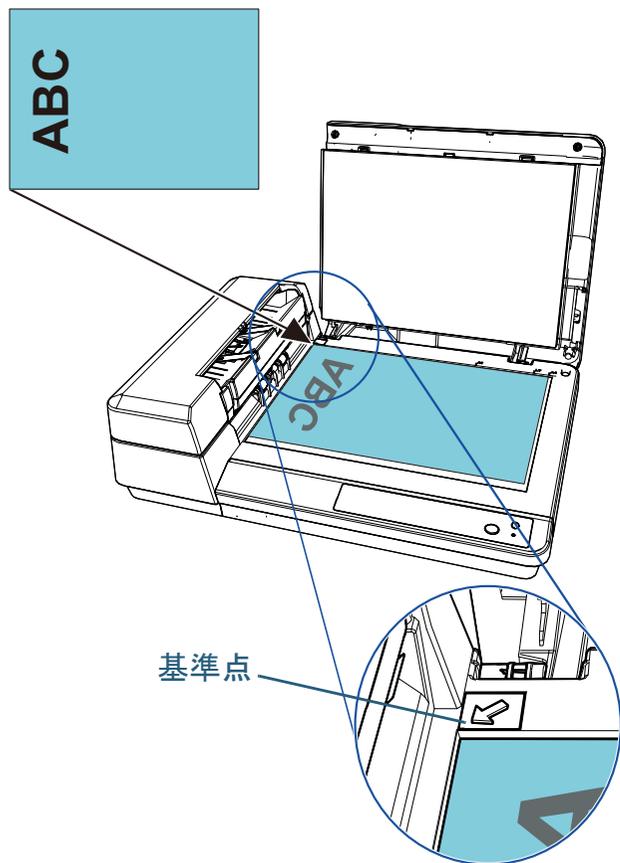
スキャナの動作設定

付録

用語集

2.2 フラットベッドでの原稿のセット

- 1 ドキュメントカバーを開けます。
詳細は、「1.5 ドキュメントカバーの開閉」(P.21)を参照してください。
- 2 原稿台に原稿をセットします。
原稿の表面(読み取り面)が原稿台側になるように、原稿の左上の角を基準点に合わせます。



- 3 ドキュメントカバーを閉じます。
詳細は、「1.5 ドキュメントカバーの開閉」(P.21)を参照してください。
- 4 画像読み取り用アプリケーションから原稿を読み取ります。
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアルを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

2.3 読み取りできる原稿

原稿のサイズ

読み取り可能な原稿のサイズを次に示します。

ADF	<ul style="list-style-type: none"> ● 最大サイズ（幅 × 長さ） <ul style="list-style-type: none"> - A4 縦（210 × 297mm） - リーガル（8.5 × 14 インチ） - 長尺帳票（*1） （216 × 863mm、216 × 3048mm） ● 最小サイズ（幅 × 長さ） 114 × 140mm
フラットベッド	<ul style="list-style-type: none"> ● 最大サイズ（幅 × 長さ） 216 × 297mm ● 最小サイズ（幅 × 長さ） 25.4 × 25.4mm

*1：アプリケーションやスキャナドライバの読み取り設定によっては、メモリ不足で読み取りできない場合があります。長尺帳票読み取り時は、解像度を 200dpi 以下にした場合、最大の長さ 3048mm（120 インチ）まで読み取り可能です。

読み取りできる原稿の条件

ADF で読み取りできる原稿の条件を次に示します。原稿がこれらの条件を満たしていないときは、フラットベッドを使用してください。

原稿の種類

推奨される原稿の種類は次のとおりです。

- 上質紙
- 中質紙
- PPC 用紙（再生紙）

上記以外の種類の原稿を読み取る場合には、読み取り操作を実行する前に、読み取りできるかどうかを同質の原稿で確認してください。

原稿の厚さ

使用可能な原稿の厚さは次のとおりです。

- 52 ~ 127g/m²（45 ~ 110kg/連）

事前の注意

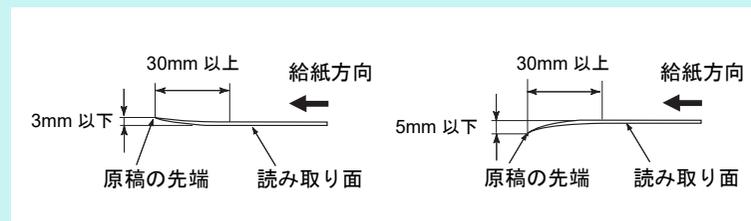
- うまく読み取れない原稿
次の原稿はうまく読み取れない場合があります。
 - トレーシングペーパー
 - 四角形ではない原稿
 - 非常に薄い原稿
- 読み取れない原稿
次の原稿は読み取らないでください。
 - クリップまたはステーブルが付いた原稿
 - インクが乾いていない原稿
 - 114 × 140mm より小さい原稿
 - 幅が 216mm (8.5 インチ) より大きい原稿
 - 紙以外のもの：布、金属箔、OHP フィルムなど
 - プラスチックカード
 - 傷ついたりよごれたりしてはならない重要書類
 - 厚さが一定していない原稿（封筒、写真を貼り付けた原稿など）
 - しわが寄っているまたはカールしている原稿
 - 折れたり、裂けたりしている原稿
 - コート紙
 - カーボン紙
 - ノーカーボン紙
 - 感光紙
 - 端にミシン目のある原稿
 - 写真（印画紙）
- 原稿の混載
厚み / 摩擦係数 / サイズの異なる原稿は、混載して読み取れません。

重要

- ノーカーボン紙は、パッドユニットや原稿を送るローラー類（ピックアップユニットなど）を損なうような化学物質を含んでいるため、スキャナが故障する可能性があります。
- 中質紙の原稿を読み取った場合、パッドユニットとピックアップユニットの寿命は、上質紙の原稿を読み取った場合に比べて短くなる場合があります。
- 原稿に貼り付けられた写真やメモ用紙が、原稿を読み取るときにパッドユニットやピックアップユニットに接触すると、パッドユニットやピックアップユニットが傷つく可能性があります。
- 写真などの光沢紙を読み取った場合、原稿の表面が傷つく可能性があります。
- 光沢のある原稿を読み取った場合、LED 光源の輝点が見えることがあります。

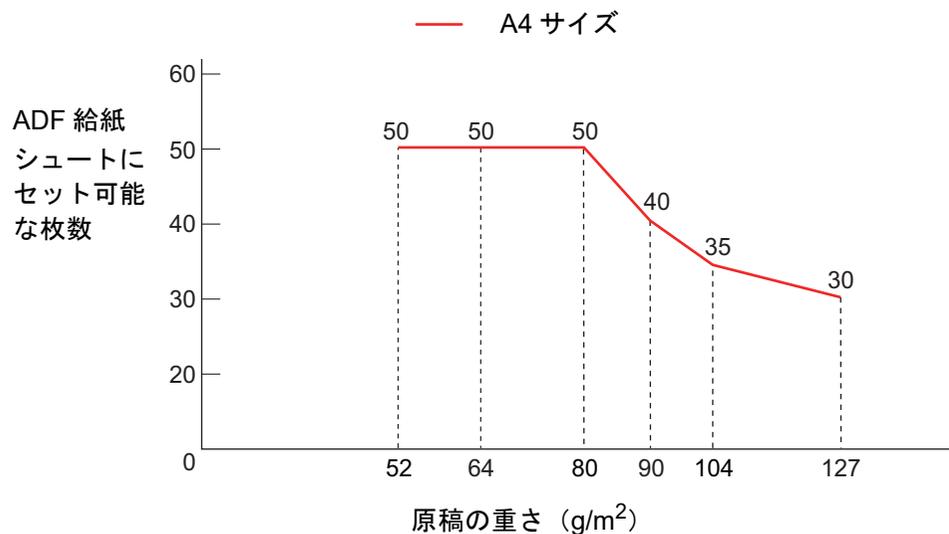
ヒント

- 半透明の原稿を読み取るときは、裏写りを防止するために、スキャナドライバで「明るさ」を明るめに設定してください。
- 鉛筆書きの原稿を読み取るときは、原稿に黒い跡が転写される可能性があるため、できる限り頻りにローラーを清掃してください。ローラー類のよごれ、原稿送り不良の原因となります。清掃方法については、「第5章 日常のお手入れ」(P.50) を参照してください。
- マルチフィード、ピックアップミス、原稿づまりが頻りに発生する場合は、「7.3 トラブルと対処方法」(P.71) を参照してください。
- ADF で原稿を読み取る場合、すべての原稿は先端が平らでなければなりません。原稿先端のカールは次の数値を満たしている必要があります。



セットできる原稿の枚数

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットできる原稿の枚数は原稿のサイズと厚さで決まります。次のグラフを参照してください。



厚さの単位	変換表						
g/m ² (坪量)	52	64	75	80	90	104	127
lb	14	17	20	21	24	28	34
kg/ 連 (連量)	45	55	65	69	77	90	110

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

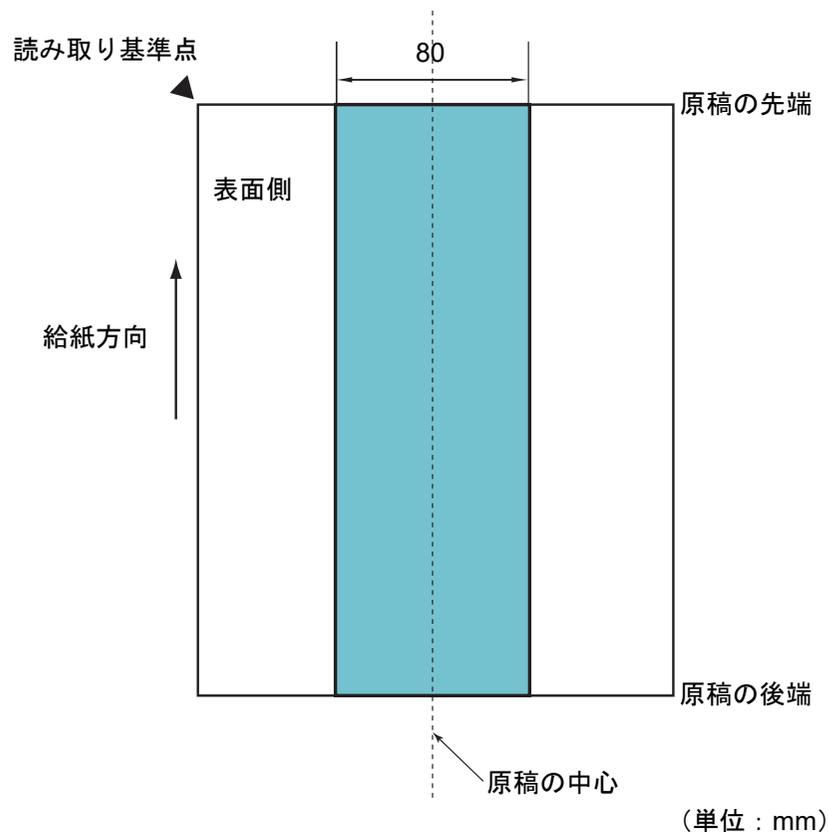
用語集

穴を開けてはいけない領域

次の図にある水色の領域に穴があるとエラーの原因となる場合があります。

このような原稿を読み取る場合は、フラットベッドを使用してください。

図1



重要

この条件は、原稿がピックアップユニットのローラー幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提となります。

マルチフィードを正しく検出するための条件

マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なってADFに送り込まれてしまう現象のことです。スキャナドライバでマルチフィードを検出する設定にすると、マルチフィードを検出できます。

マルチフィードを正しく検出するには、次に示す条件が必要です。

- 原稿の厚さ：52～127g/m²（45～110kg/連）（0.06～0.15mm）
- 原稿の中心線をはさむ80mmの領域に、穴を開けないでください。「図1」（P.38）を参照してください。
- 原稿の中心線をはさむ80mmの領域に、のりなどの接着剤でほかの原稿を貼り付けしないでください。「図1」（P.38）を参照してください。
- 標高：0～2,000m
標高2,000mを超える高地で、厚さ100g/m²以上の原稿を読み取ると、マルチフィードと検出されることがあります。

重要

- この条件は、原稿がピックアップユニットのローラー幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提となります。
- 厚い原稿は、常にマルチフィードと誤検出されるため、スキャナドライバでマルチフィードを検出しない設定にして読み取ってください。

ヒント

原稿によっては、マルチフィードの検出率が低下する場合があります。原稿の先端から約30mmは、マルチフィードを検出できません。

自動用紙サイズ検出を行うための条件

次のような原稿の場合、「自動用紙サイズ検出」ができません。

- 長方形ではない原稿

また、次のような原稿の場合、「自動用紙サイズ検出」ができないことがあります。

- 原稿端が光沢のある白い原稿
- 原稿端が薄暗い（グレー色）の原稿

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

第3章 操作パネルの操作方法

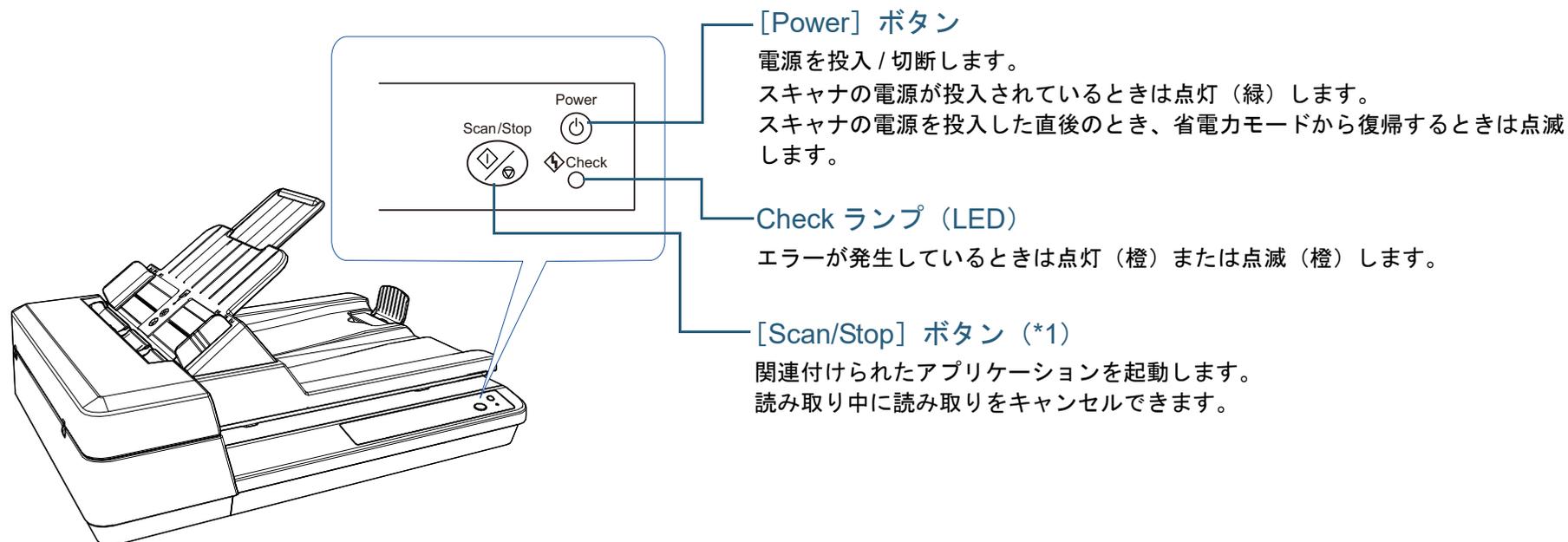
この章では、操作パネルの操作方法について説明します。

3.1 操作パネルをお使いになる前に	41
--------------------------	----

3.1 操作パネルをお使いになる前に

操作パネルは、ボタンと Check ランプ (LED) から構成されています。

操作パネルの名称と働き



*1 : [Scan/Stop] ボタンで原稿を読み取る場合の設定方法については、スキャナドライバのヘルプおよび「[スキャナのボタンで読み取りを開始したいとき](#)」(P.48) を参照してください。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

Check ランプ (LED) および [Power] ボタンの表示内容

Check ランプ (LED)	[Power] ボタン	説明
消灯	点滅	電源の投入後、初期化処理実行中であることを意味します。 省電力モードからの復帰時や ADF を閉じたあと、レディ状態になるまでの間に表示されます。
消灯	点灯	レディ状態です。 電源の投入後、初期化処理を実行し、正常に処理が終了したことを意味します。 省電力モード中もこの表示になります。
点灯	点灯	スキャナで原稿を読み取り中に、解除可能なエラーが発生したことを意味します。 エラーの詳細は、「 一時的エラー 」(P.69) を参照してください。
点滅	点灯 または 点滅	スキャナが初期化処理中または原稿の読み取り中に、装置異常 (アラーム) が発生したことを意味します。 エラーの詳細は、「 装置異常 」(P.70) を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

第4章 いろいろな読み取り方

この章では、スキャナの動作や読み取り条件を設定して、画像読み取り用アプリケーションからスキャナでいろいろな原稿を読み取る方法について説明します。

4.1 読み取り方一覧	44
4.2 種類やサイズが異なる原稿の読み取り	45
4.3 読み取り方の変更	48

4.1 読み取り方一覧

ここでは、代表的な原稿の読み取り方の一覧を示します。

種類やサイズが異なる原稿の読み取り

- 「長尺帳票を読み取りたいとき」(P.45)
- 「本を読み取りたいとき」(P.46)
- 「フラットベッドで大きな原稿を読み取りたいとき」(P.47)

読み取り方の変更

- 「スキャナのボタンで読み取りを開始したいとき」(P.48)

そのほかの原稿の読み取り方については、スキャナドライバのヘルプを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

4.2 種類やサイズが異なる原稿の読み取り

長尺帳票を読み取りたいとき

給紙方向（長さ方向）最大 3048mm（120 インチ）までの原稿を読み取りできます。

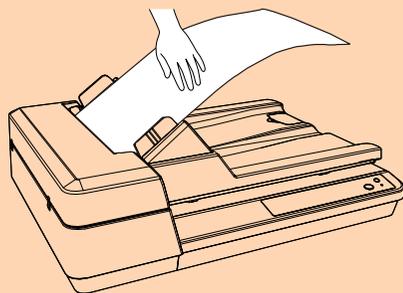
解像度の設定や、画像読み取り用アプリケーションによっては、読み取り可能な原稿サイズが異なります。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアルを参照してください。

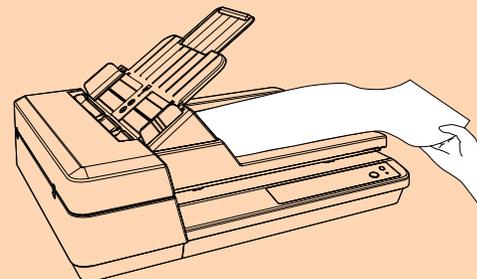
- 1 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。詳細は、「[第2章 原稿のセット方法](#)」（P.31）を参照してください。

重要

- 長尺帳票は、1 枚ずつ ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。
- 長尺帳票を読み取る場合は、次のことに注意してください。
 - 原稿のセット時
読み取る原稿が ADF 給紙シュート（フィーダー）から落ちないように、原稿を手で押さえてセットしてください。



- 原稿の排出時
スタッカー側に十分なスペースを設け、読み取りが完了した原稿がスタッカーから落ちないように、手で受け取ってください。



ヒント

A4 サイズより長い原稿を読み取る場合は、シュートエクステンションを最大まで引き上げてください。詳細は、「[1.6 ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定](#)」（P.22）を参照してください。

- 2 スキャナドライバで、長尺帳票用の読み取り設定にします。詳細は、スキャナドライバのヘルプを参照してください。画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナドライバの設定画面を表示しない場合もあります。
- 3 画像読み取り用アプリケーションから原稿を読み取ります。詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアルを参照してください。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

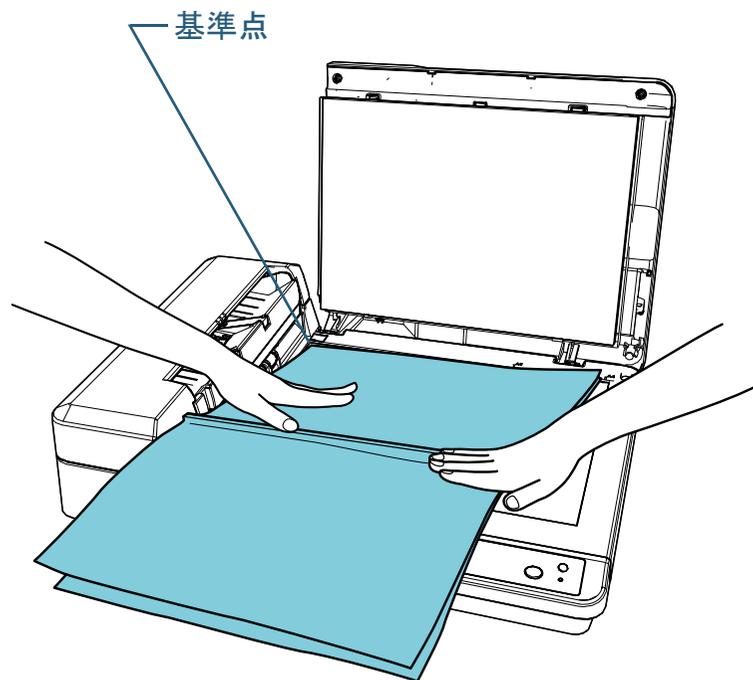
付録

用語集

本を読み取りたいとき

1 ドキュメントカバーを開けます。
詳細は、「1.5 ドキュメントカバーの開閉」(P.21)を参照してください。

2 原稿台に原稿をセットします。
原稿の表面(読み取り面)が原稿台側になるように、原稿の左上の角を基準点に合わせます。



3 スキャナドライバで、フラットベッド用の読み取り設定にします。
詳細は、スキャナドライバのヘルプを参照してください。

4 画像読み取り用アプリケーションから原稿を読み取ります。
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアルを参照してください。



注意

読み取り動作中、光源を直接見ないでください。

重要

読み取り動作中は原稿を動かさないでください。

5 ドキュメントカバーを閉じます。
詳細は、「1.5 ドキュメントカバーの開閉」(P.21)を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

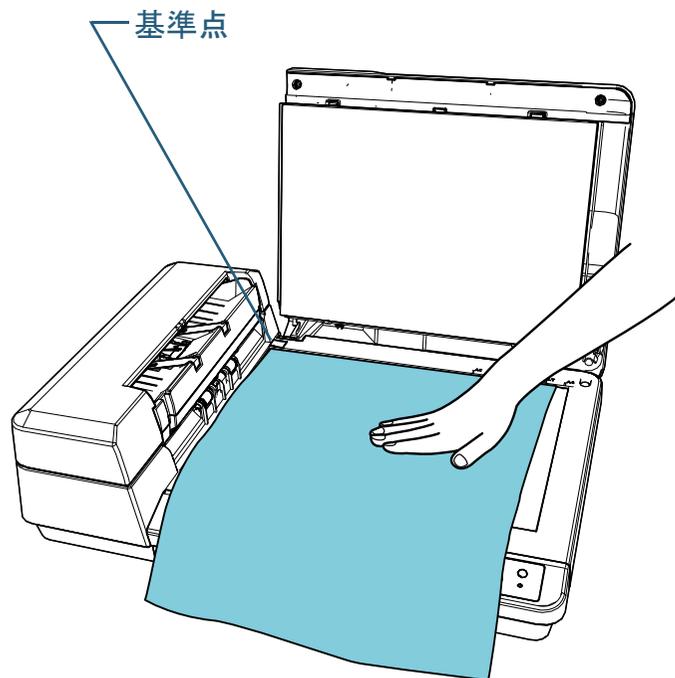
付録

用語集

フラットベッドで大きな原稿を読み取りたいとき

1 ドキュメントカバーを開けます。
詳細は、「1.5 ドキュメントカバーの開閉」(P.21)を参照してください。

2 原稿台に原稿をセットします。
原稿の表面(読み取り面)が原稿台側になるように、原稿の左上の角を基準点に合わせます。



3 スキャナドライバで、フラットベッド用の読み取り設定にします。
詳細は、スキャナドライバのヘルプを参照してください。

4 画像読み取り用アプリケーションから原稿を読み取ります。
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアルを参照してください。



注意

読み取り動作中、光源を直接見ないでください。

重要

読み取り動作中は原稿を動かさないでください。

5 ドキュメントカバーを閉じます。
詳細は、「1.5 ドキュメントカバーの開閉」(P.21)を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

4.3 読み取り方の変更

スキャナのボタンで読み取りを開始したいとき

スキャナの [Scan/Stop] ボタンを使用して、原稿を読み取りできます。

この場合は、起動するアプリケーションを [Scan/Stop] ボタンに設定する必要があります。

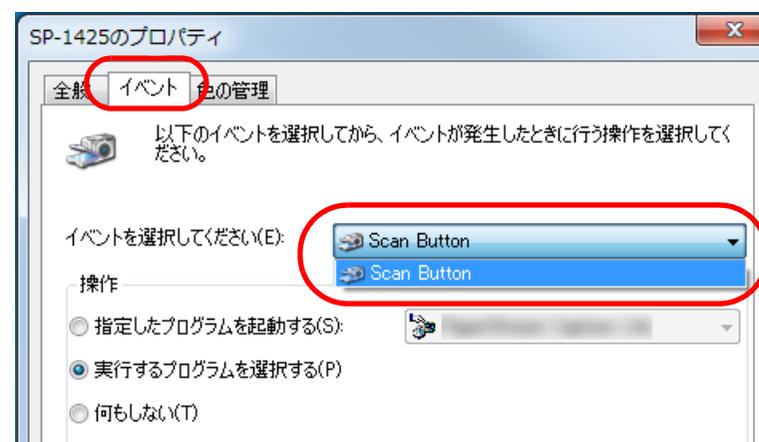
ヒント

PaperStream ClickScanが常駐している場合、[Scan/Stop] ボタンを押すと、PaperStream ClickScanが起動します。

コンピュータ側の設定

- 1 スキャナとコンピュータが接続されていることを確認し、スキャナの電源を投入します。
スキャナとコンピュータの接続方法については、Quick Installation Sheet を参照してください。
スキャナの電源の投入方法については、「[1.3 電源の投入 / 切断](#)」(P.19) を参照してください。
- 2 「コントロールパネル」画面を表示します。
 - Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
「スタート」メニュー → 「Windows システム ツール」 → 「コントロールパネル」をクリックします。
 - Windows 11
「スタート」メニュー → 「すべてのアプリ」 → 「Windows ツール」をクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。
- 3 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
⇒ 「デバイスとプリンター」画面が表示されます。

- 4 スキャナのアイコンを右クリックして表示されるメニューから「スキャン プロパティ」をクリックします。
⇒ スキャナのプロパティの画面が表示されます。
- 5 「イベント」タブをクリックし、イベントを選択します。「イベントを選択してください」のメニューから、アプリケーションを起動するイベントを選択します。

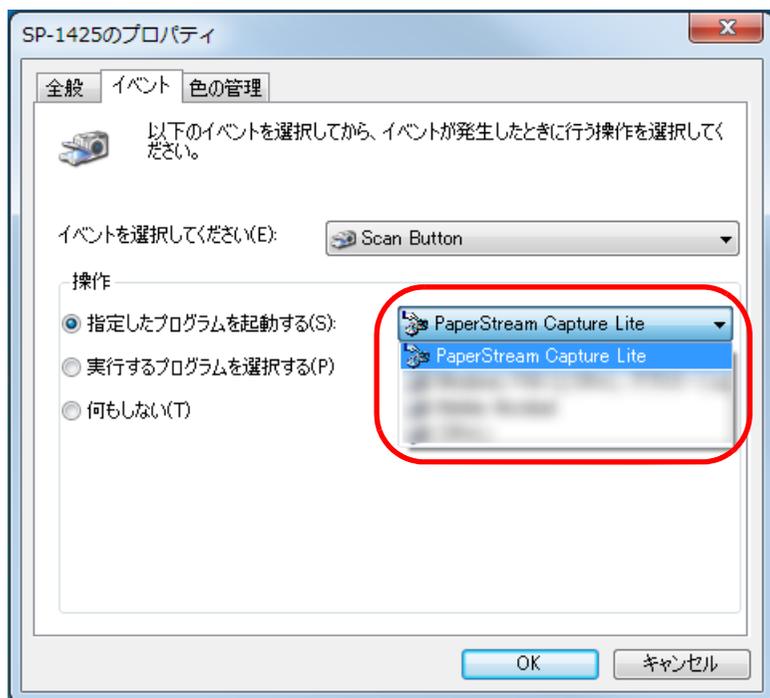


本機能では、次のイベントを選択できます。

- Scan Button
[Scan/Stop] ボタンを押したとき

6 イベントで起動するアプリケーションと実行する処理を選択します。

「操作」の下の「指定したプログラムを起動する」をクリックして、右のメニューからアプリケーションをクリックします。

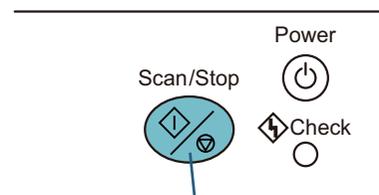


7 [OK] ボタンをクリックします。

コンピュータ側の設定はこれで終了です。続けて、スキャナ側の設定を行ってください。

起動するアプリケーションによっては、アプリケーション側でも設定が必要です。詳細は、起動するアプリケーションのマニュアルまたはヘルプを参照してください。

スキャナ側の設定



[Scan/Stop] ボタン

特に設定することはありません。

⇒ [Scan/Stop] ボタンを押すと、設定したアプリケーションが起動されます。

ヒント

操作パネルの詳細は、「第3章 操作パネルの操作方法」(P.40)を参照してください。

第5章 日常のお手入れ

この章では、スキャナの清掃方法について説明します。



注意



エアスプレーおよびアルコールを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、紙粉やほこりがスキャナ内部に侵入し、故障や装置異常の原因となることがあります。
また、静電気によるスパーク（火花）により引火するおそれがあります。



注意

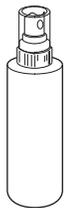


スキャナ使用時は、ADF 内部が高温になります。
内部を清掃する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて15分以上待つて温度が下がってから清掃してください。

5.1 清掃用品および清掃が必要な場所.....	51
5.2 スキャナ外部の清掃.....	53
5.3 スキャナ内部の清掃.....	54

5.1 清掃用品および清掃が必要な場所

清掃用品

品名	型名	備考
クリーナ F1 	FI-C100CF1	1本 (100ml) 布またはクリーニングペーパーにしみこませて使用します。 クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量を布またはクリーニングペーパーにしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。
クリーニングペーパー 	FI-C100CP	1パック (10枚入り) クリーナ F1 と共に使用します。
クリーニングワイプ 	FI-C100CW	1箱 (24袋入り) クリーナ F1 をしみこませたウェットティッシュタイプのクリーナーです。クリーナ F1 を布にしみこませる代わりに、本品を使用できます。
綿棒	市販のもの	
乾いた布		
ScanAid (*1)	FI-142SA	-

重要

清掃用品を正しく安全に使用していただくために、清掃用品に記載されている注意事項をよくお読みください。

清掃用品の詳細は、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU PFU ダイレクト」(P.120) にお問い合わせください。

*1 : ScanAid の詳細は、「付 .4 スキャナのオプション」(P.113) を参照してください。

清掃箇所と清掃頻度

清掃箇所		清掃頻度
ADF	パッドユニット	3,000 枚の読み取りごとに清掃してください。
	ピックアップユニット	
	ガラス	
	超音波センサー	
	フィードローラー	
	排出ローラー	
	プラスチックローラー	
	ゴムローラー	
フラットベッド	原稿押さえパッド	
	原稿台	

重要

原稿の状態によっては、清掃周期が短くなる場合があります。また、次のような原稿を読み取る場合は、頻繁に清掃する必要があります。

- コート紙のように表面が滑らかな原稿
- ほぼ全面に印刷してある原稿
- カルシウムを多く含む原稿
- 鉛筆書きの原稿
- トナーが十分定着していない原稿

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

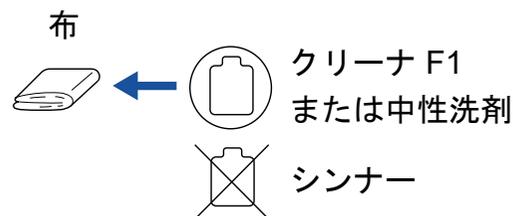
用語集

5.2 スキャナ外部の清掃

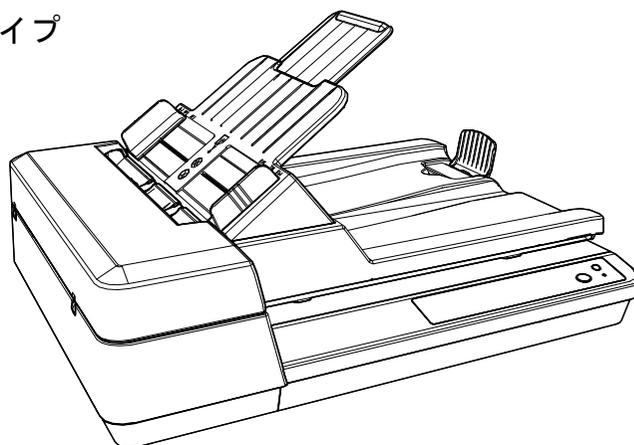
スキャナ外部（ADF 給紙シュート（フィーダー）、スタッ
カーなど）は、乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性
洗剤をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

重要

- シンナーなどの有機溶剤は、決して使用しないでください。変形、
変色するおそれがあります。
- 清掃中に、内部に水分が入らないように注意してください。
- クリーナ F1 または中性洗剤を大量に使用するとなかなか乾かない
場合があります。少量を布にしみこませて使用してください。ま
た、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってくだ
さい。



クリーニングワイプ



はじめに

スキャナをお使
いになる前に

原稿のセット
方法

操作パネルの
操作方法

いろいろな読
み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動
作設定

付録

用語集

5.3 スキャナ内部の清掃

ADF の清掃（クリーニングペーパーによる場合）

ADF は、クリーナ F1 を吹き付けたクリーニングペーパーで清掃します。

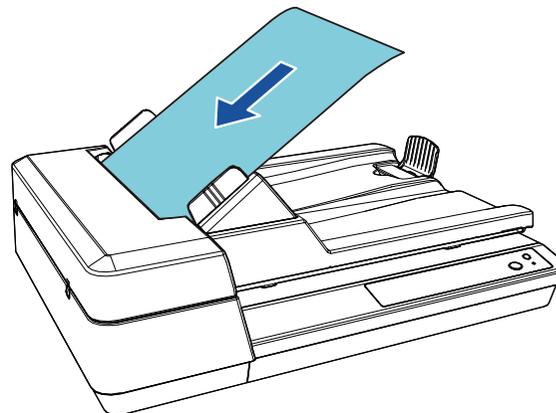
原稿の読み取りを繰り返していると、ADF 内部に、紙粉やほこりがたまり、読み取り不良の原因となることがあります。ADF の清掃は、目安として、原稿を 3,000 枚読み取るごとに行ってください。ただし、この目安は読み取る原稿によって変わります。例えば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。

重要

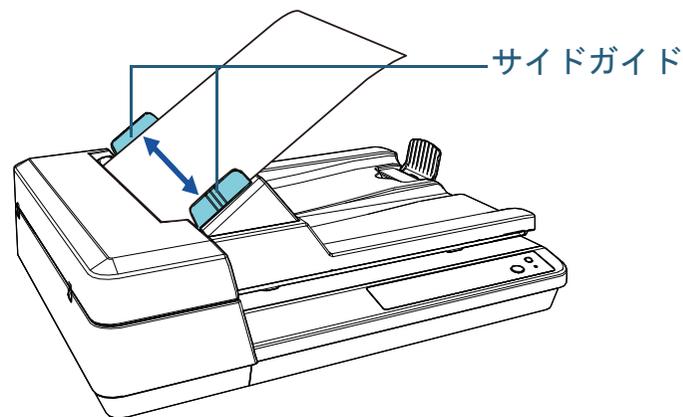
- ADF を清掃するときは、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量をクリーニングペーパーにしみこませて使用してください。

- 1 スキャナの電源を投入します。
詳細は、「1.3 電源の投入 / 切断」(P.19) を参照してください。
- 2 クリーナ F1 をクリーニングペーパーに吹き付けます。
- 3 ADF 給紙シュート（フィーダー）を設定します。
詳細は、「1.6 ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定」(P.22) を参照してください。
- 4 ストッパーを起こします。
詳細は、「1.7 スタッカーの設定」(P.23) を参照してください。

- 5 ADF 給紙シュート（フィーダー）にクリーニングペーパーをセットします。



- 6 クリーニングペーパーの幅に合わせて、サイドガイドを移動します。
サイドガイドを動かして、サイドガイドとクリーニングペーパーの間に隙間ができないようにします。
サイドガイドとクリーニングペーパーの間に隙間があると、クリーニングペーパーが斜めに読み込まれることがあります。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

- 7** スキャナを使用できるアプリケーションを起動して、クリーニングペーパーを読み取ります。
 ⇨ クリーニングペーパーが搬送され、スタッカーに排出されます。

ADF の清掃（布による場合）

ADF は、少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。
 原稿の読み取りを繰り返していると、ADF 内部に、紙粉やほこりがたまり、読み取り不良の原因となります場合があります。
 ADF の清掃は、目安として、原稿を 3,000 枚読み取るごとに行ってください。ただし、この目安は読み取る原稿によって変わります。例えば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。



注意

スキャナ使用時は、ADF 内部が高温になります。内部を清掃する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って温度が下がってから清掃してください。

重要

- ADF を清掃するときは、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。

- 1** スキャナの電源を切断し、15 分以上待ちます。
 詳細は、「1.3 電源の投入 / 切断」(P.19) を参照してください。
- 2** 電源ケーブルをコンセントから抜きます。
- 3** ADF を開けます。
 詳細は、「1.4 ADF の開閉」(P.20) を参照してください。



注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

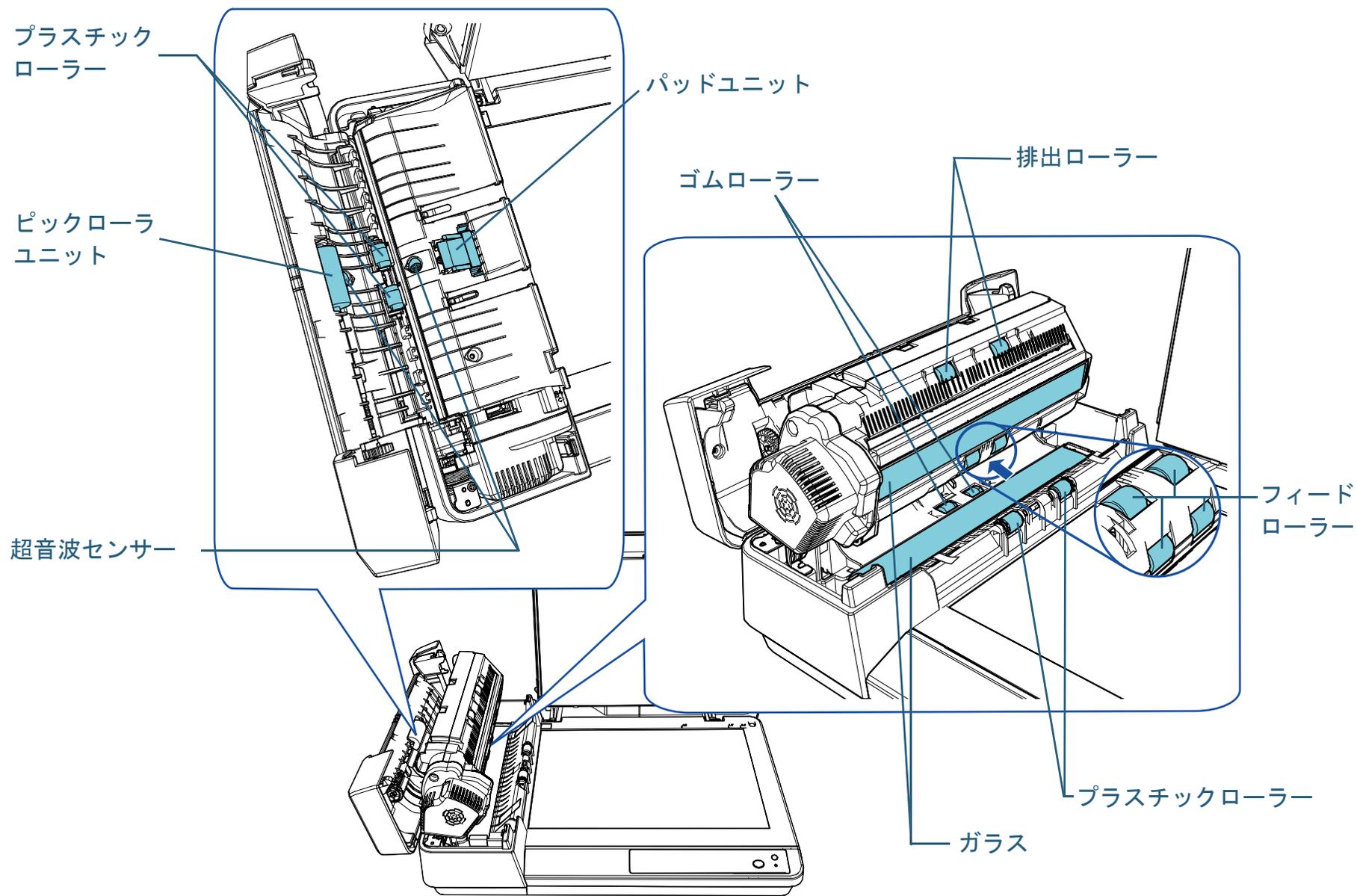
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

4 少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで、次の場所を清掃します。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

パッドユニット (1か所)

ゴム製のパッド表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。



注意

ピックバネ (金属部) に指を引っ掛けてけがをしないように注意してください。

超音波センサー (2か所)

超音波センサーの表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。ふき取りにくい場合は、綿棒を使用して清掃してください。

ガラス (2か所)

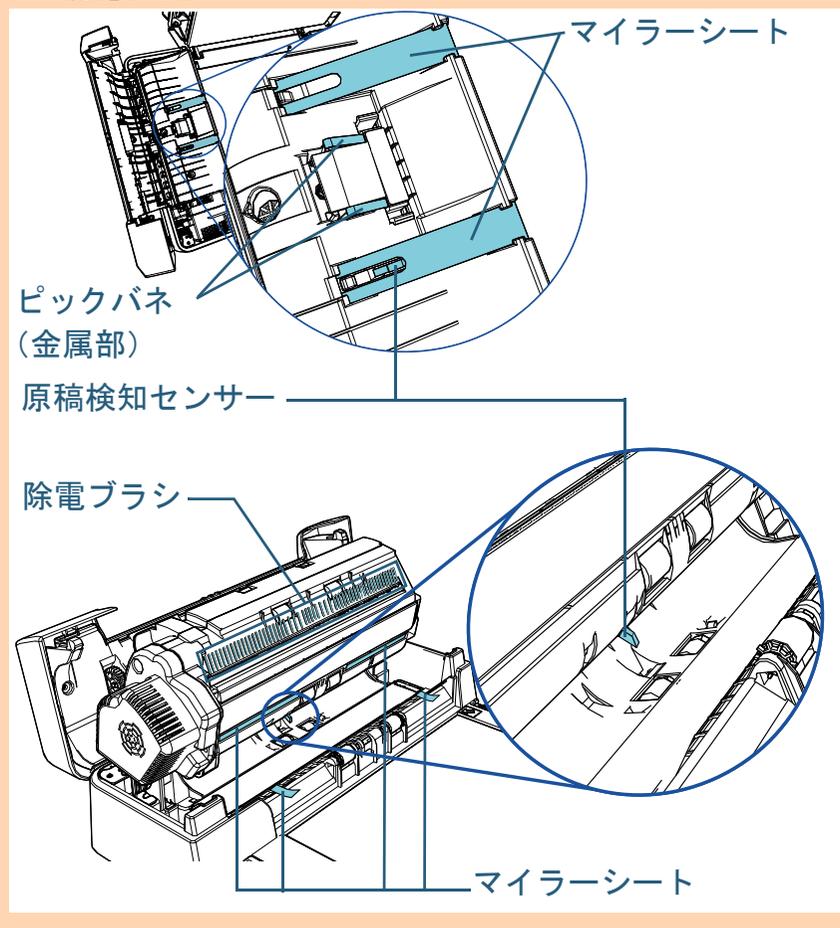
ガラス表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。

ピックローラユニット (1か所) / プラスチックローラー (4か所) / フィードローラー (4か所) / 排出ローラー (2か所) / ゴムローラー (2か所)

手で回転させながら、ローラーの表面をいためないように、よごれやほこりを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合は、十分にふき取ってください。

重要

- ガラスがよごれていると、読み取った画像に縦線が出る場合があります。
- 清掃するときは、手、布またはクリーニングワイプを次の部品に引っ掛けて破損しないように注意してください。
 - ピックバネ (金属部)
 - マイラーシート
 - 原稿検知センサー
 - 除電ブラシ



はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

- 5 ADF を閉じます。
詳細は、「1.4 ADF の開閉」(P.20) を参照してください。



注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

重要

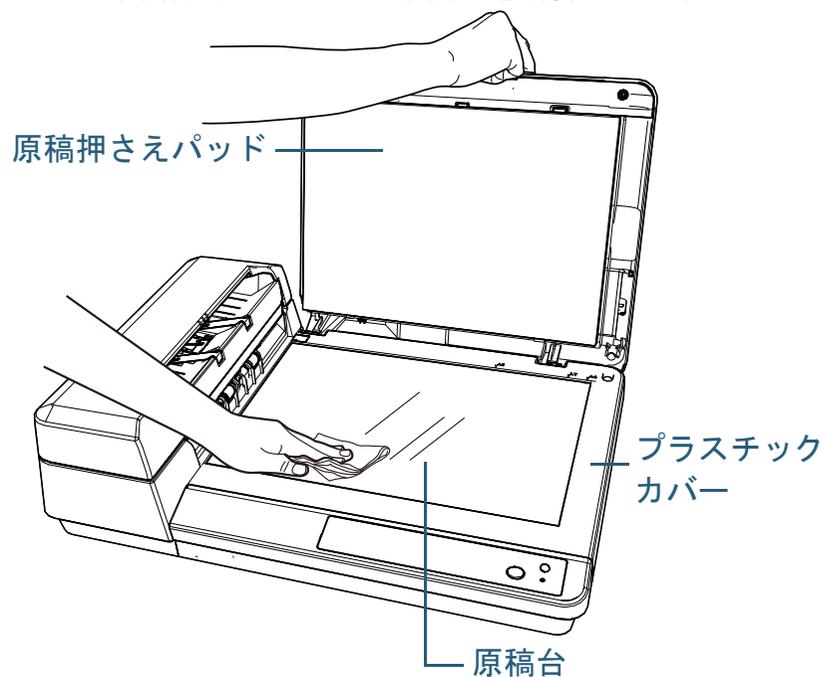
ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が給紙されない場合があります。

- 6 電源ケーブルをコンセントに接続し、スキャナの電源を投入します。
詳細は、「1.3 電源の投入 / 切断」(P.19) を参照してください。

フラットベッドの清掃

フラットベッドは、少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

- 1 ドキュメントカバーを開けます。
詳細は、「1.5 ドキュメントカバーの開閉」(P.21) を参照してください。
- 2 少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで、原稿押さえパッドと原稿台を清掃します。



重要

原稿台とプラスチックカバーの隙間にクリーナー液がしみこまないように注意してください。

- 3 乾くまで待ちます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

- 4** ドキュメントカバーを閉じます。
詳細は、「1.5 ドキュメントカバーの開閉」(P.21)を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

第 6 章 消耗品の交換

この章では、スキャナの消耗品の交換について説明します。



注意

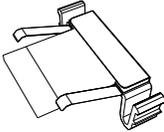
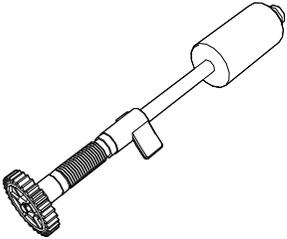


スキャナ使用時は、ADF 内部が高温になります。消耗品を交換する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って温度が下がってから交換してください。

6.1 消耗品と交換周期.....	61
6.2 パッドユニットの交換.....	62
6.3 ピックローラユニットの交換.....	64

6.1 消耗品と交換周期

スキャナに使用される消耗品を次の表に示します。

品名	型名	交換周期 (目安)
パッドユニット 	FI-C142P	30,000 枚または1年ごとに交換
ピックローラユニット 	FI-C142PR	200,000 枚または1年ごとに交換
ScanAid (*1)	FI-142SA	-

*1 : ScanAid の詳細は、「付.4 スキャナのオプション」(P.113) を参照してください。

消耗品は定期的に交換が必要です。寿命前に消耗品を準備されることを推奨します。また、スキャナでは、各消耗品取り付け後の読み取り原稿枚数（パッドユニットおよびピックアップローラユニット）をそれぞれ記録していますので、使用状況を確認できます。

確認したい場合は、「[8.4 枚数カウンタに関する設定](#)」(P.102) を参照してください。

交換周期は、A4 原稿 80g/m² (69kg/ 連) の上質紙または中質紙を使用した場合の目安であり、使用する原稿、お客様の使用頻度、および清掃の頻度によって異なります。

ヒント

当社指定の消耗品以外は使用しないでください。

消耗品のご購入については、「[株式会社 PFU PFU ダイレクト](#)」(P.120) にお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

6.2 パッドユニットの交換

パッドユニットを交換する手順を次に示します。

- 1 スキャナの電源を切断し、15分以上待ちます。
詳細は、「1.3 電源の投入 / 切断」(P.19)を参照してください。
- 2 電源ケーブルをコンセントから抜きます。
- 3 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。
- 4 ADF カバーを開けます。
詳細は、「1.4 ADF の開閉」(P.20)を参照してください。

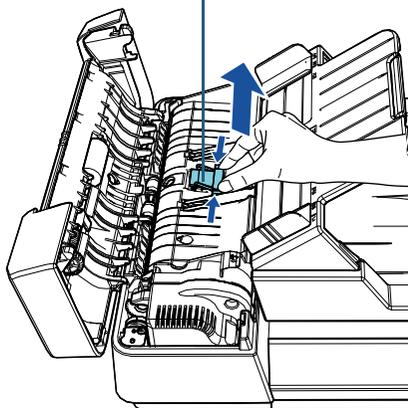


注意

ADF カバーが閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

- 5 パッドユニットを取り外します。
パッドユニットの両端をつまんで、矢印の方向に取り外します。

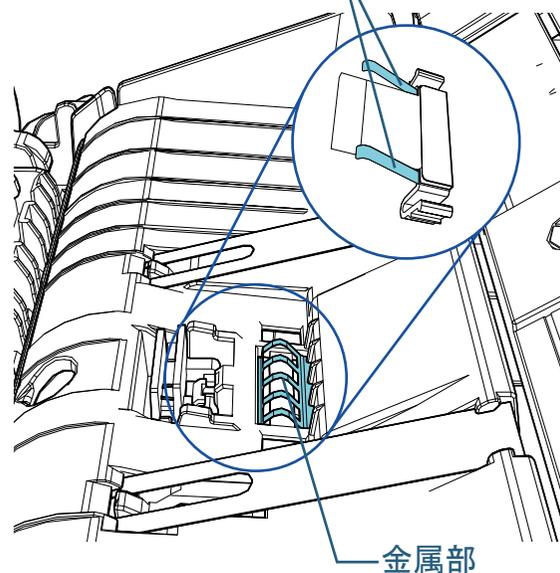
パッドユニット



注意

パッドユニットを取り外した部分の金属部やピックバネ（金属部）に指を引っ掛けてけがをしないように注意してください。

ピックバネ（金属部）



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

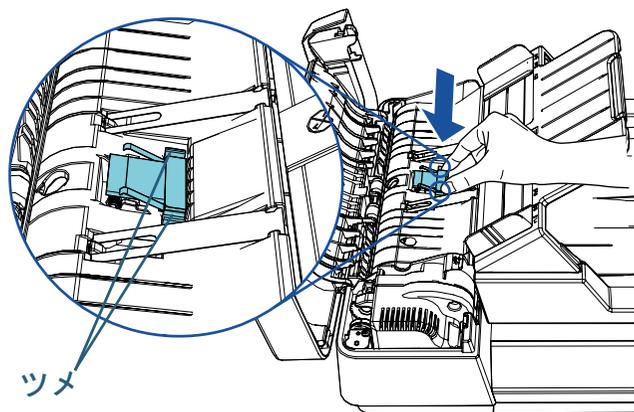
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

- 6 新しいパッドユニットを取り付けます。
パッドユニットを元の位置にはめ、左右のツメを穴に押し込みます。



注意

パッドユニットを取り外した部分の金属部やピックバネ（金属部）に指を引っ掛けてけがをしないように注意してください。

重要

パッドユニットがしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

- 7 ADF カバーを閉じます。
詳細は、「1.4 ADF の開閉」(P.20) を参照してください。



注意

ADF カバーを閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

- 8 電源ケーブルをコンセントに接続し、スキャナの電源を投入します。
詳細は、「1.3 電源の投入 / 切断」(P.19) を参照してください。

- 9 Software Operation Panel で、枚数カウンタをリセットします。
詳細は、「枚数カウンタのリセット」(P.103) を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

6.3 ピックローラユニットの交換

ピックアップユニットを交換する手順を次に示します。

- 1 スキャナの電源を切断し、15分以上待ちます。
詳細は、「1.3 電源の投入 / 切断」(P.19)を参照してください。
- 2 電源ケーブルをコンセントから抜きます。
- 3 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。
- 4 ADF カバーを開けます。
詳細は、「1.4 ADF の開閉」(P.20)を参照してください。

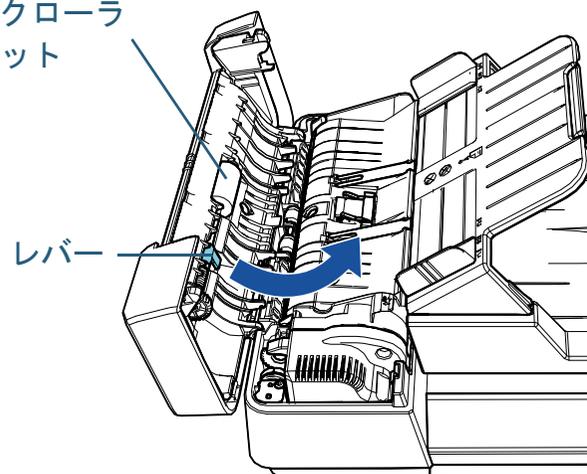


注意

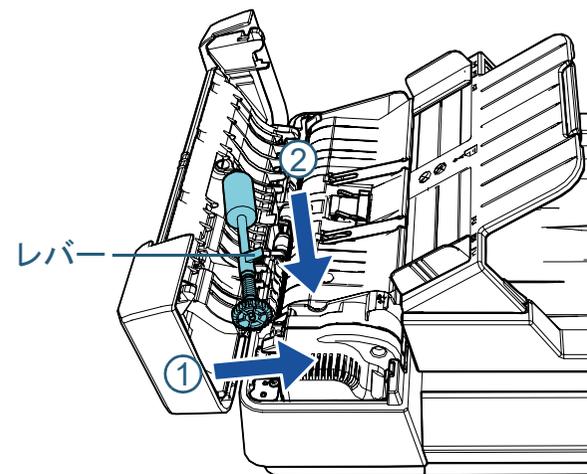
ADF カバーが閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

- 5 ピックローラユニットを取り外します。
 - 1 レバーを、矢印の方向に「カチン」という音がするまで回転させます。

ピックアップ
ユニット



- 2 レバーを持って右方向に外し、手前に抜き取ります。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

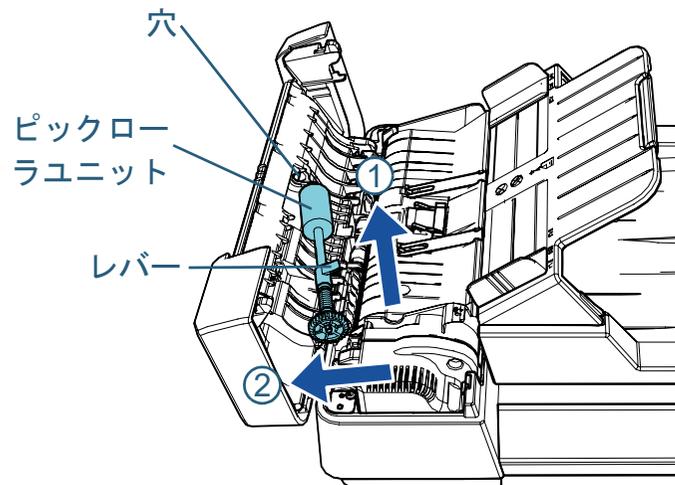
困ったときには

スキャナの動作設定

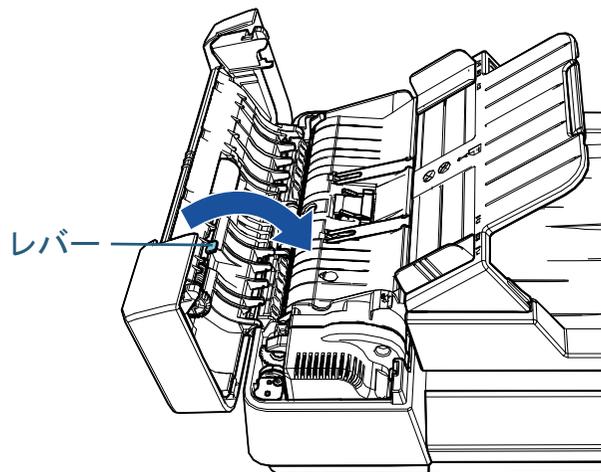
付録

用語集

- 6** 新しいピックアップユニットを取り付けます。
1 レバーを持って軸の先端を穴に差し込み、左方向にはめ込みます。



- 2 レバーを、矢印の方向に「カチン」という音がするまで回転させます。



重要

ピックアップユニットがしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

- 7** ADF カバーを閉じます。
詳細は、「1.4 ADF の開閉」(P.20) を参照してください。



注意

ADF カバーを閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

- 8** 電源ケーブルをコンセントに接続し、スキャナの電源を投入します。
詳細は、「1.3 電源の投入 / 切断」(P.19) を参照してください。
- 9** Software Operation Panel で、枚数カウンタをリセットします。
詳細は、「枚数カウンタのリセット」(P.103) を参照してください。

第7章 困ったときには

この章では、原稿づまりの対処方法、トラブルの対処方法、サービスセンターに連絡する前にお調べいただきたい項目、および装置ラベルの確認方法について説明します。

重要

記載されている内容以外のトラブルおよびエラーの詳細は、スキャナドライバのヘルプまたは Error Recovery Guide を参照してください。

7.1 原稿づまりが発生したときは.....	67
7.2 操作パネルのエラー表示.....	68
7.3 トラブルと対処方法.....	71
7.4 サービスセンターに連絡する前に.....	86
7.5 装置ラベルの確認.....	88

7.1 原稿づまりが発生したときは

原稿が詰まった場合は、次の手順で原稿を取り除いてください。



注意

- つまった原稿は無理に引き抜かず、ADF を開けてから取り除いてください。
- つまった原稿を取り除くときは、鋭利な部分に触れないように注意してください。けがをすおそれがあります。
- つまった原稿を取り除くときは、ネクタイ、ネックレス、髪などのスキャナ内部に巻き込まれる可能性のあるものに注意してください。
- ADF の内部が高温になっている場合があります。やけどに注意してください。

1 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。

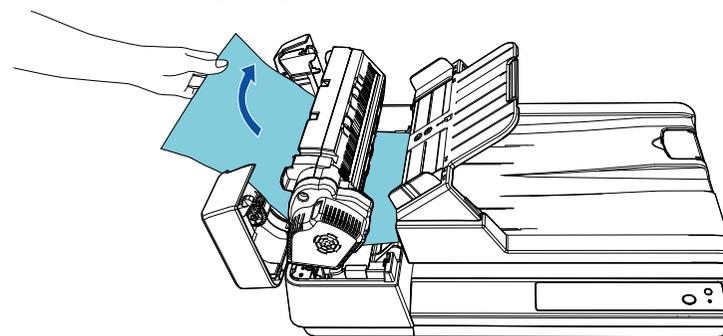
2 ADF を開けます。
詳細は、「1.4 ADF の開閉」（P.20）を参照してください。



注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

3 つまっている原稿を取り除きます。



重要

- ステープルやクリップなどの金属物は原稿づまりの原因となりますので、原稿と搬送路をよく調べて必ず取り除いてください。
- ステープルやクリップなどの金属物が付いた原稿を取り除くときに、ガラスやガイドを傷つけるおそれがありますので注意してください。

4 ADF を閉じます。
詳細は、「1.4 ADF の開閉」（P.20）を参照してください。



注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

重要

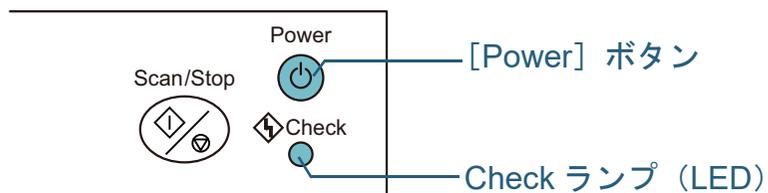
- ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が給紙されない場合があります。
- 読み取り終了時または読み取りをキャンセルしたとき、エラーメッセージが表示されずに原稿が ADF の内部に残る場合があります。その場合は、上記の手順 1 ～ 4 に従って取り除いてください。

7.2 操作パネルのエラー表示

スキャナの使用中にエラーが発生すると、操作パネルの Check ランプ (LED) と [Power] ボタンが次のようになります。

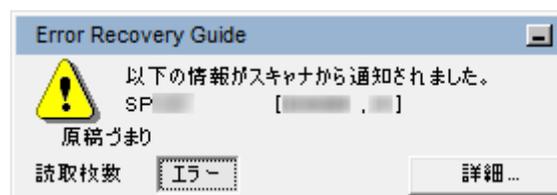
- 一時的エラーの場合
Check ランプ (LED) が点灯します。
[Power] ボタンは点灯したままです。
- 装置異常の場合
Check ランプ (LED) が点滅します。
[Power] ボタンは点灯したまま、または点滅します。

一時的エラーは、お客様による復旧が可能です。装置異常は、サービスエンジニアによる復旧作業が必要となります。



コンピュータに Error Recovery Guide がインストールされている場合、Windows の起動と同時に Error Recovery Guide の画面が表示されます。エラーが発生すると、エラーの名称やコード番号などの関連情報が、Error Recovery Guide の画面に表示されます。

画面に表示される情報を書き留めて、[詳細] ボタンをクリックし、対処方法を確認してください。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

一時的エラー

お客様による復旧が可能な一時的なエラーです。

エラーの一覧を次に示します。

一時的エラーになると、操作パネルの Check ランプ (LED) が点灯します。[Power] ボタンは点灯したままです。

項目	対処法
原稿づまりが発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1 つまった原稿を取り除いてください。 詳細は、「7.1 原稿づまりが発生したときは」(P.67)を参照してください。 2 読み取る原稿が ADF での読み取りに適しているかを確認してください。 詳細は、「2.3 読み取りできる原稿」(P.35)を参照してください。
マルチフィードが発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1 つまった原稿を取り除いてください。 詳細は、「7.1 原稿づまりが発生したときは」(P.67)を参照してください。 2 ADF を閉じて、原稿をセットし直してください。
読み取り中に ADF が開かれました。	ADF を閉じて、原稿をセットし直してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

装置異常

サービスエンジニアによる復旧作業が必要なエラーです。
エラーの一覧を次に示します。

Check ランプ (LED)	[Power] ボタン	項目	対処法
点滅 7 回	点灯	光量異常 (ADF 表面またはフラットベッド) が発生しました。	1 ガラスまたは原稿台を清掃してください。 詳細は、「第 5 章 日常のお手入れ」(P.50) を参照してください。 2 スキャナの電源を切断してから、再び電源を投入してください。 この方法を試しても解決されない場合は、Check ランプ (LED) と [Power] ボタンの状態をメモし、本製品を購入された販社 / 販売店にお問い合わせください。
点滅 3 回	点灯	光量異常 (ADF 裏面) が発生しました。	
点滅 4 回	点灯	フラットベッドの駆動系異常が発生しました。	スキャナの電源を切断してから、再び電源を投入してください。 この方法を試しても解決されない場合は、Check ランプ (LED) と [Power] ボタンの状態をメモし、本製品を購入された販社 / 販売店にお問い合わせください。
点滅 6 回	点灯	EEPROM 異常が発生しました。	
点滅 7 回	点滅 7 回	メモリ異常が発生しました。	
点滅 3 回	点滅 3 回	LSI 異常が発生しました。	
点滅 (連続)	点灯	そのほかの異常が発生しました。	

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

7.3 トラブルと対処方法

スキャナの使用中に発生するトラブルとその対処方法について説明します。修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。項目を点検しても直らない場合は、「7.4 サービスセンターに連絡する前に」(P.86)の各項目を確認して、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.119)にお問い合わせください。

発生するトラブル事例を次に示します。

症状一覧
「電源が投入されない」(P.72)
「読み取りが開始されない」(P.73)
「絵や写真が汚くなる」(P.74)
「文字や線の読み取り結果が良くない」(P.75)
「画像がゆがむまたは鮮明ではない」(P.76)
「読み取った画像に縦線が出る」(P.77)
「スキャナに電源が投入されたあとで、操作パネルの Check ランプ(LED) が点灯または点滅している」(P.78)
「マルチフィードが頻繁に起こる」(P.79)
「原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる」(P.81)
「原稿づまり / ピックミスが頻繁に起こる」(P.82)
「読み取った画像が間延びする」(P.83)
「読み取った画像の先端または後端に影がある」(P.84)

症状一覧
「原稿に黒い跡が残る」(P.85)

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

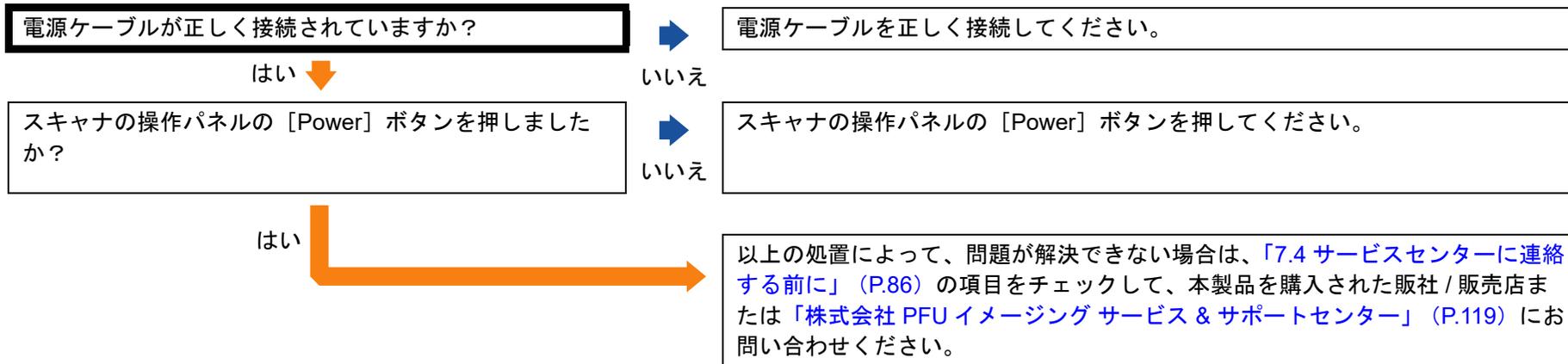
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

電源が投入されない



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

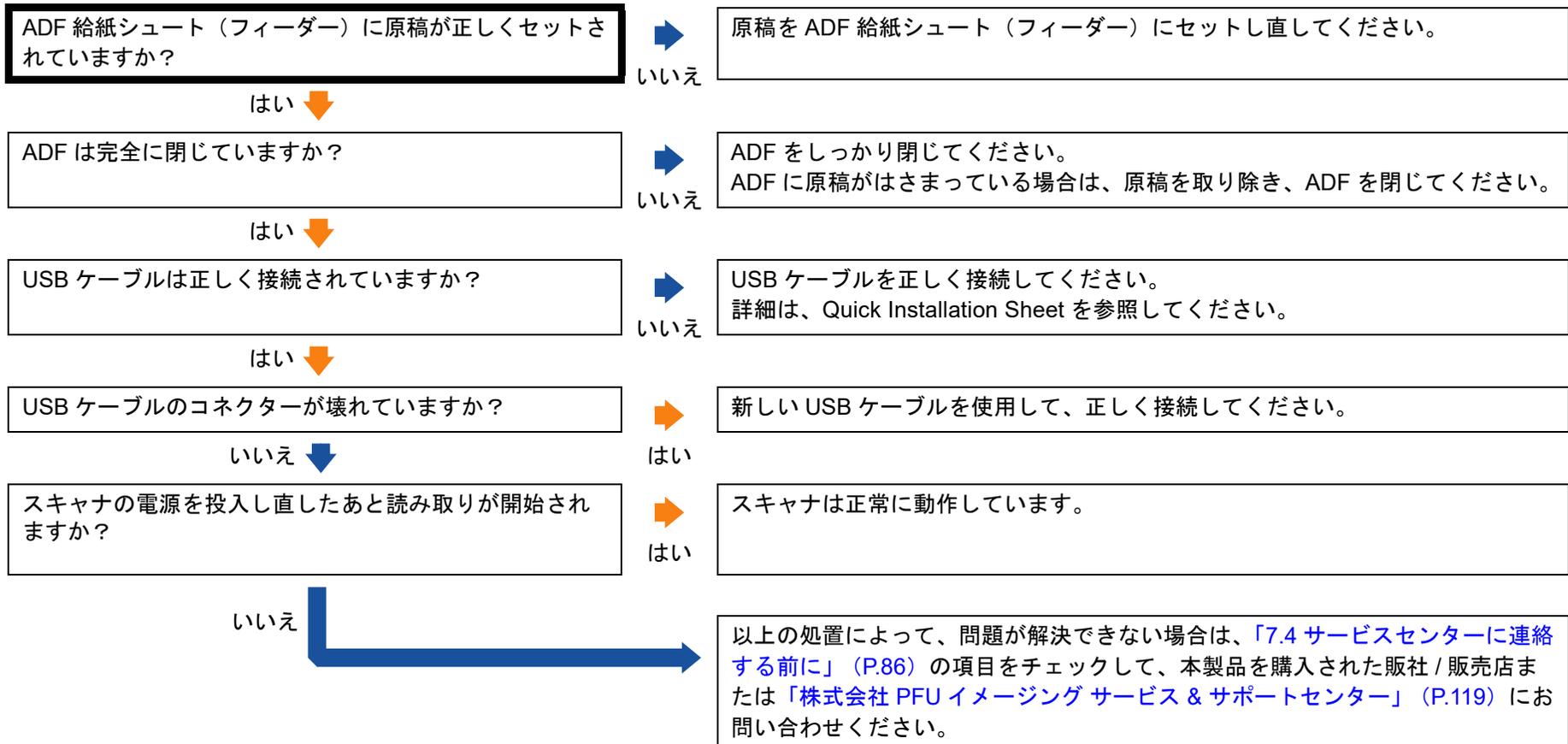
困ったときには

スキャナの動作設定

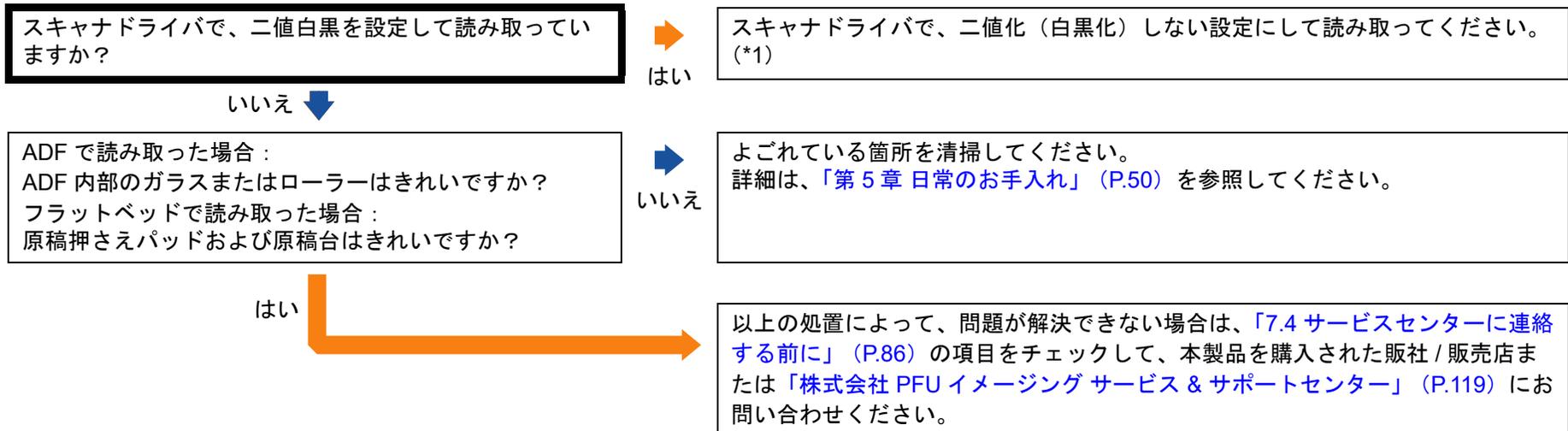
付録

用語集

読み取りが開始されない

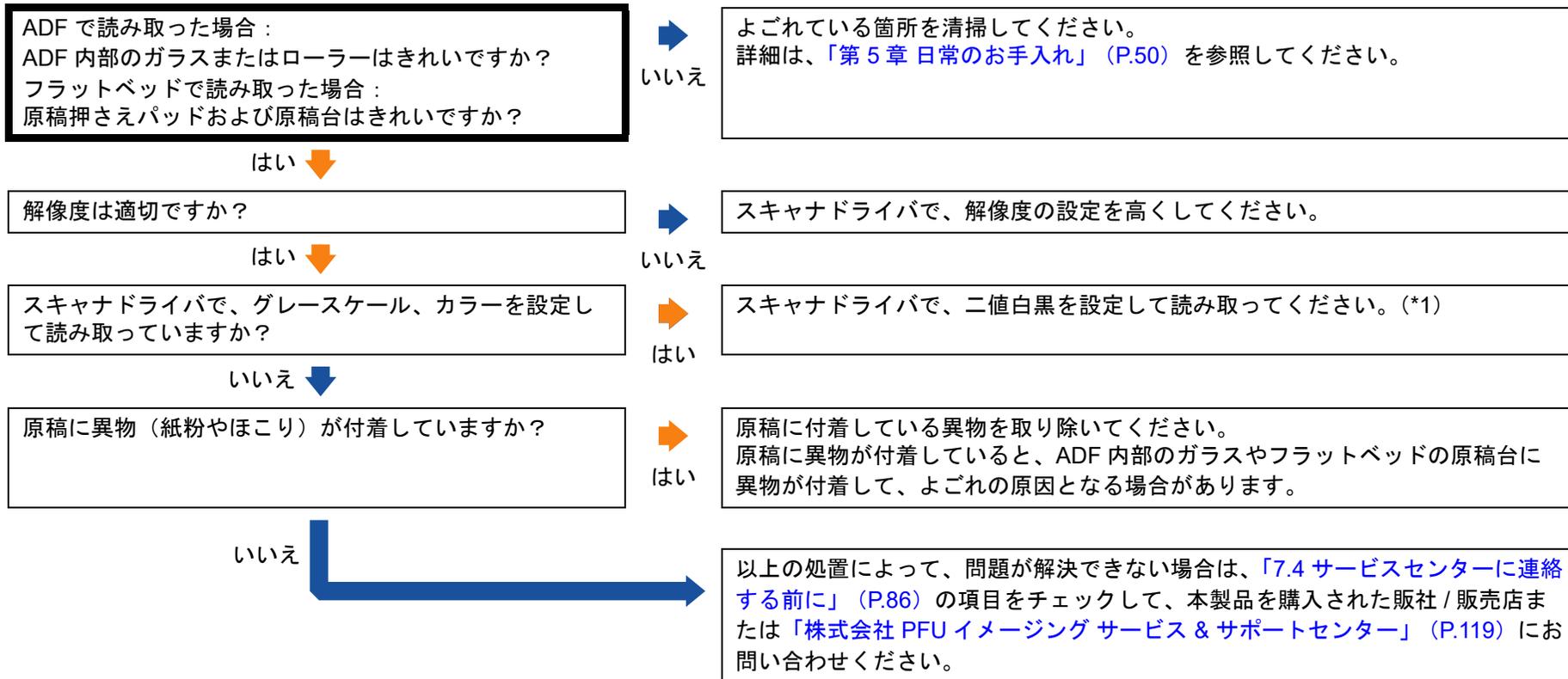


絵や写真が汚くなる



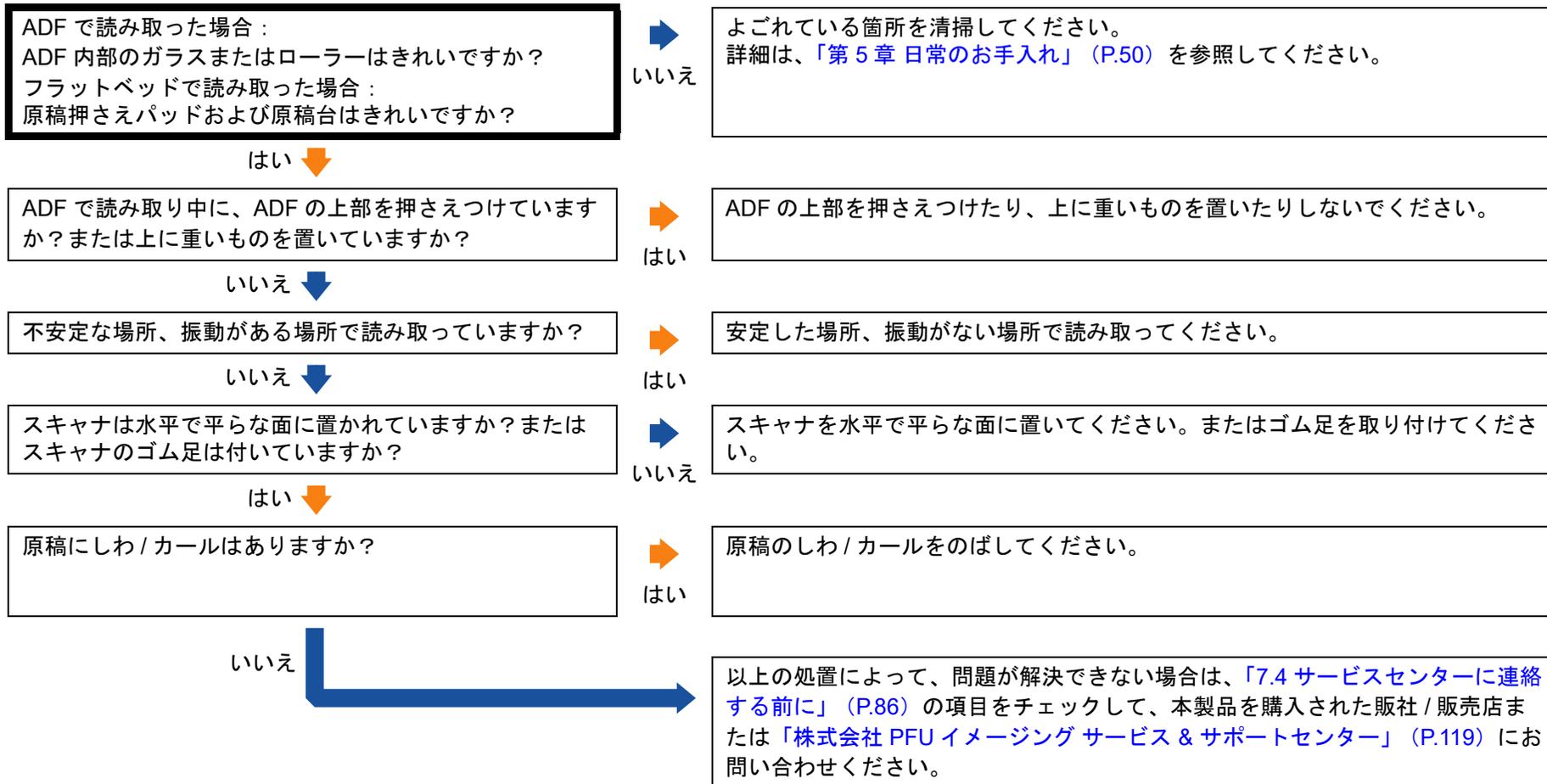
*1：絵や写真を二値白黒で読み取ると、画像がオリジナルと著しく異なることがあります。

文字や線の読み取り結果が良くない

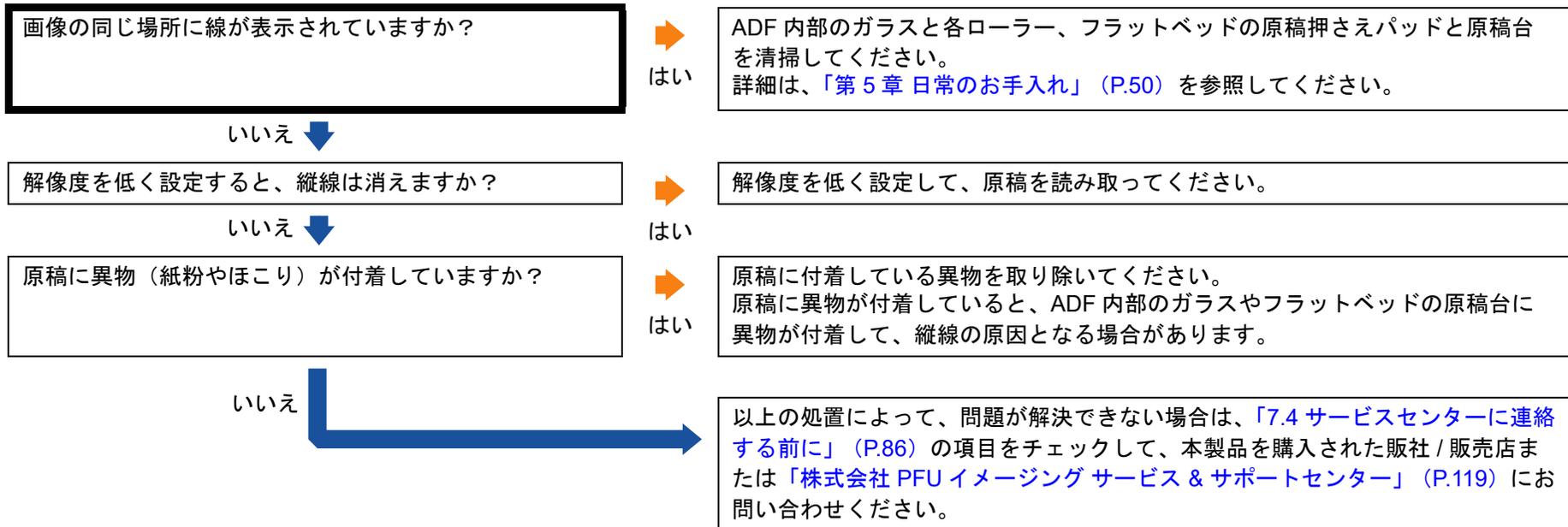


*1: グレースケール、カラーで読み取ると、文字や線画の読み取り結果が鮮明ではないことがあります。

画像がゆがむまたは鮮明ではない



読み取った画像に縦線が出る



スキャナに電源が投入されたあとで、操作パネルのCheckランプ（LED）が点灯または点滅している

スキャナの電源を投入し直したあとも、操作パネルのCheckランプ（LED）が点灯または点滅していますか？

いいえ

スキャナは正常に作動しています。

はい

「7.2 操作パネルのエラー表示」（P.68）のCheckランプ（LED）と[Power]ボタンの状態を確認して、処置をしてください。
以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「7.4 サービスセンターに連絡する前に」（P.86）の項目をチェックして、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」（P.119）にお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

マルチフィードが頻繁に起こる

原稿の状態は、「読み取りできる原稿の条件」(P.35)の「事前の注意」で説明している要件を満たしていますか？	いいえ	要件を満たしている原稿をお使いください。 詳細は、「2.3 読み取りできる原稿」(P.35)を参照してください。
はい ↓		
マルチフィード検出が有効になっているとき、マルチフィードを正しく検出するための条件を満たしていますか？	いいえ	マルチフィードを正しく検出するための条件を満たしてください。 詳細は、「マルチフィードを正しく検出するための条件」(P.38)を参照してください。
はい ↓		
厚い原稿を読み取りましたか？	はい	スキャナドライバで、マルチフィードを検出しない設定にして読み取ってください。
いいえ ↓		
原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？	いいえ	原稿をセットする前に原稿をさばいてください。
はい ↓		
原稿は、コピー機またはレーザープリンターで印刷したばかりですか？	はい	3、4回さばいて、原稿にたまっている静電気の電荷を取り除いてください。
いいえ ↓		
消耗品(*1)は正しく取り付けられていますか？	いいえ	消耗品(*1)を正しく取り付けてください。 詳細は、「第6章 消耗品の交換」(P.60)を参照してください。
はい ↓		
消耗品(*1)はきれいですか？	いいえ	消耗品(*1)を清掃してください。 詳細は、「第5章 日常のお手入れ」(P.50)を参照してください。
はい ↓		
消耗品(*1)が擦り減っていますか？	はい	消耗品のカウンターを確認してください。 必要に応じて消耗品を交換してください。 詳細は、「第6章 消耗品の交換」(P.60)を参照してください。
いいえ(続く) ↓		

いいえ (続き) ↓

標高 2,000m を超える高地でスキャナを使用していますか？

はい

スキャナドライバで、マルチフィードを検出しない設定にして読み取ってください。
標高 2,000m を超える高地で、厚さ 100g/m² 以上の原稿を読み取ると、マルチフィードと検出されることがあります。

いいえ

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「7.4 サービスセンターに連絡する前に」(P.86)の項目をチェックして、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.119)にお問い合わせください。

*1: 消耗品とは、パッドユニットおよびピックアップローラユニットです。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

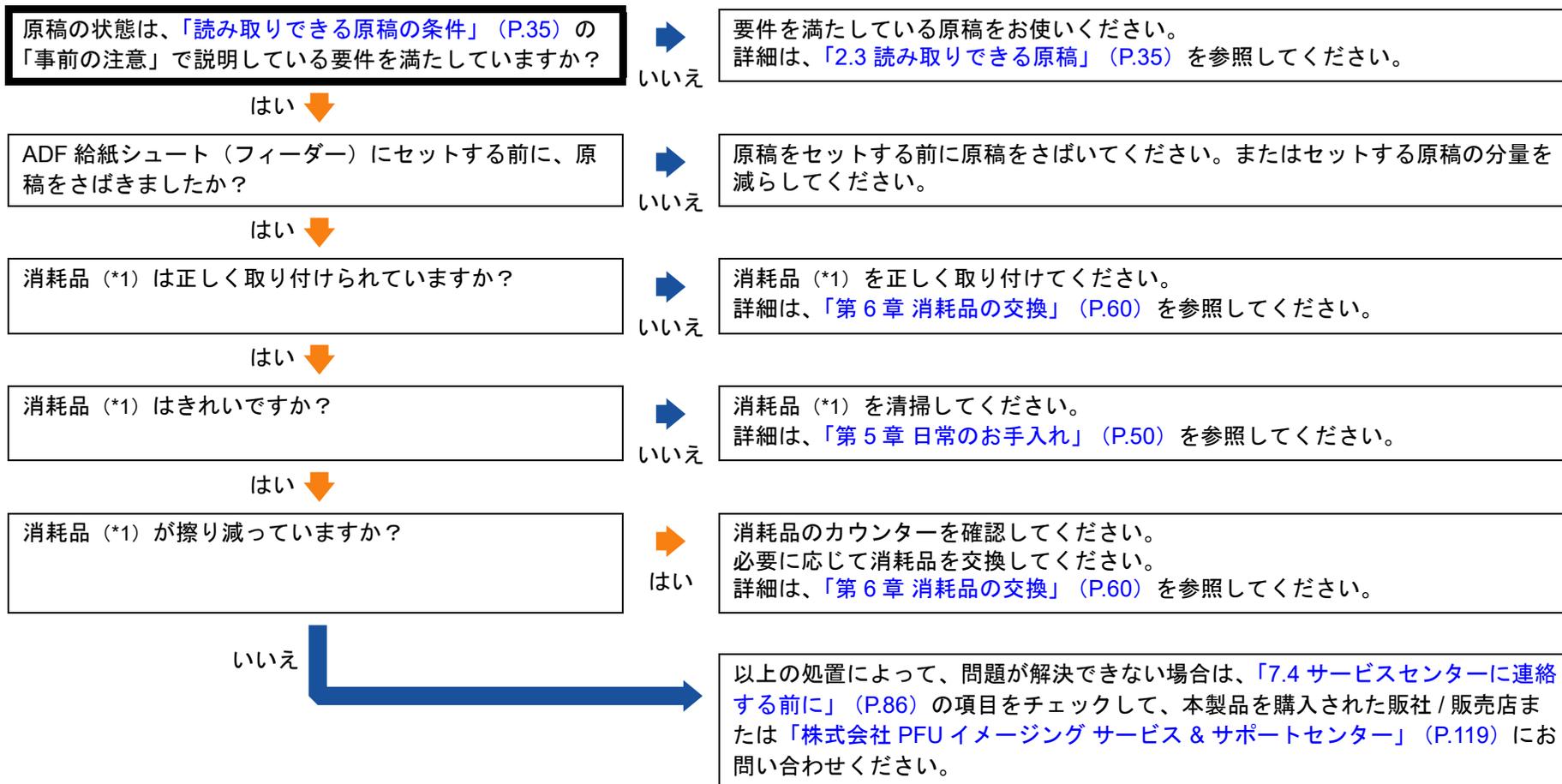
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

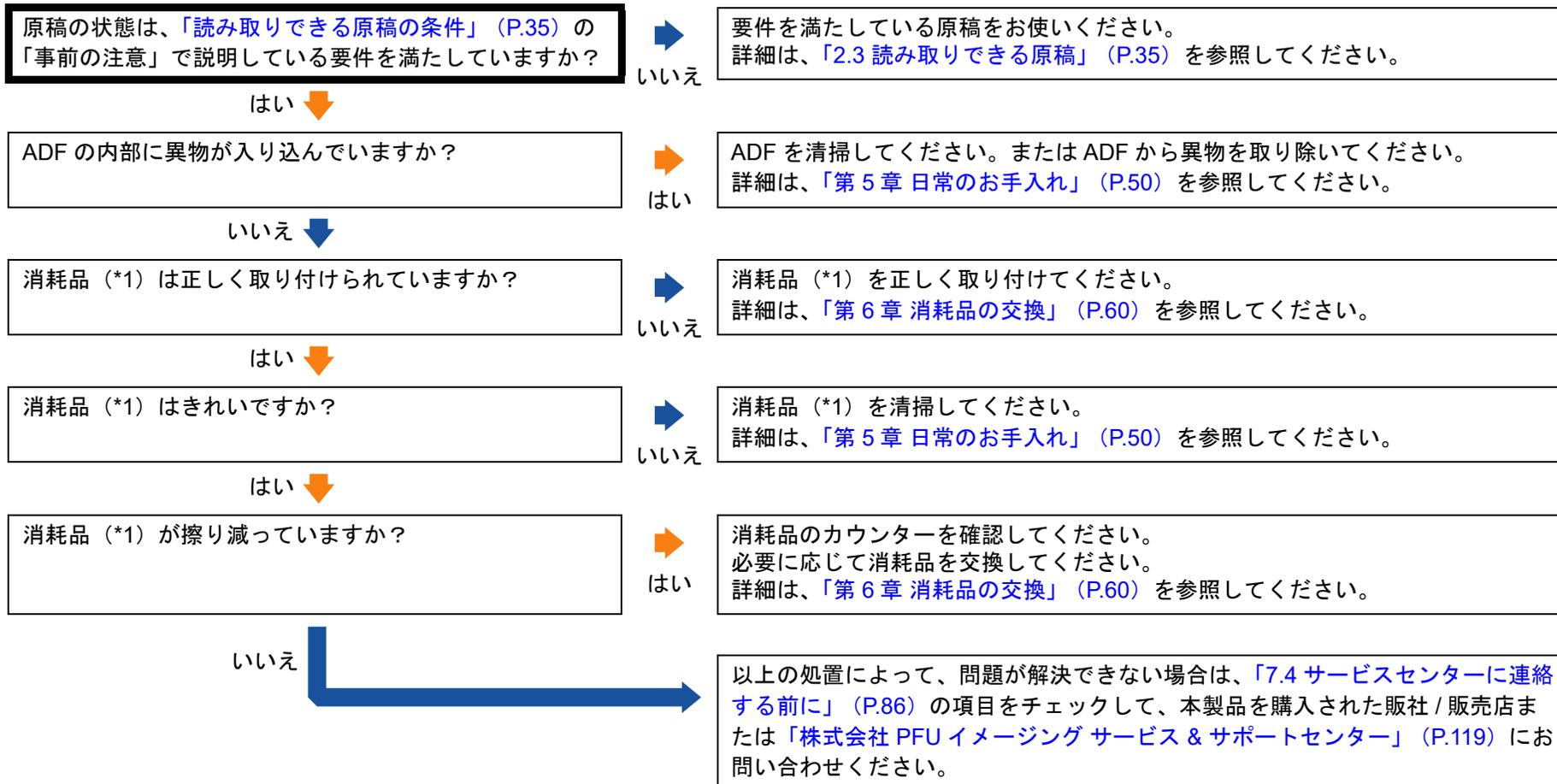
用語集

原稿が ADF に送られない状態が頻繁に起こる



*1: 消耗品とは、パッドユニットおよびピックアップローラユニットです。

原稿づまり / ピックミスが頻繁に起こる



*1: 消耗品とは、パッドユニットおよびピックアップローラユニットです。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

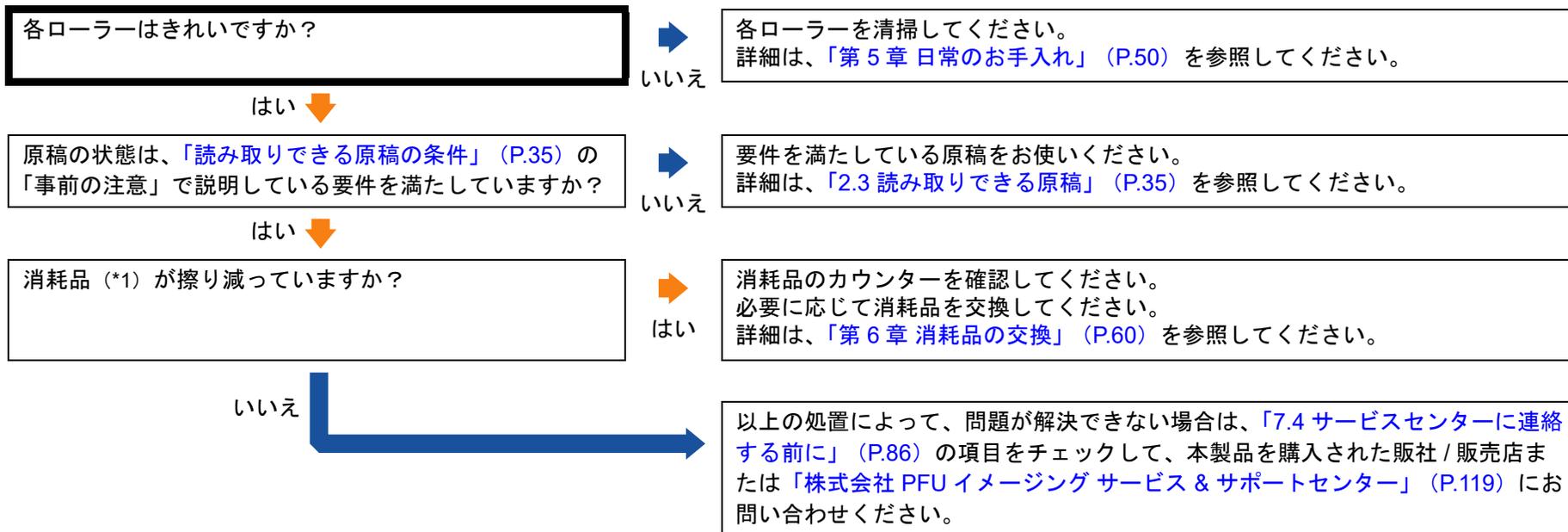
日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

読み取った画像が間延びする



*1：消耗品とは、パッドユニットおよびピックアップローラユニットです。

読み取った画像の先端または後端に影がある

縁消し機能を使用して原稿端にできる影を塗りつぶして
いますか？



スキャナドライバで、縁消し機能を使用して原稿端にできる影を塗りつぶしてく
ださい。

はい

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[7.4 サービスセンターに連絡
する前に](#)」(P.86)の項目をチェックして、本製品を購入された販社 / 販売店ま
たは「[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター](#)」(P.119)にお
問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使
いになる前に

原稿のセット
方法

操作パネルの
操作方法

いろいろな読
み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動
作設定

付録

用語集

原稿に黒い跡が残る

鉛筆書きの原稿またはカーボン紙を読み取っていますか？

はい

鉛筆書きの原稿を読み取る時は、原稿に黒い跡が転写される可能性があるため、こまめにローラーを清掃してください。ローラー類のよごれ、原稿送り不良の原因となります。
詳細は、「第5章 日常のお手入れ」(P.50)を参照してください。

いいえ

ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？

いいえ

よごれている箇所を清掃してください。
詳細は、「第5章 日常のお手入れ」(P.50)を参照してください。

はい

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「7.4 サービスセンターに連絡する前に」(P.86)の項目をチェックして、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.119)にお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

7.4 サービスセンターに連絡する前に

当社のサービスセンター（「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」（P.119））に連絡する前に、次の項目をお調べください。

概要

調べる項目	調査結果
スキャナ名	例：SP-1425 詳細は、「7.5 装置ラベルの確認」（P.88）を参照してください。
シリアル No.	例：XXXX000001 詳細は、「7.5 装置ラベルの確認」（P.88）を参照してください。
製造年月	例：2016-09（2016年9月） 詳細は、「7.5 装置ラベルの確認」（P.88）を参照してください。
購入年月日	
症状	
故障頻度	
保証書の有無	

エラーの状況

■ コンピュータ接続時の問題

調べる項目	調査結果
オペレーティングシステム（Windows）の種類	
画面のエラーメッセージ	
インターフェースの種類	例：USB インターフェース
インターフェースコントローラーの種類	

■ 搬送系の問題

調べる項目	調査結果
原稿の種類	
主な使用目的	
最新の清掃年月日	
消耗品の交換年月日	
操作パネルの状況	

■ 画像系の問題

調べる項目	調査結果
スキャナドライバの種類と版数	
インターフェースコントローラーの種類	
オペレーティングシステム (Windows) の種類	
アプリケーションの種類	例：PaperStream ClickScan
読み取り面	例：表面、裏面、両面
読み取り解像度	例：600dpi、75dpi
読み取り色	例：カラー、グレースケール、二値白黒

■ そのほか

調べる項目	調査結果
原稿の状態がわかるような写真と、出力結果の両方をE-mail または FAX で送ることは可能ですか？	

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

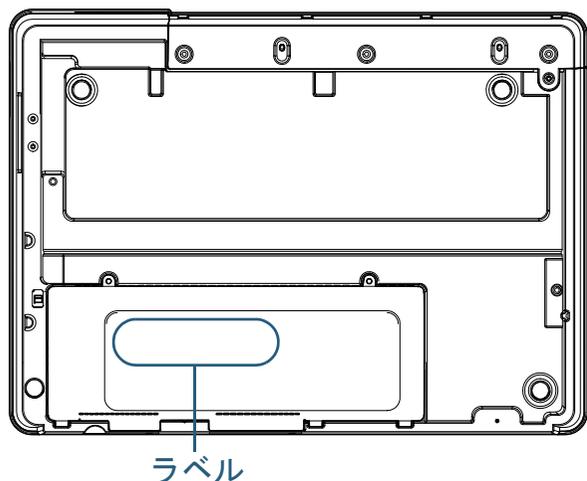
用語集

7.5 装置ラベルの確認

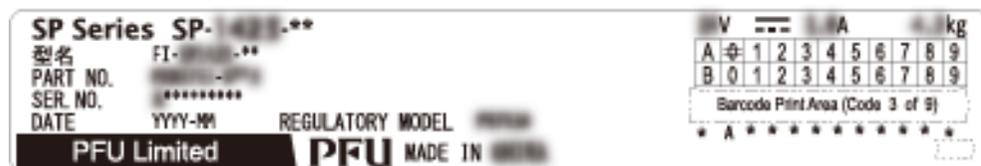
ラベルの確認方法について説明します。

ラベルの位置

ラベルはスキャナの底面にあります。



ラベル 例：スキャナの情報を示しています。



はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

第 8 章 スキャナの動作設定

この章では、Software Operation Panel を使ったスキャナの設定方法について説明します。

8.1 Software Operation Panel の起動.....	90
8.2 Software Operation Panel のパスワード設定.....	92
8.3 設定できる項目	98
8.4 枚数カウンタに関する設定	102
8.5 読み取りに関する設定.....	105
8.6 待機時間に関する設定.....	106

8.1 Software Operation Panel の起動

Software Operation Panel は PaperStream IP ドライバと同時にインストールされます。

このアプリケーションを利用することで、読み取り時の動作や消耗品の管理などの設定ができます。

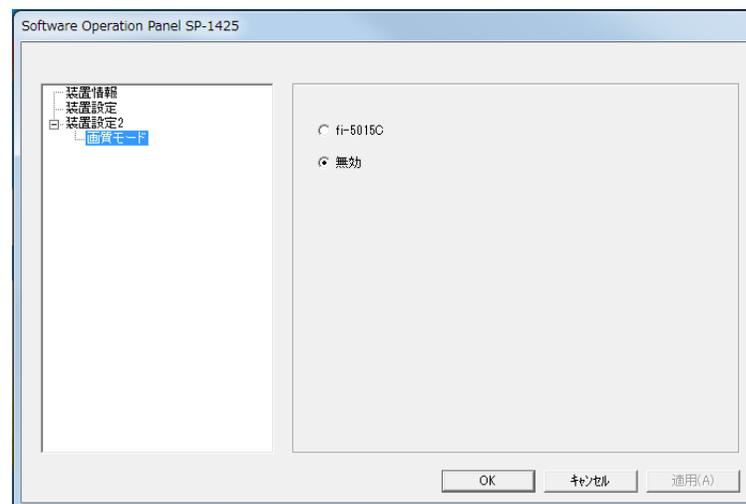
重要

- 読み取り中に Software Operation Panel を起動しないでください。
- スキャナドライバの設定画面表示中に Software Operation Panel の設定を変更した場合、変更した設定が読み取り結果に反映されない場合があります。
- Software Operation Panel 起動中、操作パネルを操作しないでください。
- スキャナを複数台接続しても2台目以降のスキャナは認識されません。
スキャナは2台以上接続しない状態でお使いください。

- 1 スキャナとコンピュータが接続されていることを確認し、スキャナの電源を投入します。
スキャナとコンピュータの接続方法については、Quick Installation Sheet を参照してください。
スキャナの電源の投入方法については、「1.3 電源の投入 / 切断」(P.19) を参照してください。

- 2 「Software Operation Panel」画面を表示します。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
「スタート」メニュー → 「SP Series」 → 「Software Operation Panel」をクリックします。
- Windows 11
「スタート」メニュー → 「すべてのアプリ」 → 「SP Series」 → 「Software Operation Panel」をクリックします。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

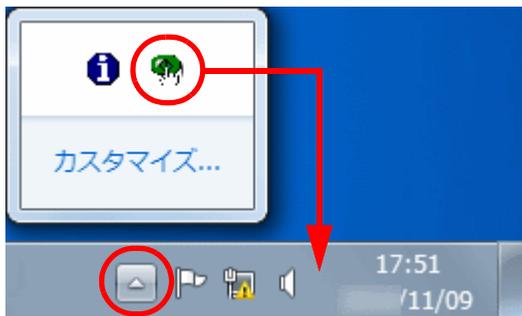
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

- ⇒ 画面右下の通知領域にある  をクリックして表示されるメニューに、Software Operation Panel のアイコンが表示されます。通知領域に Software Operation Panel のアイコンを常に表示させるには、アイコンを通知領域にドラッグ&ドロップしてください。



以降、通知領域に Software Operation Panel のアイコンを常に表示させた場合を例に説明します。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

8.2 Software Operation Panel のパスワード設定

Software Operation Panel にパスワードを設定することにより、スキャナの設定内容を閲覧だけできる「閲覧モード」として起動できます。

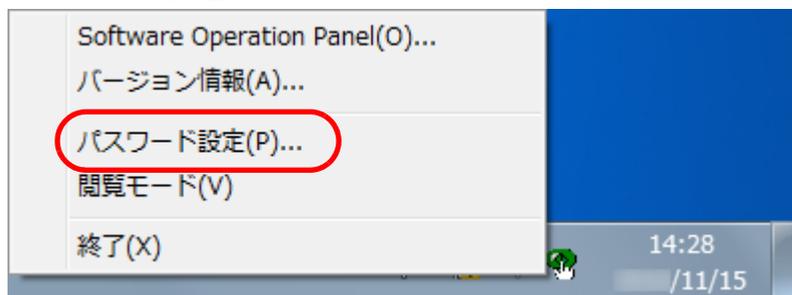
パスワードを設定していない状態では、スキャナの設定が可能なモードとして起動します。

パスワードを設定して操作を制限することで、不用意な設定変更を防止できます。

パスワードの設定

Software Operation Panel にパスワードを設定します。

- 1 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。

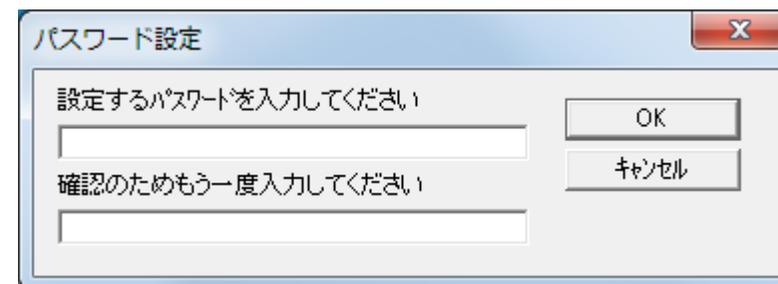


⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 設定するパスワードと確認用パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

パスワードとして設定できる最大文字数は 32 文字までです。

入力可能文字は、半角英数字 (a ~ z、A ~ Z、0 ~ 9) とします。



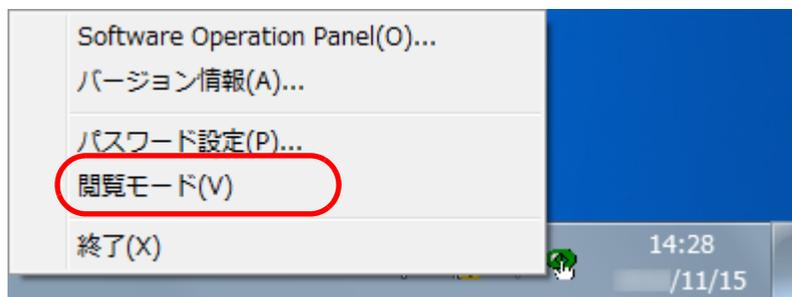
⇒ メッセージ画面が表示されます。

- 3 [OK] ボタンをクリックします。
- ⇒ パスワードが設定されます。

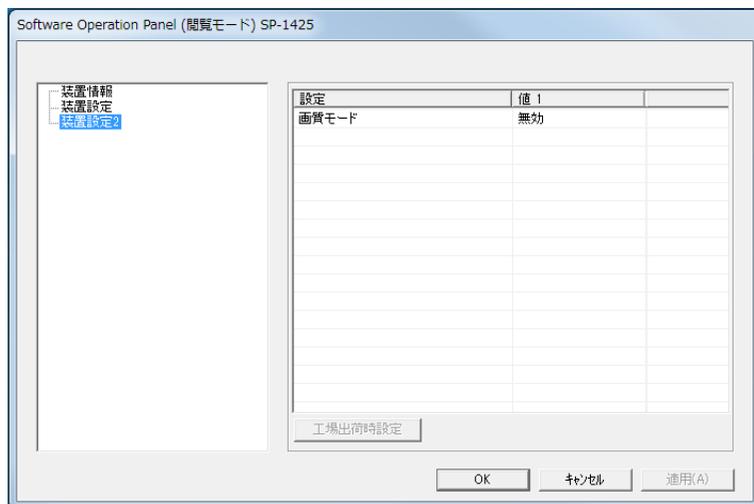
「閲覧モード」の設定

Software Operation Panel を「閲覧モード」に設定します。

- 1 パスワードを設定します。
詳細は、「パスワードの設定」(P.92) を参照してください。
- 2 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「閲覧モード」をクリックします。

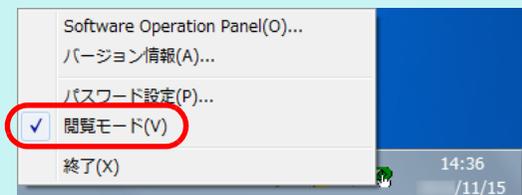


⇒ Software Operation Panel が「閲覧モード」で起動されます。



ヒント

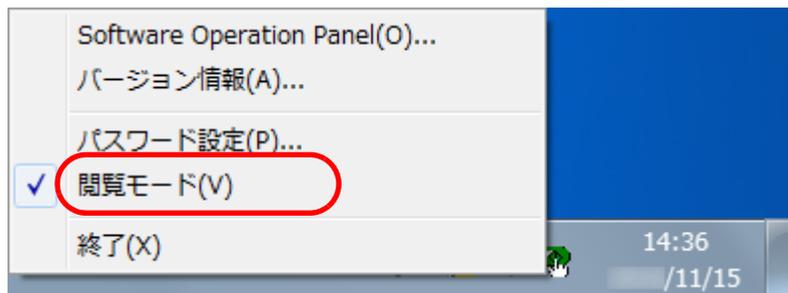
Software Operation Panel を「閲覧モード」に設定した場合は、通知領域の Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューの「閲覧モード」の左側にチェックマークが表示されます。



「閲覧モード」の設定解除

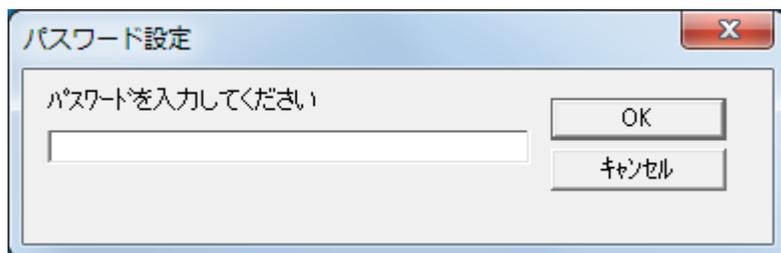
Software Operation Panel の「閲覧モード」の設定を解除します。

- 1 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「閲覧モード」をクリックします。

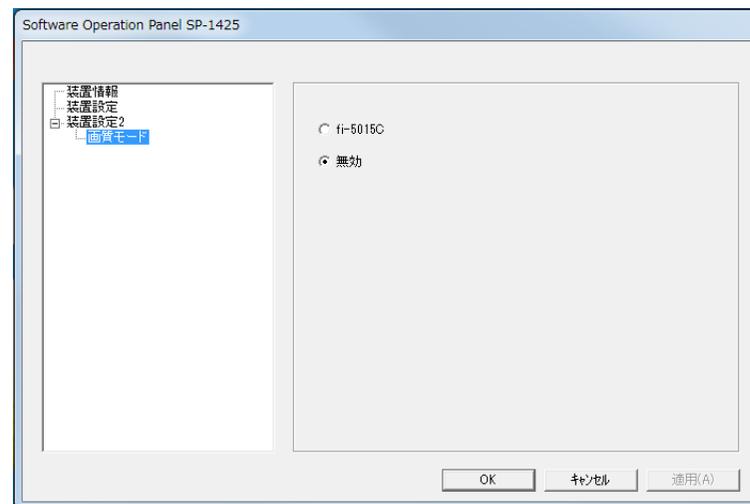


⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

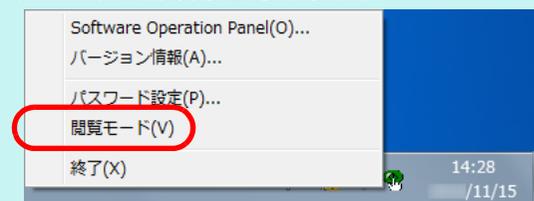


⇒ 「閲覧モード」の設定が解除され、Software Operation Panel がスキャナ設定可能なモードで起動されます。



ヒント

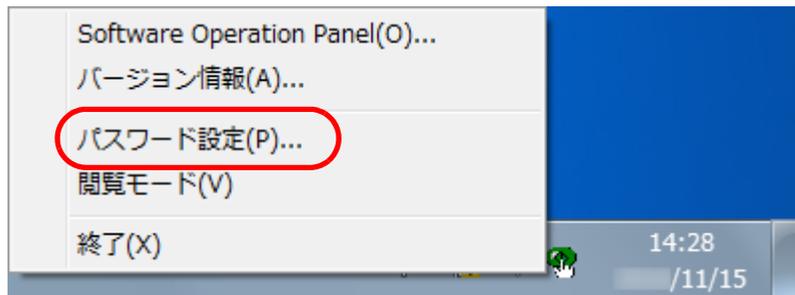
Software Operation Panel の「閲覧モード」の設定を解除した場合は、通知領域の Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューの「閲覧モード」の左側のチェックマークが非表示となります。



パスワードの変更

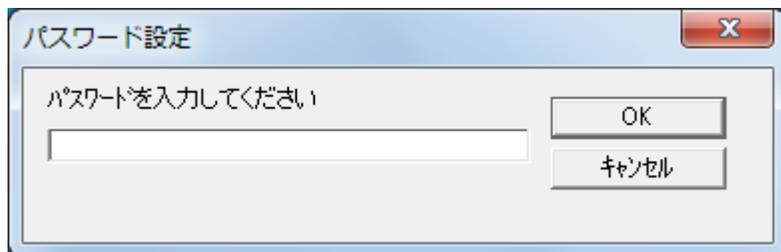
パスワードを変更します。

- 1 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



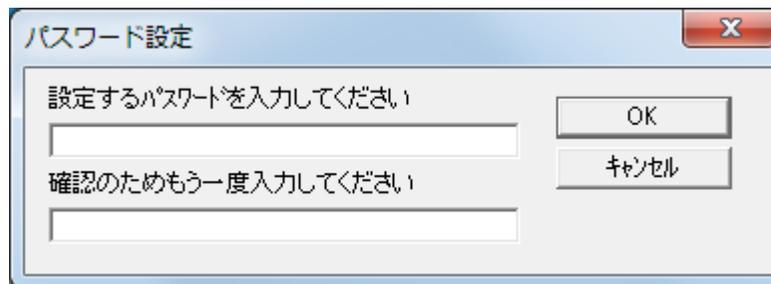
⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 3 設定するパスワードと確認用パスワードに、変更後のパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。
パスワードとして設定できる最大文字数は 32 文字までです。
入力可能文字は、半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) とします。



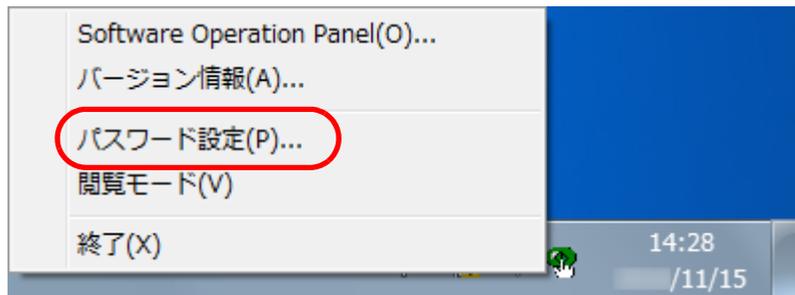
⇒ メッセージ画面が表示されます。

- 4 [OK] ボタンをクリックします。
⇒ パスワードが変更されます。

パスワードの設定解除

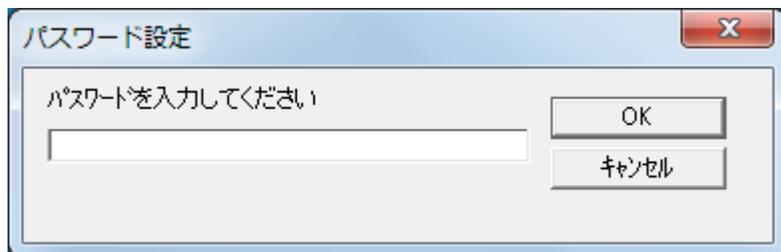
パスワードの設定を解除します。

- 1 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



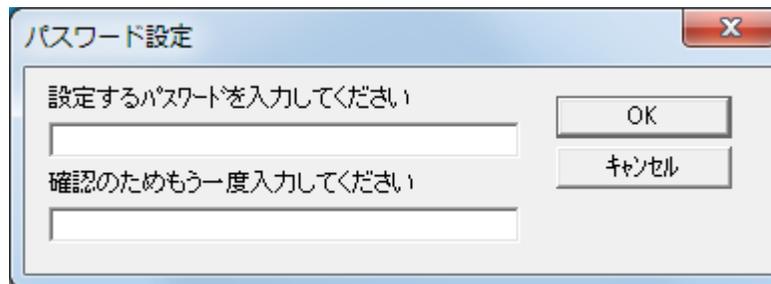
⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 3 設定するパスワードと確認用パスワードを空欄にし、[OK] ボタンをクリックします。



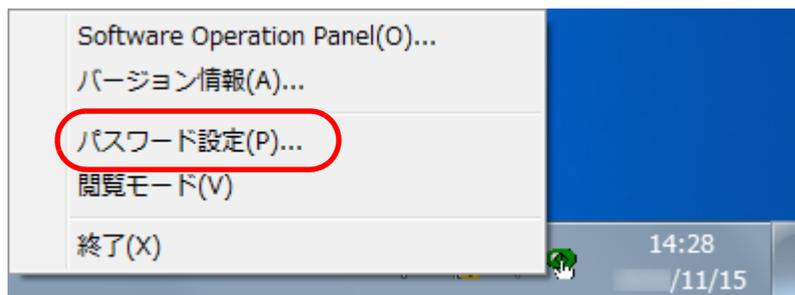
⇒ メッセージ画面が表示されます。

- 4 [OK] ボタンをクリックします。
⇒ パスワードの設定が解除されます。

パスワード紛失時の対応

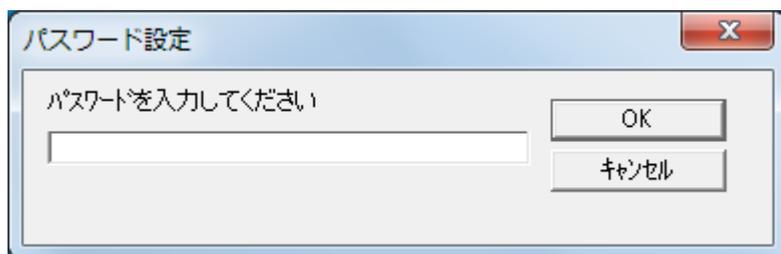
パスワードを紛失した場合、次の手順で、パスワードを再設定します。

- 1 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



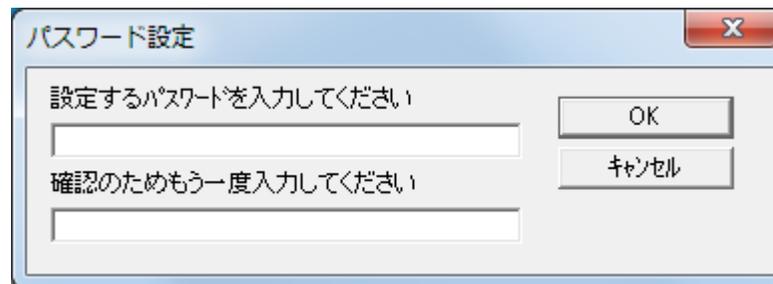
⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 デフォルトパスワード「SP-Scanner」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 3 設定するパスワードと確認用パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。
パスワードとして設定できる最大文字数は 32 文字までです。
入力可能文字は、半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) とします。



⇒ メッセージ画面が表示されます。

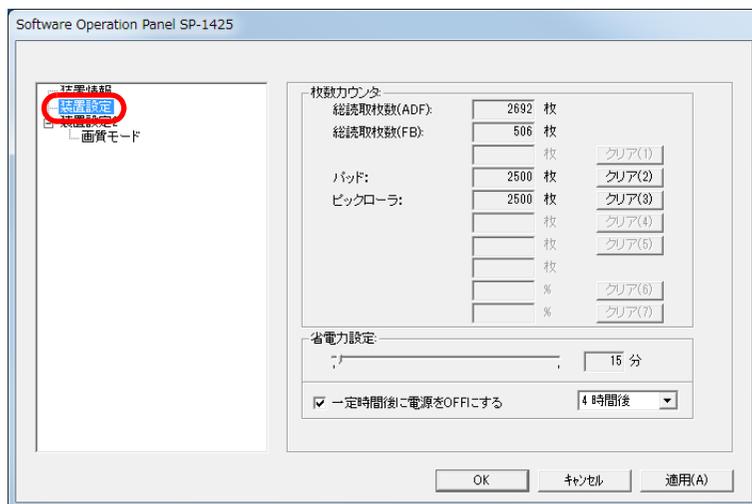
- 4 [OK] ボタンをクリックします。
⇒ パスワードが再設定されます。

8.3 設定できる項目

Software Operation Panel では、コンピュータに接続されているスキャナに対して次のような設定ができます。

装置設定

- 1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.90) を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



この画面で設定できる項目を次に示します。

設定項目	説明	設定値 / 表示値	工場出荷時
枚数カウンタ (P.102)	消耗品の交換時期を確認するために使用します。 また、消耗品を交換した場合は、この機能を使用してカウンターをリセットします。	総読取枚数 (ADF) / 総読取枚数 (FB) / パッド / ピックローラ	0
省電力設定 (P.106)	省電力モードに入るまでの待機時間を設定します。 一定時間後に電源を OFF にする：スキャナの電源を投入したままで一定時間何も操作しないと、自動的にスキャナの電源が切断されるようにしたい場合にチェックします。 また、自動的にスキャナの電源が切断されるまでの時間を設定します。 「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスのチェックを外すと、スキャナの消費電力が増加します。	5 ~ 115 分の範囲で設定 (5 分刻みで設定)	15 分
		「一定時間後に電源を OFF にする」のチェック 1 時間後 / 2 時間後 / 4 時間後 / 8 時間後 (「一定時間後に電源を OFF にする」をチェックした場合)	チェックあり 4 時間後

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

設定項目	説明	設定値 / 表示値	工場出荷時
画質モード (P.105)	画質モードを設定します。 fi-5015C で読み取った場合の画質に近づけて読み取りたいときに設定します。	fi-5015C/ 無効	無効

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

8.4 枚数カウンタに関する設定

枚数カウンタの確認およびリセット

■枚数カウンタの確認

消耗品の交換時期を確認できます。

消耗品の交換時期が近づくと、カウンターの背景色が変わります。

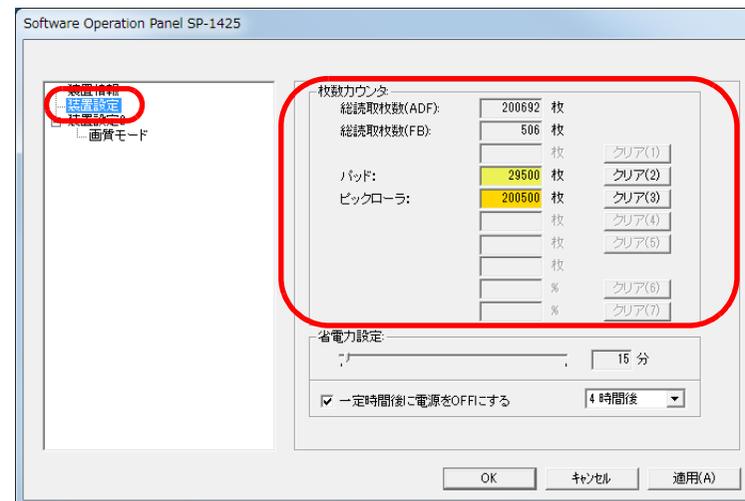
カウンターの背景色は、各消耗品の読み取り枚数が次のときに薄い黄色または黄色に変わります。

項目	カウンターの背景色	
	薄い黄色	黄色
パッド	28,500 ～ 30,000 枚未満	30,000 枚以上
ピックアップローラ	190,000 ～ 200,000 枚未満	200,000 枚以上

交換周期については、「6.1 消耗品と交換周期」(P.61)を参照してください。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.90)を参照してください。

- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



この画面で、次のことが確認できます。

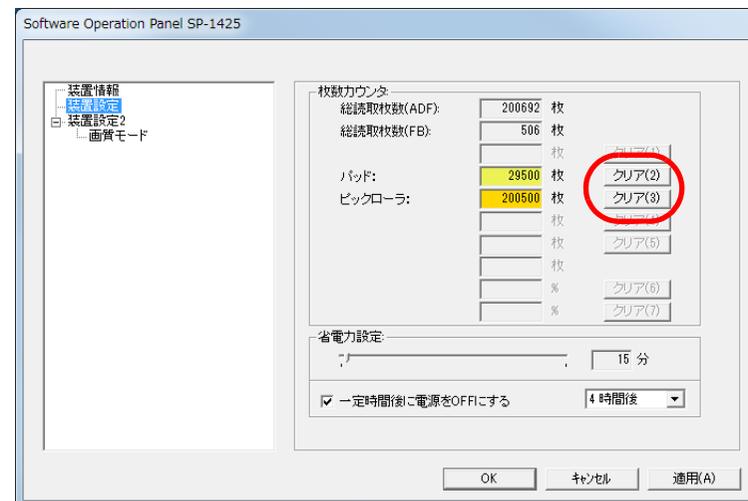
項目	説明
総読取枚数 (ADF)	ADF でこれまでに読み取った原稿の概算枚数
総読取枚数 (FB)	フラットベッドでこれまでに読み取った原稿の概算枚数
パッド	パッドユニットを交換してから読み取った原稿の概算枚数 枚数は、500 枚単位でカウントされます。
ピックアップローラ	ピックアップローラユニットを交換してから読み取った原稿の概算枚数 枚数は、500 枚単位でカウントされます。

重要

電源ケーブルを抜いて電源を切断した場合は総読取枚数のカウンターが反映されないことがあります。

■枚数カウンタのリセット

消耗品を交換した場合は、次の手順で、該当するカウンターをリセットします。

1 交換した消耗品の [クリア] ボタンをクリックします。

⇒ カウンター値が0になります。

2 [OK] ボタンをクリックします。

⇒ メッセージ画面が表示されます。

3 [OK] ボタンをクリックします。

⇒ 設定が保存されます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

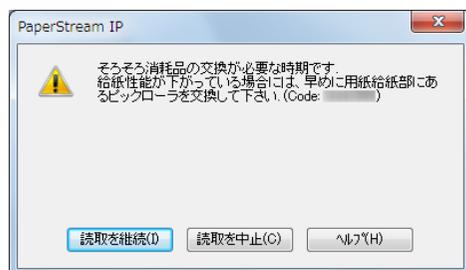
付録

用語集

■ 消耗品交換メッセージ

スキャナを使用していると、次のようなメッセージが表示されることがあります。

例：



メッセージが表示されたら、表示内容を確認し消耗品を交換してください。

[読取を継続] ボタンをクリックすると、消耗品交換メッセージが消えて、読み取りが続けられます。できるだけ早くメッセージに表示された消耗品を交換してください。読み取りを中止して消耗品を交換する場合は、[読取を中止] ボタンをクリックします。

消耗品の交換方法は、次を参照してください。

- パッドユニット
「6.2 パッドユニットの交換」(P.62)
- ピックローラユニット
「6.3 ピックローラユニットの交換」(P.64)

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

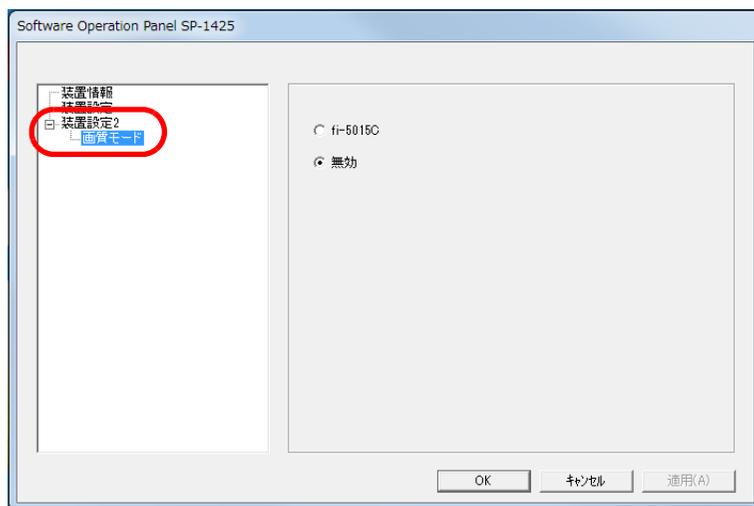
8.5 読み取りに関する設定

読み取り時の画質の設定（画質モード）

画質モードを設定します。

fi-5015C で読み取った場合の画質に近づけて読み取りたいときに設定します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、「8.1 Software Operation Panel の起動」（P.90）を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「画質モード」をクリックします。



- 3 fi-5015C の画質に近づけるか、近づけないかを選択します。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

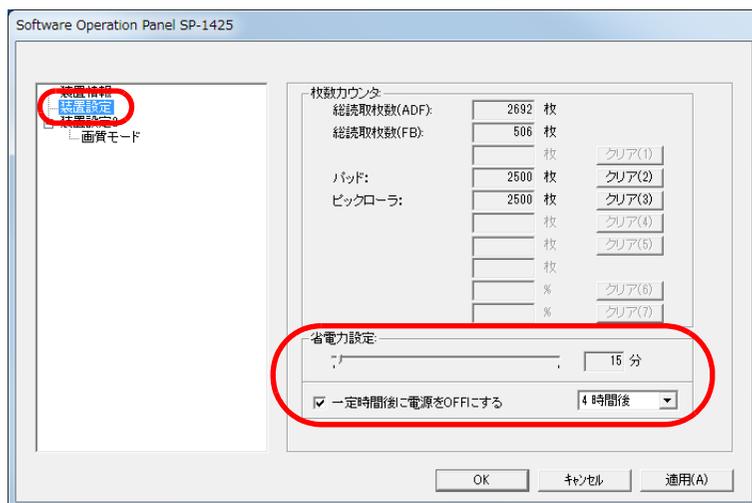
用語集

8.6 待機時間に関する設定

省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）

省電力モードに入るまでの待機時間を設定できます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、「8.1 Software Operation Panel の起動」（P.90）を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



- 3 スライダーを使い、省電力モードに入るまでの待機時間を設定します。
5～115分の範囲で設定（5分刻みで設定）できます。

ヒント

- 「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスをチェックした場合、スキャナの電源を投入したままで一定時間何も操作しないと、自動的にスキャナの電源が切断されます。自動的にスキャナの電源が切断されるまでの時間は、1 時間後 / 2 時間後 / 4 時間後 / 8 時間後から選択できます。
- 「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスのチェックを外すと、スキャナの消費電力が増加します。

付録

付録では、次の情報について説明します。

付 .1 スキャナ基本仕様	108
付 .2 設置諸元.....	110
付 .3 外形寸法.....	112
付 .4 スキャナのオプション	113
付 .5 ソフトウェアのアンインストール手順.....	115
付 .6 e- 文書法に適合した電子文書の作成	116

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

付 .1 スキャナ基本仕様

項目		仕様		備考
		ADF	フラットベッド	
スキャナタイプ		ADF（自動給紙機構）	フラットベッド	-
イメージセンサー		Single line CMOS-CIS × 2（表 / フラットベッド × 1、裏 × 1）		-
光源		RGB-LED × 2（表 / フラットベッド × 1、裏 × 1）		-
読み取り可能原稿サイズ	最小サイズ （幅 × 長さ）	114 × 140mm	25.4 × 25.4mm	-
	最大サイズ （幅 × 長さ）	216 × 356mm（*1）	216 × 297mm	-
原稿の厚さ		52 ~ 127g/m ² （45 ~ 110kg/ 連）		-
読み取り速度 （A4）（*2）	バイナリ（二値白黒）	片面 25 枚 / 分、両面 50 面 / 分	4 秒 / 枚	300dpi
	グレースケール			
	カラー			
原稿搭載容量		50 枚（*3）	-	厚さ 80g/m ² （69kg/ 連）の原稿 原稿の総厚みが 5mm 以下
光学解像度		600dpi		-
出力解像度	バイナリ（二値白黒）	50 ~ 600dpi、1200dpi		50 ~ 600dpi は 1dpi ごとに設定可 300dpi および 600dpi 以外はスキャナ ドライバで生成
	グレースケール			
	カラー			
読み取り階調		256 階調		内部処理時は 65536 階調（16bit）
インターフェース		USB2.0/1.1（*4）		タイプ B

- *1：長尺帳票読み取り時は、解像度を 200dpi 以下にした場合、最大の長さ 3048mm（120 インチ）まで読み取り可能です。
- *2：読み取り速度は、ハードウェアの最大速度であり、実際の読み取り時間にはデータ転送時間などのソフトウェアの処理時間が付加されます。読み取り速度の測定環境は、次のとおりです。

オペレーティングシステム	Windows 10
CPU	Intel® Core™ i3-10105 3.7GHz
メモリ容量	8GB
ストレージ	SSD

- *3：最大枚数は原稿の厚さによって変わります。
詳細は、「[2.3 読み取りできる原稿](#)」（P.35）を参照してください。
- *4：添付の USB ケーブルを使用してください。
USB ハブに接続する場合、必ずコンピュータの USB ポートに接続されている USB ハブに接続してください。
USB2.0 で接続する場合、USB ポートおよびハブが USB2.0 に対応している必要があります。また、USB1.1 で接続すると、読み取り速度が遅くなります。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

付 .2 設置諸元

項目		仕様
外形寸法（幅×奥行き×高さ）(*1)		454 × 331 × 129mm
設置スペース（幅×奥行き×高さ）(*2)		559 × 531 × 406mm
質量		4.3kg 以下
入力電源	電圧範囲	AC100 ~ 240V、±10%
	相	単相
	周波数範囲	50/60Hz、±3Hz
消費電力	動作時	16W 以下
	省エネ時	2.9W 以下
	電源オフ時	0.3W 以下
操作環境	温度	動作時：5 ~ 35°C、非使用時：-20 ~ 60°C
	湿度	動作時：20 ~ 80%、非使用時：8 ~ 95%
	標高	0 ~ 3,000m (*3)
発熱量	動作時	13.8Kcal/Hr 以下
	省エネ時	2.5Kcal/Hr 以下
	電源オフ時	0.26Kcal/Hr 以下
出荷時質量 (*4)		7.5kg 以下
消耗品交換周期	パッドユニット	30,000 枚または 1 年
	ピックアップユニット	200,000 枚または 1 年

項目	仕様
保証期間	購入後 1 年以内 ただし、購入後 1 年以内であっても、ADF 総読み取り枚数が 500,000 枚以下、またはフラットベッド総読み取り枚数が 100,000 枚以下までとします。

*1：高さ、幅は、ADF 給紙シュート（フィーダー）およびストッパーを除きます。

*2：設置スペースの値は、A4 原稿を読み取る場合に必要な設置スペースの参考値です。

*3：標高 2,000m を超える高地で、厚さ 100g/m² 以上の原稿を読み取ると、マルチフィードと検出されることがあります。

*4：梱包品を含めた質量です。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

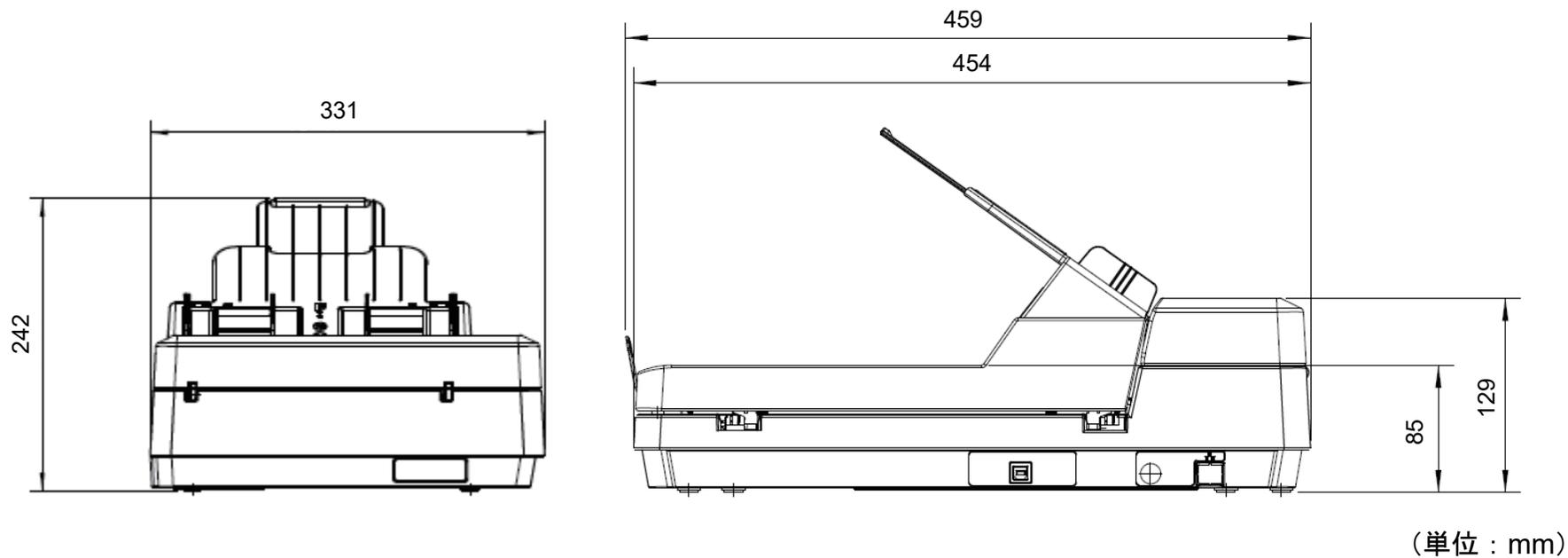
スキャナの動作設定

付録

用語集

付 .3 外形寸法

外形寸法は次のとおりです。



(単位 : mm)

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

付 .4 スキャナのオプション

品名	型名	説明
ScanAid	FI-142SA	スキャナに必要な消耗品・清掃用品（ローラー、クリーナーなど）をまとめたオプションです。ScanAid を購入すると、必要な消耗品・清掃用品が一度にそろいます。ScanAid の梱包品については、「ScanAid の梱包品」(P.114) を参照してください。

スキャナのオプションのご購入については、「株式会社 PFU PFU ダイレクト」(P.120) にお問い合わせください。
スキャナのオプションの詳細は、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.119) にお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

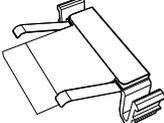
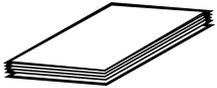
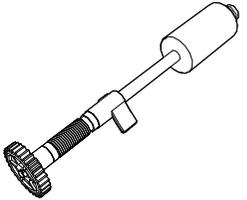
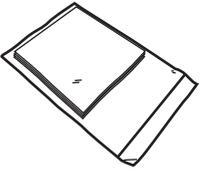
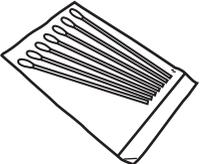
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

ScanAid の梱包品

清掃用品		消耗品	
品名	備考	品名	備考
クリーナ F1 (1本) 	容量 : 50ml	パッドユニット (7個) 	30,000 枚または 1年ごとに交換
クリーニングペーパー (1パック) 	10 枚入り / 1パック	ピックローラユニット (1個) 	200,000 枚または 1年ごとに交換
クリーニングクロス (2パック) 	20 枚入り / 1パック		
綿棒 (2パック) 	50 本入り / 1パック		

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

付 .5 ソフトウェアのアンインストール手順

- 1 コンピュータの電源を投入して、コンピュータの管理者権限を持つユーザーで、Windows にログオンします。
- 2 動作しているソフトウェアをすべて終了させます。
- 3 「コントロール パネル」画面を表示します。
 - Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
「スタート」メニュー → 「Windows システム ツール」 → 「コントロール パネル」をクリックします。
 - Windows 11
「スタート」メニュー → 「すべてのアプリ」 → 「Windows ツール」をクリックし、「コントロール パネル」をダブルクリックします。
- 4 「プログラムのアンインストール」をクリックします。
⇒ 「プログラムと機能」画面が表示され、インストールされているソフトウェアの一覧が表示されます。
- 5 削除するソフトウェアをクリックします。
 - PaperStream IP ドライバを削除する場合
次のどれかをクリックしてください。
 - PaperStream IP (TWAIN) for SP Series
 - PaperStream IP (TWAIN x64) for SP Series
 - PaperStream IP (ISIS) for SP Series
 - Software Operation Panel を削除する場合
「Software Operation Panel」をクリックしてください
Software Operation Panel は、PaperStream IP ドライバをインストールすると同時にインストールされます。
 - Error Recovery Guide を削除する場合
「Error Recovery Guide for SP-1425」をクリックしてください。
 - PaperStream ClickScan を削除する場合
「PaperStream ClickScan」をクリックしてください。
 - PaperStream ClickScan Searchable PDF Option を削除する場合
「PaperStream ClickScan Searchable PDF Option」をクリックしてください。
 - PaperStream Capture Lite を削除する場合
「PaperStream Capture Lite」をクリックしてください。
 - Presto! PageManager を削除する場合
「Presto! PageManager XX」をクリックしてください。
XXには、バージョンが表示されます。
 - ABBYY FineReader Sprint を削除する場合
「ABBYY FineReader PDF XX」をクリックしてください。
XXには、バージョンが表示されます。
 - マニュアルを削除する場合
「SP Series manuals for SP-1425」をクリックしてください。
 - Scanner Central Admin Agent を削除する場合
「Scanner Central Admin Agent」をクリックしてください。
 - SP Series Online Update を削除する場合
「SP Series Online Update」をクリックしてください。
- 6 [アンインストール] ボタンまたは [アンインストールと変更] ボタンをクリックします。
- 7 アンインストールの確認画面が表示される場合は、[OK] ボタンまたは [はい] ボタンをクリックします。
⇒ アンインストールが実行されます。

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

付 .6 e- 文書法に適合した電子文書の作成

これまで企業活動で発生する見積書、注文書、契約書などの帳票は、紙文書のまま保存しておく必要がありましたが、e-文書法(*1)の施行により、これらの紙文書を本製品で読み取り、電子化することにより、保存・管理・運用などのコストを大きく低減できます(紙による原本保存が不要になります)。

次に、本製品を使用してe-文書法に適合した電子文書を作成する方法をまとめます。

重要

- 読み取った画像の原本再現性および画質確認(文章の判読不能のないことなど)は、お客様の責任で実施してください。
- 国税関係書類の場合、両面印刷された原稿を読み取って表裏の画像を合成することは推奨しません。

*1: e-文書法(通称)とは、民間事業者などに対して、法令により紙での原本保存が義務付けられていた文書を、スキャナで電子化し、原本の保存に代えて画像での保存を容認する法律です。e-文書法の正式名称は、「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律」および「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」です。

e- 文書法に対応する要件

e-文書法に対応した読み取り設定で原稿を読み取ると、次の法令要件に対応した画像を作成できます。

財務省の省令(電子帳簿保存法)に定められた要件

解像度: 200dpi(8ドット/mm)以上

カラー: 24bitカラー(RGB各色256階調)以上またはグレー(256階調以上)(*1)

非可逆圧縮での画質規定: JIS X6933 または ISO12653 テストチャートの4ポイントの文字が認識できること

*1: 国税関係書類の文書でグレー(256階調以上)での保存が認められるのは、資金や物の移動に関連しない国税関係書類や定型な約款が定められた契約申込書などの文書です。

例: 見積書控、注文書控、定型な約款が定められた保険契約申込書

厚生労働省の省令に定められた要件

診療等の用途に差し支えない精度

重要

- 電子帳簿保存法に対応するには、スキャナドライバの e- 文書法に対応した読み取り設定で原稿を読み取ってください。詳細は、スキャナドライバのヘルプを参照してください。
- 本製品は、各省令に合った読み取りを行う機能を持っていますが、それだけでは、紙原本に代えて画像で保存することはできません。各省庁より出される省令、およびガイドラインに従い、場合によっては、電子署名・タイムスタンプを画像に付与し、管理および運用していく必要があります。詳細は、弊社にお問い合わせください。
<https://www.pfu.ricoh.com/rm/anshinrm/>
- レシート、見積書などの国税関係書類は、税法で確実な保存が規定されている重要な文書です。これらの文書を画像として保存し、紙原本を廃棄するためには、電子帳簿保存法の要件に対応したシステム、業務規程の作成、および運用管理などの法定要件を満たして、所轄税務署長の承認が必要です。詳細は、省令を必ず参照してください。

原稿を読み取ったあとの検証

紙文書を電子化する場合、原稿を読み取ったあとに原稿の情報が正しく読み取られているかどうかを、次の観点で検証しなければなりません。

- ページの抜けがないか
- 文字がつぶれて読めない箇所がないか
- ごみ、スジなどで不鮮明な箇所がないか
- 割り印などの、原稿の端にある情報が欠けていないか

画像の検証で問題があった場合、再度原稿を読み取って検証します。検証で問題なければ、画像を登録、保存します。

重要

画像は、一切の修正を行ってはいけません。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

修理・お問い合わせ

トラブル対処

原稿づまりなどのトラブルが発生した場合は、次を参照して対処してください。

- 「第7章 困ったときには」 (P.66)
- サポート & サービスのホームページ
(<https://www.pfu.ricoh.com/imaging/contact.html>)

また、お客様から寄せられた主なご質問とその回答を、次のホームページに掲載しています。該当する項目がないか、確認してください。

- よくあるご質問
(https://faq.pfu.jp/?site_domain=fi)

修理サービスのご案内

当社では、お客様に安心して業務用 イメージ スキャナ SP シリーズをお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入いただく契約サービスと、必要なときにその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強かにバックアップいたします。

契約サービス

事前に契約を結んでいただくことで、ご購入後も万全のサポートを提供いたします。

- 定額定期保守サービス

年に1度予防保守を行います。万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにおうかがいして保守修理作業を実施します。

- 定額訪問修理サービス

万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにおうかがいして保守修理作業を実施します。

スポットサービス

必要なときに、その都度ご利用いただけます。

- 訪問修理（有償）(*1)

本製品の故障発生時にご連絡いただくと、その後、サービスエンジニアが直接修理にうかがいます。

- 持込 / センドバック修理（有償）(*2) (*3)

本製品の故障発生時にお客様の製品を当社の修理センターで修理します。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

● 付加サービス

センドバック修理には、次の付加サービスがあります。

- (1) 引き取り修理サービス（有償）(*1)
- (2) 代替機サービス（有償）(*1) (*4)

*1：保証期間中の場合も有償となります。

*2：保証期間内に正常な使用状態で故障した場合は、無償で修理いたします。

*3：センドバック修理で診断を行い交換部品が高額などの理由で修理をキャンセルされた場合は診断料が必要になりますので注意してください。

*4：代替機サービスは、引き取り修理サービスとの併用でご利用できます。代替機サービスだけではご利用いただけません。

詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.pfu.ricoh.com/fi/support/maintenance-service/>

サービス内容は、予告なく変更される場合がございます。詳細は、当社ホームページでご確認いただくか、株式会社PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。

重要

- 本製品の修理はお客様自身で行わないでください。
- 本製品の保証条件は同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品の修理部品の供給期間は販売終了後5年間です。

ヒント

保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無償で修理いたします。

保証期間については、保証書を参照してください。

お問い合わせ窓口

お客様からの業務用イメージスキャナ SP シリーズ全般に関する操作や故障・トラブルのお問い合わせに迅速に対応いたします。

故障・トラブルのお問い合わせのときは、「[7.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」(P.86)を参考に必要事項を確認してください。

株式会社PFU イメージング サービス & サポートセンター

お問い合わせ先

以下のホームページをご覧ください。

<https://www.pfu.ricoh.com/imaging/contact.html>

上記窓口では、ABBYY FineReader Sprint および Presto! PageManager に関するお問い合わせにはお答えできません。

ABBYY FineReader Sprint に関しては、次のホームページをご覧ください。

<http://www.abbyy.com>

Presto! PageManager に関しては、次のホームページをご覧ください。

<http://nj.newsoft.com.tw/support/index.php>

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

サプライ用品の購入先

スキャナの清掃方法と消耗品の交換方法については、「第5章 日常のお手入れ」(P.50) および「第6章 消耗品の交換」(P.60) を参照してください。

清掃用品や消耗品のお問い合わせやご購入については、本製品を購入された販社 / 販売店または株式会社 PFU PFU ダイレクトにお問い合わせください。

株式会社 PFU PFU ダイレクト

お問い合わせ先

ホームページ: <https://www.pfu.rioh.com/direct/>

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

用語集

あ行

明るさ
一時的エラー
インターフェース
オーバースキャン

か行

解像度
画像処理
画像反転
片面読み取りモード
ガンマ
グレースケール
原稿検知センサー
原稿づまり
誤差拡散

さ行

しきい値
自動傾き / サイズ検出
ジョブセパレータ
白基準
スムージング

操作環境
操作パネル
装置異常

た行

縦向き
超音波センサー
ディザ
デフォルト設定
ドライバ
ドロップアウトカラー

な行

ノイズ検出
濃度

は行

ハーフトーン
排出ローラー
パッチコード
パッドユニット
ピクセル
ピック開始時間
ピックローラユニット

フィードローラー
フィルター
フラットベッド
ブランクページスキップ

ま行

マルチイメージ
マルチフィード
モアレ

や行

横向き

ら行

リーガルサイズ
両面読み取りモード
輪郭強調
輪郭抽出
レターサイズ

英字

A4 サイズ
A5 サイズ
A6 サイズ
A7 サイズ

A8 サイズ
ADF（自動給紙機構）
CIS（Contact Image Sensor）
dpi（dots per inch）
ISIS
OCR（光学式文字認識）
TWAIN
USB

[TOP](#)[目次](#)[索引](#)[はじめに](#)[スキャナをお使いになる前に](#)[原稿のセット方法](#)[操作パネルの操作方法](#)[いろいろな読み取り方](#)[日常のお手入れ](#)[消耗品の交換](#)[困ったときには](#)[スキャナの動作設定](#)[付録](#)[用語集](#)

あ行

明るさ

読み取った画像の明るさを指します。

一時的エラー

ユーザーによる修復が可能なエラーです。

インターフェース

コンピュータとスキャナの通信に使用される接続規格です。

オーバースキャン

指定された原稿サイズより大きめに読み取りを行う機能です。

か行

解像度

画像のクオリティ（精細さ）を示す基準です。1インチあたりのピクセル数によって表します。画像は、微小な点（ピクセル）の集まりです。同じ画像の場合、ピクセル数が多い方が、細部分まで表現できます。そのため、解像度が大きいほど、高精細な画像となります。

画像処理

設定したパラメーターを使用して、読み取った画像に処理を加えて出力します。

画像反転

画像の白と黒を入れ替える読み取り方式です。

片面読み取りモード

原稿の指定した面（表面または裏面）だけを読み取るモードです。（⇄両面読み取りモード）

ガンマ

画像の明るさの変化を示す単位です。機器（スキャナ、ディスプレイなど）への入力電圧と画像の明るさの関数として与えられます。ガンマレートが1以上に設定されている場合、画像は明るくなり、1以下の場合には逆に暗くなります。原稿そのものの明るさを再現する場合は、通常ガンマレートを1に設定します。

[はじめに](#)[スキャナをお使いになる前に](#)[原稿のセット方法](#)[操作パネルの操作方法](#)[いろいろな読み取り方](#)[日常のお手入れ](#)[消耗品の交換](#)[困ったときには](#)[スキャナの動作設定](#)[付録](#)[用語集](#)

グレースケール

白黒を 256 階調（濃淡）で表現します。写真などの画像を読み取るのに適しています。

原稿検知センサー

光の透過量の変化を検知するセンサーです。原稿の通過を監視することにより、マルチフィード、原稿づまりなどの搬送異常を検知します。

原稿づまり

搬送路内で原稿がつまった場合または紙滑りにより給紙が中断された場合に表示されるエラーです。

誤差拡散

白黒二値を使用した、ハーフトーン（擬似グレースケール）画像処理です。あるピクセル（注目画素）と隣接したピクセルの濃度を合計し、隣接ピクセルへの関係に基づいて高濃度順に黒いピクセルを再配置し、読み取り画像と出力画像間の格差を最小限にできます。注目画素のエラーを周辺画素に分散させることで、隣接ピクセルの濃度データを決定し二値化します。新聞の写真など点により構成される画像のモアレを抑え、グレースケールのグラデーションを再現します。

さ行

しきい値

ある色を黒または白と判定するために使用される値です。グレースケールのグラデーションを持つ画像を読み取るときは、設定が必要となります。設定したしきい値に従って、各ピクセルは黒または白に変換されます。

自動傾き / サイズ検出

後端検出：

ADF 読み取り時に、原稿の後端を検出して、原稿長さ分の読み取りを行います。

自動用紙サイズ検出：

原稿の形状を検出し、読み取った原稿を同じサイズで出力します。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

ジョブセパレータ

原稿の間に挿入し、ジョブの区切りとして認識させる場合に使用するシートです。ジョブセパレータには次のようなものがあります。

パッチコードを使用したジョブセパレータ：
パッチコードが印刷された用紙です。

バーコードを使用したジョブセパレータ：
任意の位置にバーコードが印刷された用紙です。

白基準

白色の基準となるシートです。
スキャナは、このシートの色を白として、そのほかの部分の明るさを調整します。

スムージング

斜めの線やカーブ上の凹凸を一定にし、ギザギザを除去する処理です。OCR アプリケーションなどの処理に使用します。

操作環境

スキャナを正常に動作 / 保管するために必要な条件（温度、湿度など）です。

操作パネル

表示部およびボタンから構成されるパネルです。機能の設定および変更など、スキャナの操作に使用します。

装置異常

サービスエンジニアによる復旧作業が必要なエラーです。

た行

縦向き

原稿の長辺を給紙方向と平行にセットする方法です。
原稿 / 画像が縦にセット / 表示されます。

超音波センサー

超音波によりマルチフィードを検出するセンサーです。原稿を透過する超音波の差異を監視し、マルチフィードを検出します。

ディザ

グレースケールの濃度を再現するよう点を配置する処理です。事前に点の配置パターンを設定しておき、グレースケールの濃度を再現します。グレースケールを多値で再現する方式に比べ、必要とするメモリ容量が少量となります。

デフォルト設定

(ハードウェアの場合)

工場出荷時に設定されている各種設定値です。

(ソフトウェアの場合)

インストール直後に設定されている各種設定値です。

ドライバ

コンピュータに接続されたハードウェアを、オペレーティングシステム上で制御するためのプログラムです。

ドロップアウトカラー

指定した色成分を、読み取った画像から取り除いて出力します。

な行

ノイズ検出

白い(黒い)領域に黒い(白い)点として表示される孤立点を除去し、画像の質を向上させる機能です。

濃度

表示色の深さを指します。

は行

ハーフトーン

ドットパターンによって、濃淡を二値白黒で再現します。写真などの画像を二値白黒で読み取るときに有効です。

排出ローラー

ADFからスタッカーへ原稿を搬送するローラーです。

パッチコード

スキャナで読み取って、ジョブや画像タイプの区切りとして認識させるための、専用コードです。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

パッドユニット

ADF 内に搬送する前に、原稿同士を分離する部品です。ピックアップユニットに原稿を押し当てる部分はゴム製部材となっています。

ピクセル

読み取った画像を構成する点です。

ピック開始時間

原稿をセットしてから、ホップエンピティセンサー上を通過してピックが開始されるまでの時間です。

ピックアップユニット

ADF 給紙シュート（フィーダー）の原稿から 1 枚だけ分離させ、ADF 内に搬送するローラーです。

フィードローラー

ADF 内で原稿を搬送するローラーです。

フィルター

読み取った画像に対して、フィルター処理を実行する機能です。
フィルターには次のようなものがあります。

デジタルエンドーサ：

読み取った画像のデータに、アルファベットや数字などの文字列を付加する機能です。

縁消し：

読み取った原稿の周囲余白部分を、指定した色で塗りつぶす機能です。

フラットベッド

スキャナの入力装置です。原稿を、1 枚ずつ原稿台（ガラス面）に置いて読み取ります。本や冊子などの ADF で読み取れない原稿も読み取れます。

ブランクページスキップ

原稿に含まれるブランクページ（白紙または黒紙）を検出し、自動的に削除して読み取る機能です。

ま行

マルチイメージ

一度の読み取りで、カラー/グレースケール画像と、二値白黒画像の両方を出力（マルチイメージ出力）する機能です。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

マルチフィード

一度に2枚以上の原稿が重なってADFに送り込まれてしまう現象のことです。長さによる違いを検出した場合も「マルチフィード」と呼びます。

モアレ

原稿の角度設定が不適切なために生じる、画像上の干渉縞です。

や行

横向き

原稿の短辺を給紙方向と平行にセットする方法です。

ら行

リーガルサイズ

米国およびその他の国における定型原稿サイズです。8.5 × 14 インチです。

両面読み取りモード

原稿の両面を一度に読み取るモードです。(⇔片面読み取りモード)

輪郭強調

黒い部分に隣接した、白以外の明るい色の濃度を減少させる機能です。この機能の値を高く設定すると、点状のノイズの除去や、画像をソフトにできます。

輪郭抽出

白と黒の各領域の境界線をトレースし、輪郭として抽出する機能です。

レターサイズ

米国およびその他の国における定型原稿サイズです。8.5 × 11 インチです。

英字

A4 サイズ

210 × 297mm の定型原稿サイズです。

A5 サイズ

148 × 210mm の定型原稿サイズです。

A6 サイズ

105 × 148mm の定型原稿サイズです。

A7 サイズ

74 × 105mm の定型原稿サイズです。

A8 サイズ

52 × 74mm の定型原稿サイズです。

ADF（自動給紙機構）

ADF（=Automatic Document Feeder）

複数枚の原稿を、自動的に 1 枚ずつ搬送しながら読み取るための搬送機構です。

CIS（Contact Image Sensor）

LED と受光センサーにより、原稿からの反射光を感知し、デジタル化（電子化）するセンサーです。スキャナ、カメラなどの機器で、目の役割を果たします。

dpi（dots per inch）

1 インチあたりのドット数です。スキャナやプリンターの解像度の単位として使用されます。dpi の値が高いほど、解像度は高くなります。

ISIS

1990 年に米国 Pixel Translations（現：Captiva, a division of EMC Corporation）がイメージングデバイス（スキャナ、デジタルカメラなど）用を開発した、API（アプリケーション・プログラム・インターフェース）規格です。ISIS 規格の製品を使用するには、同規格のドライバソフトのインストールが必要となります。

OCR（光学式文字認識）

原稿の文字を認識し、操作可能なテキストデータに変換する機器および技術です。原稿に投光し、反射光の差異を文字の形として認識します。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

TWAIN

Technology Without Any Interesting Name の略です。TWAIN Working Group がイメージングデバイス（スキャナ、デジタルカメラなど）用に開発した、API（アプリケーション・プログラム・インターフェース）規格です。TWAIN 規格の製品を使用するには、同規格のドライバソフトのインストールが必要となります。

USB

Universal Serial Bus の略称です。キーボード、スキャナなどの機器の接続に使用されるインターフェースの規格です。最大 127 機までの機器の接続が可能です。また機器の電源を切断せずに、接続・取り外しが可能となっています。USB 2.0 でのデータ転送速度は、ロースピードモードで 1.5Mbps、フルスピードモードで 12Mbps、ハイスピードモードで最大 480Mbps となっています。

[TOP](#)[目次](#)[索引](#)[はじめに](#)[スキャナをお使いになる前に](#)[原稿のセット方法](#)[操作パネルの操作方法](#)[いろいろな読み取り方](#)[日常のお手入れ](#)[消耗品の交換](#)[困ったときには](#)[スキャナの動作設定](#)[付録](#)[用語集](#)

索引

A

ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定	22
ADF での原稿のセット	32
ADF の開け方	20
ADF の清掃（クリーニングペーパーによる場合）	54
ADF の清掃（布による場合）	55
ADF の閉じ方	20

E

e- 文書法に適合した電子文書の作成	116
--------------------------	-----

S

[Scan/Stop] ボタン	48
ScanAid	113
Software Operation Panel の起動	90
Software Operation Panel のパスワード設定	92

あ

アンインストール手順	115
------------------	-----

い

いろいろな読み取り方	43
------------------	----

お

オプション	113
-------------	-----

か

外形寸法	112
各部の名称と働き	14

き

基本仕様	108
------------	-----

け

原稿づまりが発生したときは	67
原稿の準備	32
原稿のセット（ADF の場合）	32
原稿のセット（フラットベッドの場合）	34
原稿のセット方法	31, 33

こ

困ったときには	66
---------------	----

さ

サービスセンターに連絡する前に	86
-----------------------	----

し

修理・お問い合わせ	118
種類やサイズが異なる原稿の読み取り	45
省電力モード	24
消耗品	61
消耗品の交換	60
消耗品の交換周期	61

す

スキャナ外部の清掃	53
スキャナ内部の清掃	54
スキャナの動作設定	89
スキャナの特長	13

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

スキャナをお使いになる前に.....	12	に	
スタッカーの設定.....	23	日常のお手入れ.....	50
せ		は	
清掃 (ADF (クリーニングペーパーによる場合)).....	54	はじめに.....	3
清掃 (ADF (布による場合)).....	55	パッドユニットの交換.....	62
清掃 (スキャナ外部).....	53	ひ	
清掃 (スキャナ内部).....	54	ピックローラユニットの交換.....	64
清掃 (フラットベッド).....	58	ふ	
清掃が必要な場所.....	51	フラットベッドでの原稿のセット.....	34
清掃用品.....	51	フラットベッドの清掃.....	58
設置諸元.....	110	ほ	
設定できる項目.....	98	本書の使い方.....	2
そ		本書をお読みになる前に.....	5
操作パネルのエラー表示.....	68	ま	
操作パネルの操作方法.....	40	枚数カウンタに関する設定.....	102
操作パネルをお使いになる前に.....	41	よ	
装置ラベル.....	88	読み取り方一覧.....	44
た		読み取り方の変更.....	48
待機時間に関する設定.....	106	読み取り操作の流れ.....	25
て		読み取りできる原稿.....	35
電源の切断.....	19		
電源の投入.....	19		
添付ソフトウェア.....	27		
と			
ドキュメントカバーの開け方.....	21		
ドキュメントカバーの閉じ方.....	21		
特長.....	13		
トラブルと対処方法.....	71		

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナをお使いになる前に

原稿のセット方法

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

Image Scanner SP-1425

オペレーターガイド

P3PC-6062-07Z0

発行日 2025年7月

発行責任 株式会社PFU

- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責を負いません。
- 無断転載を禁じます。